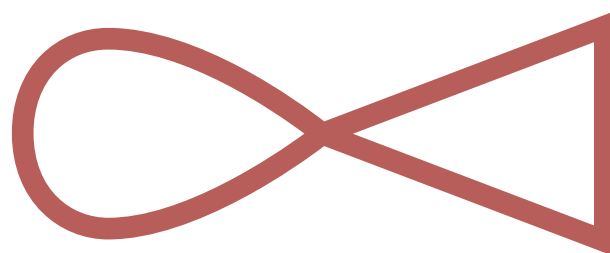


1994–2014



一般財団法人 **地域創造**

Japan Foundation for
Regional Art-Activities

設立20年のあゆみ



設立20周年を迎えて

地方団体の要請に応じて文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを支援することを目的として、平成6年(1994)9月に、全国の地方団体等により財団法人地域創造(平成26年4月に一般財団法人に移行)が設立されて、20周年を迎えることになりました。長年にわたる関係者の皆様のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

この間、地域創造では、地方団体との緊密な連携の下に、地域における文化・芸術活動を担う人材の育成のための研修交流事業、公立文化施設の活性化支援事業、地域伝統芸能の保存・継承の支援事業、地域の文化・芸術環境づくりに役立つ情報発信・調査研究事業の4つの柱で事業を実施してまいりました。特に、人材の育成については、設立当初から、地方団体の共同組織として質の高い実践的な体験型研修を実施してきており、ステージラボ等の研修交流事業の受講者は4,600人を超え、各地域の劇場・ホール、美術館等で、研修の成果を発揮して活躍されています。また、公共ホール等の活性化支援事業については、アーティストを学校、福祉施設等に派遣するアウトリーチの全国的普及に努めてきました。クラシック音楽からスタートし、現代ダンス、演劇、邦楽へとジャンルを広げ、これまでに延べ約800の地方団体において約2,500回のアウトリーチが実施されております。このような事業により、公立文化施設相互のネットワークづくりが進むとともに、アーティストと子どもたち等との交流が広がるなど、各地域で創造性豊かな地域づくりの取り組みが進んできていることに確かな手応えを感じています。

地域創造設立以来20年が経過し、この間、地域の文化・芸術や地域創造を取り巻く環境も大きく変化しております。少子高齢化、人口減少が進み、財政状況等が厳しさを増すなか、一方、文化芸術振興基本法(2001年)や劇場法(2012年)といった法律が制定されるなど、文化・芸術や劇場・ホール等の役割、重要性等について広く認識されるようになりました。東日本大震災では、人々の繋がりが生きる力を育み、心の豊かさや活力等をもたらす文化・芸術のもつ力や公立文化施設の役割に改めて注目が集まっています。また、これから益々各地域において、まちづくり、教育、福祉、観光、産業など幅広い分野で文化・芸術のもつ力の活用が図られていくものと思われまます。

地域創造としても、こうした文化・芸術の役割等を再認識し、これまで積み重ねてきた実績、ノウハウ等を活用しつつ、さらに地方団体の要請に応じて、地域が自ら考えていく創造性豊かで元気な地域づくりを応援してまいる所存です。今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくごお願い申し上げます。

一般財団法人地域創造 理事長
梶田信一郎



今、改めて考えたい、文化と芸術の力

地域創造設立からの20年の間に、日本は2度の大地震、そして、多くの災害を経験しました。人間の力の及ばないものとの戦いに降伏し、大きな哀しみを抱えてきました。その度に私たちは、“大切なことは何なのか”と考えてきたように思います。自身の心のありようを支えてくれるものは何なのか。人と人をつなげてくれるものは何なのか。

それは、“生活”、そして生活からもたらされる“文化”であるということを今、私たちは心の底から知っています。日々の生活は文化となって定着し、また、文化は生活を形づくってきました。文化は一朝一夕に成り立つものではありません。歴史により積み重ねられ、先人の知恵を集積して綿々と今につながっているものです。

では、「芸術」とは何でしょうか。文化が生活だとしたら、芸術というものは生活とはかけ離れた遊び、飾りのようなもので、必要のないものなののでしょうか？

それは違います。なぜなら、芸術とは文化を昇華したものであるからです。

生活の中から派生した「文化」を、より綿密に体系立て、新しい考えとして提示する。文化を人間の産物として追求して結晶化する。それが、文化が芸術へと連なっていく営みだと思えます。

ある「文化」が、どうして、どのように、価値があるのか、素晴らしいのか、心に響くのか、意味を持つのか。これは、文化が芸術へと昇華する際に行われる思考のプロセスです。なぜ、どうして、ということを考え形にするということ、そして確認し新しい次元に入ること、その過程の先に、芸術があるのです。

人間は高度な生物です。理解し工夫し創造する生き物です。そこに人間の人間たる純然な喜びが生まれてきます。人間は愛や慈しみの感情を備え、幸せを感じ、哀しみを感ずる。なぜ愛するのか、なぜ苦しむのか。芸術は常にそういった感覚に向き合い、問うてきました。そこに正解はありません。だって、生きることそのものが正解のないことですから。

文化が芸術へと向かうその過程には、深い思考と、創造的な工夫と技とが、“面白さ”をともなって、産み出されていきます。芸術や、芸術へと向かうベクトルを持つ文化。だからこそ、そこに向き合ったすべての人に、喜びと、生きがいを見出す力をも与えてくれるものなのでしょう。芸術へのベクトルを持たない文化というものがあったのだとしたら、それは、いつかの流行りであり受け継がれていくものにはならなかった、結果、文化にもならないものであったといえるでしょう。

文化は、人が一人ずつ培ってきたものではありません。人と人との間に成り立ってきたものです。また、文化を結晶化させた芸術には多くの先人の知恵が詰まっているのです。この世に生を受けた人のすべての感覚、知恵の集まりが文化芸術を生み、それを享受する環境を育みます。そこに生じる力は、生きる力を呼び覚ます、本当の力です。文化芸術が息づく生活は真の強さを持ちます。

だから、私たち一人一人には文化をつないでいく義務がある。芸術家には芸術を紡ぎ、つないでいく責務がある。それが次の世代へ残すことができる一番大切なことだと、私は思います。

人生にはいろんな時があります。社会にもさまざまな試練があります。当然です。先史の時代よりずっとそうでした。でもそれを生きてきた人の知恵は輝いています。

地域創造が設立されてからの20年、その間に私たち日本人は、表面的な栄枯盛衰に一喜一憂するのではない、もっと真摯な生きる覚悟というものを持ったのではないのでしょうか。

これからどのような社会情勢がやってこようとも、どのような社会形態となろうとも、知恵を持ち、賢く、共に生きることができれば、私たちは乗り越えていくことができる。喜びをもって生きることが出来る。生活における「文化」が、人生における「芸術」が、道しるべとして、そこに、共にあるのなら。

ピアニスト 仲道郁代



一般財団法人地域創造設立20周年によせて

一般財団法人地域創造設立20周年、誠におめでとうございます。

平成6年当時、自治大臣官房企画室で設立に関わらせていただいたご縁で、その後も「地域創造」の取組みには、大いに注目して参りました。このため、「地域創造」が20年の長きにわたり着実に発展を遂げられ、今や地域の文化・芸術の振興を支える上で欠かせない存在となられたことは、誠に嬉しい限りです。

この20年間、我が国は、バブル崩壊以降の景気低迷による企業メセナ的大幅縮小、三位一体改革など急激な地方財政の悪化、地方の人口減少など、文化・芸術を取り巻く環境は大きく変化しております。こうした中、文化・芸術の持つ創造力を活用し、地域の課題を解決する取組みが、高い関心を集めております。

徳島県におきましても、「文化」は、地域の再生やブランドの向上を図る上で大きな力を持っており、「文化の力でまちづくり」の理念のもと、国内外との交流促進や一流の文化・芸術に触れる機会の創出、県民一人ひとりの文化活動への参画促進により、県民の誇りや心豊かな暮らしを創造しております。

豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、多彩な文化を育んできた本県では、吉野川流域の肥沃な大地で盛んに栽培された「阿波藍」、その経済的繁栄を背景に栄えた「阿波おどり」や「阿波人形浄瑠璃」、そして、本県がアジア初演・日本初演の地であるベートーヴェン「第九」、これら4つの誇るべき「徳島ならではの」文化資源を「4大モチーフ」に位置づけ、平成19年度開催の「第22回国民文化祭(おどる国文祭)」を通じて「あわ文化」の魅力を全国に発信して参りました。

また、本県では、「第九」に象徴される「クラシック音楽」はもとより、阿波おどりや阿波人形浄瑠璃に用いられる「邦楽」、さらには2月と8月の「徳島ジャズストリート」を通じ「ジャズ」までもが県民に浸透し、幅広い音楽文化が息づいていることから、音楽の力に着目した「音楽文化が息づくまちづくり」の推進にも、積極的に取り組んでおります。

特に、「全国初」2度目の開催となった「第27回国民文化祭・とくしま2012」を契機として、平成23年9月には、世界的な指揮者である秋山和慶氏を音楽監督にお迎えし、徳島に共感を持つプロの音楽家が集う全く新しい形のオーケストラ、「とくしま国民文化祭記念管弦楽団(とくしま記念オーケストラ)」を設立いたしました。

優れた演奏を県内の隅々にまで届けるべく、定期演奏会をはじめ、市町村と連携した演奏会、音楽団体や学校へのアウトリーチ、さらには、スポーツとの融合・サッカーJ1「徳島ヴォルティス」開幕戦での演奏やJR四国とタイアップした「音楽列車」の運行など、多彩な活動を展開しております。こうした活動の多くに、様々な形での「地域創造」のご支援、ご協力をいただいております。心から感謝申し上げます。

文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目指し、「地域創造」が長らく事業を積み重ねてこられたことにより、今日では、全国各地において公立文化施設を拠点とする個性あふれ、魅力的な地域づくりが展開されております。そこに暮らす人々が地域の魅力を再認識し、新たな価値を生み出し、「誇り」を持って生き活きと生活することで、地域は生まれ変わります。人口減少社会への対応が急務とされる今日、「地域ならではの」文化・芸術の力で新たな地方が創生され、そのうねりは日本の新たな再生・創生へとつながって行きます。

一般財団法人地域創造におかれましては、我が国の最重要課題とされる「地方創生」の実現に、今後とも大いにご尽力いただくとともに、このたびの20周年を契機に、更なる活動の幅を拡げられますことを、心からお祈り申し上げます。

徳島県知事 飯泉嘉門

地域創造とは

●設立目的と経緯

財団法人地域創造は、「文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくり」を支援することを目的として、全国の地方団体等の出捐により1994（平成6）年9月30日に設立されました（2014年4月一般財団法人へ移行）。

1994年に自治省（現総務省）が設置した「地域文化の振興に関する調査研究会」（委員長：木村尚三郎）による提言「地域における芸術文化振興のための施策のあり方―美しく心豊かなふるさとづくりをめざして―」において、文化・芸術の振興を図ることにより「自ら考え、創り、表現し、感動する多様な自己実現を図り、いきいきと心豊かに暮らすことのできる地域社会づくりをめざす」ことが示されました。

この提言を受けて設立された当財団では、設立当初から地域における文化・芸術活動を担う人材の育成に力を入れてきたのをはじめ、時代や地域のニーズを踏まえた公立文化施設の活性化を図る各種支援事業などを実施しています。

●主な事業

主な事業としては、現在、地域の文化・芸術活動を担う人材の育成に取り組む「研修交流事業」、公立文化施設の活性化を支援する「公共ホール等活性化支援事業」、ふるさとの誇りである伝統芸能等の保存・継承・発展を支援する「地域伝統芸能等保存事業」、地域の文化・芸術環境づくりに役立つ情報発信・調査研究を行う「情報交流・調査研究等事業」の4部門があります。

1. 地域の人材の育成に取り組む「研修交流事業」

市町村長向け、文化政策担当者向け、公立文化施設事業担当者向けのセミナー・研修があります。特に、事業担当者向けでは、少人数制による実践的な体験型研修を実施しています。

2. 公立文化施設の活性化を支援する「公共ホール等活性化支援事業」

クラシック音楽、現代ダンス、演劇、邦楽、美術のジャンルごとに公立文化施設の活性化を支援する事業を実施しています。特に、アーティストを派遣し、公共ホールでの公演・コンサートを行う事業を支援するとともに、学校・福祉施設等で行うアウトリーチ等の地域交流プログラムや、公立文化施設、地方団体等が連携して取り組むネットワーク事業を支援しています。また、地方団体等が地域において主体的に取り組む文化・芸術活動に助成しています。

3. ふるさとの誇りである伝統芸能等の保存・継承・発展を支援する「地域伝統芸能等保存事業」

全国フェスティバル「地域伝統芸能まつり」を開催するとともに、地方団体等が実施する後継者育成のための発表・公演事業に助成しています。また、伝統芸能等の映像記録の作成を助成し、その映像をインターネットで情報発信しています。

4. 地域の文化・芸術環境づくりに役立つ「情報交流・調査研究等事業」

定期刊行物（地域創造レター、雑誌「地域創造」）やインターネットでの情報提供を積極的に行うとともに、今日的な課題をテーマにした調査研究を実施しています。また、地域創造大賞（総務大臣賞）により、文化・芸術による地域づくりに功績のあった公立文化施設を顕彰し、広く全国に紹介しています。

◎正式名称

一般財団法人地域創造

Japan Foundation for Regional Art-Activities (JAFRA)

◎設立年

1994（平成6）年9月30日 財団法人地域創造設立

2014（平成26）年4月1日 一般財団法人地域創造へ移行

地域創造の事業

1 研修交流事業

1 市町村長等地方団体
向け研修交流

市町村長セミナー

文化政策幹部セミナー

2 公立文化施設
職員向け研修交流

ステージラボ

アートミュージアムラボ

リージョナルシアター事業

*「ステージラボ」「アートミュージアムラボ」「リージョナルシアター事業」はそれぞれ公共ホール事業担当者向け、公立美術館事業担当者向け、公共ホール演劇事業担当者向けの研修事業

2 公共ホール等 活性化支援事業

1 クラシック音楽

公共ホール
音楽活性化事業

公共ホール
音楽活性化支援事業

公共ホール音楽活性化
アウトリーチフォーラム事業

公共ホール音楽活性化
アウトリーチセミナー事業

*音楽に関するアウトリーチの普及を図る事業であり、「アウトリーチフォーラム事業」は都道府県向け、「アウトリーチセミナー事業」は政令指定都市向けの事業

2 現代ダンス

公共ホール
現代ダンス活性化事業

公共ホール現代ダンス
活性化支援事業

3 演劇

公共ホール
演劇ネットワーク事業

4 邦楽

邦楽地域活性化事業

5 美術

市町村立美術館
活性化事業

公立美術館
巡回展支援事業

6 助成

地域の文化・芸術活動
助成事業

3 地域伝統芸能等 保存事業

1 伝統芸能

全国フェスティバル事業
(地域伝統芸能まつり)

地域文化資産デジタル
コンテンツ発信事業

2 助成

映像記録保存事業

地域伝統芸能継承者
(青少年等)育成事業

4 情報交流・ 調査研究等事業

1 情報交流

地域創造レター

雑誌「地域創造」

ホームページ等

2 調査研究等

調査研究

コンサルティング

3 地域創造フェスティバル

4 表彰

地域創造大賞
(総務大臣賞)

写真で見る地域創造の事業

1 | 研修交流事業

市町村長セミナー



市町村長セミナーの講座風景(2014年4月)

ステージラボ



新潟セッション——自主事業I(音楽)コース(2014年7月) ©雨田芳明

アートミュージアムラボ



静岡セッション—— 美術家・遠藤一郎の「未来へ号」(2013年3月)

リージョナルシアター事業



高知市・小学校での演劇ワークショップ(田上豊/2013年11月)

2 | 公共ホール等活性化支援事業

公共ホール音楽活性化事業



北海道大空町・小学校でのアウトリーチ(北島佳奈/2013年9月)

公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業



鹿児島市・小学校でのアウトリーチ研修(マルシェ弦楽四重奏団/2012年9月)

公共ホール音楽活性化事業



全体研修会での登録アーティストプレゼンテーション(田村真寛/2014年4月)

公共ホール現代ダンス活性化事業



愛知県豊川市・小学校でのアウトリーチ(田村一行/2012年3月) ©鹿島聖子

公共ホール演劇ネットワーク事業



子どもとおとなのためのお芝居『暗いところからやってくる』(2012年初演)©田中亚紀

邦楽地域活性化事業



徳島県吉野川市・小学校でのアウトリーチ(日吉章吾、光原大樹、田嶋謙一/2013年)

市町村立美術館活性化事業



「岐阜県美術館所蔵 コレなんだ?佐藤慶次郎のつくった不思議なモノたち」展(安城市民ギャラリー/2013年)

地域の文化・芸術活動助成事業



創造プログラム「Dance 4 All 2013 コミュニティダンスフェスティバル」(京都芸術センター/2014年)©大河内禎

3 | 地域伝統芸能等保存事業

地域伝統芸能まつり



フィナーレの様様(2013年2月)

インターネットでの情報発信



4 | 情報交流・調査研究等事業

地域創造フェスティバル



シンポジウム「地域と文化—災害後の公立文化施設のあり方を巡って」(2013年7月)

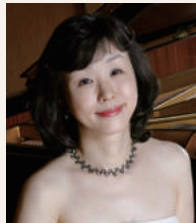
各種媒体での発信



地域創造を支えるアーティストたち

地域創造では公共ホール、学校などに登録アーティストを派遣してきました。その登録者総数は132組に上ります。

●公共ホール音楽活性化支援事業
登録アーティスト
[平成26・27年度]



川井綾子(ピアノ)



高橋多佳子(ピアノ)



竹村浄子(ピアノ)



白石光隆(ピアノ)



三上 徹(ピアノ)



田村 緑(ピアノ)



中川賢一(ピアノ)



久保田葉子(ピアノ)



佐々木京子(ピアノ)



奈良希愛(ピアノ)



今野尚美(ピアノ)



新崎誠実(ピアノ)



新居由佳梨(ピアノ)



泊 真美子(ピアノ)



高木和弘(ヴァイオリン)



大森潤子(ヴァイオリン)



磯絵里子(ヴァイオリン)



神谷未穂(ヴァイオリン)



野口千代光(ヴァイオリン)



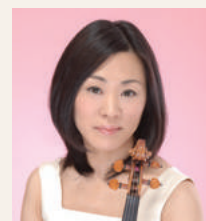
小野明子(ヴァイオリン)



早稲田桜子(ヴァイオリン)



高橋和歌(ヴァイオリン)



甲斐摩耶(ヴァイオリン)



瀧村依里(ヴァイオリン)



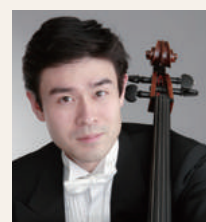
北島佳奈(ヴァイオリン)



松本 蘭(ヴァイオリン)



長谷部一郎(チェロ)



唐津 健(チェロ)



海野幹雄(チェロ)



奥田なな子(チェロ)



岩間丈正(フルート)



岩佐和弘(フルート)



永井由比(フルート)



荒川 洋(フルート)



吉岡次郎(フルート)



小谷口直子(クラリネット)



藤田 旬(ファゴット)



田中靖人(サクソフォン)



大石将紀(サクソフォン)
©Wen-Yen Wang



辻本憲一(トランペット)



神代 修(トランペット)



小川正毅(ホルン)



丸山 勉(ホルン)



加藤直明(トロンボーン)



沢崎恵美(ソプラノ)



竹村佳子(ソプラノ)



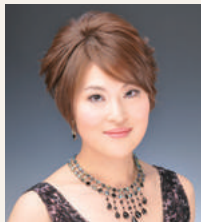
大森智子(ソプラノ)



園田真木子(ソプラノ)



小林厚子(ソプラノ)



渡邊 史(ソプラノ)



乗松恵美(ソプラノ)



河野めぐみ(メゾ・ソプラノ)



菅家奈津子(メゾ・ソプラノ)



中鉢 聡(テノール)



黒田晋也(テノール)



村上敏明(テノール)



羽山晃生(テノール)



吉川健一(バリトン)



浜まゆみ(マリンバ)



宮本 妥子(マリンバ・打楽器)



大熊理津子(マリンバ)



野尻小矢佳
(パーカッション&ボイス)



益田正洋(クラシック・ギター)



松尾俊介(クラシック・ギター)



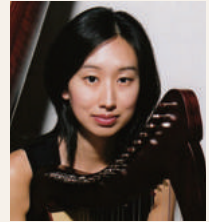
江崎浩司(リコーダー)



片岡リサ(箏・地唄三味線)



山崎祐介(ハープ)



福島青衣子(ハープ)



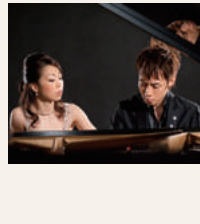
小林史真(ハーモニカ)



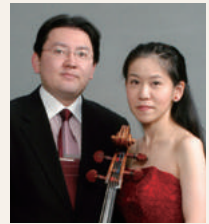
竹内直子(ハーモニカ)



デュエットウ かなえ&ゆかり
(ピアノデュオ)



ピアノデュオ ドウオール
(ピアノデュオ)



Duo Yamaguchi
(ピアノ&チェロ)



Dual KOTO×KOTO
(箏デュオ)



デュオ・レンズネ
(クラリネット&ピアノ)



ピアノトリオ・ミュゼ
(ピアノトリオ)



Quartet SPIRITUS
(サクソフォン四重奏)



Quatuor B
(サクソフォン四重奏)



Quintet[H](木管五重奏)



Buzz Five(金管五重奏)



BLACK BOTTOM BRASS
BAND (ブラスバンド)

●公共ホール音楽活性化事業
登録アーティスト
[平成26・27年度]



金子三勇士(ピアノ)
©Akira Muto



森岡有裕子(フルート)



田村真寛(サクソフォン)



高見信行(トランペット)



廣田美穂(ソプラノ)



中井亮一(テノール)



前田啓太(打楽器)

●公共ホール現代ダンス活性化支援事業
対象アーティスト
[平成27年度]



新井英夫
©Cylla Von Tiedmann



岩下 徹
©富永亜紀子



岩瀬多喜子
©塚田洋一



逸田 誠



北村成美
©平野愛



楠原竜也



黒沢美香
©マトロン



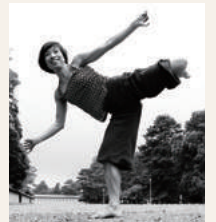
鈴木ユキオ
©Gla Doodrich



森下真樹
©427FOTO



山田うん
©宮川舞子



山田珠実
©草本利枝



赤丸急上昇(赤松美智代+丸山
陽子) ©Tadashi Miyamoto



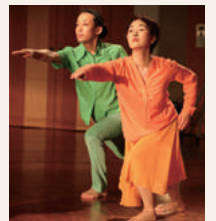
笠井瑞丈×上村なおか
©笠井剛示



勝部ちこ+鹿島聖子
©C.I.co.



坂本公成+森裕子
(Monochrome Circus)
©Sajik Kim



セレノグラフィカ
(隅地菜歩+阿比留修一)

●公共ホール現代ダンス活性化事業
登録アーティスト
[平成27・28年度]



青木尚哉
©平野太呂



伊藤キム
©竹田岳



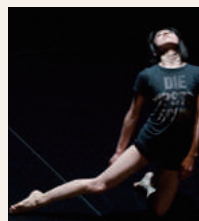
北尾 巨
©Masakazu Yoshikawa



田畑真希(*)
©松本和幸



田村一行(*)
©山本尚明



東野祥子(*)
©井上嘉和

*「ダン活支援対象アーティスト」と兼登録

年度別登録アーティスト一覧

●公共ホール音楽活性化事業

◎平成10・11年度

大島妙子 [ピアノ]
川井綾子 [ピアノ]
高橋多佳子 [ピアノ]
竹村浄子 [ピアノ]
朴久玲 [ピアノ]
中道リサ [ピアノ]
川口エリサ [ヴァイオリン]
白石禮子 [ヴァイオリン]
高木和弘 [ヴァイオリン]
田中晶子 [ヴァイオリン]
岩間丈正 [フルート]
辻本憲一 [トランペット]
竹村佳子 [ソプラノ]
沢崎恵美 [ソプラノ]
須藤由里 [ソプラノ]
河野めぐみ [メゾ・ソプラノ]
中鉢 聡 [テノール]
久住庄一郎 [テノール]
山崎祐介 [ハーブ]

◎平成12・13年度

白石光隆 [ピアノ]
三上 徹 [ピアノ]
大森潤子 [ヴァイオリン]
長谷部一郎 [チェロ]
田中靖人 [サククス]
丸山 勉 [ホルン]
青盛のぼる [ソプラノ]
黒田晋也 [テノール]
村上敏明 [テノール]
小林史真 [ハーモニカ]
トウキョウ・ウィンズ [木管五重奏]

◎平成14・15年度

田村 緑 [ピアノ]
中川賢一 [ピアノ]
磯絵里子 [ヴァイオリン]
唐津 健 [チェロ]
神代 修 [トランペット]
大森智子 [ソプラノ]
藺田真木子 [ソプラノ]
羽山晃生 [テノール]
浜まゆみ [マリンバ]
竹内直子 [ハーモニカ]

◎平成16・17年度

久保田葉子 [ピアノ]
佐々木京子 [ピアノ]
神谷未穂 [ヴァイオリン]
野口千代光 [ヴァイオリン]
永井由比 [フルート]
小林厚子 [ソプラノ]
菅家奈津子 [メゾ・ソプラノ]
宮本妥子 [マリンバ・打楽器]
デイヴィッド・ファーマー [クラシカルアコーディオン]
デュエットウ かなえ&ゆかり [ピアノデュオ]
Buzz Five [金管五重奏]
BLACK BOTTOM BRASS BAND [ブラスバンド]

◎平成18・19年度

奈良希愛 [ピアノ]
小野明子 [ヴァイオリン]
早稲田桜子 [ヴァイオリン]
荒川 洋 [フルート]
加藤直明 [トロンボーン]
渡邊 史 [ソプラノ]
大熊理津子 [マリンバ]
益田正洋 [クラシック・ギター]
江崎浩司 [リコーダー]
片岡リサ [箏・地歌三味線]
Duo Yamaguchi [ピアノ&チェロ]
Quartet SPIRITUS [サクソフォン四重奏]

◎平成20・21年度

今野尚美 [ピアノ]
高橋和歌 [ヴァイオリン]
小谷口直子 [クラリネット]
吉川健一 [バリトン]
福島青衣子 [ハーブ]
ピアノデュオドゥオール [ピアノデュオ]
ピアノトリオ・ミュゼ [ピアノトリオ]
Quintet [H] [木管五重奏]

◎平成22・23年度

新崎誠実 [ピアノ]
甲斐摩耶 [ヴァイオリン]
瀧村依里 [ヴァイオリン]
海野幹雄 [チェロ]
吉岡次郎 [フルート]
大石将紀 [サクソフォン]
乗松恵美 [ソプラノ]
野尻小矢佳 [バーカッション&ボイス]
Dual KOTO×KOTO [箏デュオ]
Quatuor B [サクソフォン四重奏]

◎平成24・25年度

新居由佳梨 [ピアノ]
泊真美子 [ピアノ]
北島佳奈 [ヴァイオリン]
松本 蘭 [ヴァイオリン]
奥田なな子 [チェロ]
松尾俊介 [クラシック・ギター]
デュオ・レゾネ [クラリネット&ピアノ]

◎平成26・27年度

金子三勇士 [ピアノ]
森岡有裕子 [フルート]
田村真寛 [サクソフォン]
高見信行 [トランペット]
廣田美穂 [ソプラノ]
中井亮一 [テノール]
前田啓太 [打楽器]

●公共ホール現代ダンス活性化事業

◎平成17・18年度

伊藤千枝
岩下 徹
笠井 叡
勝部ちこ
北村成美
室伏 鴻
山田うん
山田珠実
笠井瑞文×上村なおか
砂連尾理+寺田みさこ

◎平成19・20年度

伊藤多恵
岩下 徹
岩淵多喜子
北村成美
黒沢美香
東野祥子
森下真樹
山田うん
砂連尾理+寺田みさこ
セレノグラフィカ (隅地菜歩+阿比留修一)

◎平成21・22年度

新井英夫
伊藤千枝
楠原竜也
黒沢美香
鈴木ユキオ
東野祥子
キリコラージュ (ストウミキコ+外山晴菜)
セレノグラフィカ (隅地菜歩+阿比留修一)

◎平成23・24年度

新井英夫
岩淵多喜子
遠田 誠
鈴木ユキオ
田村一行
山田せつ子
坂本公成+森裕子 (Monochrome Circus)
ほうほう堂 (新舗美佳+福留麻里)

◎平成25・26年度

田畑真希
田村一行
矢内原美邦
山賀ざくろ
赤丸急上昇 (赤松美智代+丸山陽子)
勝部ちこ+鹿島聖子
坂本公成+森裕子 (Monochrome Circus)

◎平成27・28年度

青木尚哉
伊藤キム
北尾 亘
田畑真希
田村一行
東野祥子

資料編

地域創造の事業始めとなったのが、財団設立年の1994年11月30日から開館したばかりの彩の国さいたま芸術劇場との共催により開催された「ステージラボ埼玉セッション」でした。以来、全国各地でさまざまな事業を展開してきました。資料編では、各事業の歩みを振り返るとともに、20年にわたって実施してきた膨大な事業の主なデータを収録しました。

1 研修交流事業	14
[ステージラボ-16/その他研修-17]	
2 公共ホール等活性化支援事業	19
[クラシック音楽-23/現代ダンス-30/演劇-32/邦楽-33/美術-34/助成-36]	
3 地域伝統芸能等保存事業	38
[地域伝統芸能まつり-39/映像記録保存事業-41]	
4 情報交流・調査研究等事業	46
[雑誌「地域創造」-48/調査研究-53/地域創造大賞受賞施設-54]	
年表 戦後の社会経済情勢の変化と文化政策・文化行政、公立文化施設の変遷	62
年度別事業実績	68
地域創造事業のあゆみ	75

[]は収録データ頁

地域の文化・芸術活動を担う人材の育成に取り組む「研修交流事業」には、財団設立当初の平成6年度から実施している公立文化施設の事業担当者に向けたものと、平成11年度から拡充した市町村長や文化政策担当者に向けたものがあります。現在、実施しているプログラムは、以下のとおりです。

◎市町村長等地方団体向け研修交流 →P17

市町村長セミナー(年2回)／文化政策幹部セミナー(年1回)／都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議(年1回)

◎公立文化施設職員向け研修交流 →P16

ステージラボ(年2回)／アートミュージアムラボ(年1回)／リージョナルシアター事業(年1回)

●ステージラボ／アートミュージアムラボ(通称:ラボ)等のあゆみ

1980年代から90年代にかけて、地域ではホール・劇場を中心とした公立文化施設の整備が急速に進みました。そうした公立ホール・劇場の事業担当者等に向けて、地域創造が初めて研修交流事業として企画したのが「ステージラボ」です。大人数で講義を受ける講座ではなく、少人数のゼミ形式により講師と参加者の双方向のコミュニケーションを重視した実践的な研修を行うという意味で「ラボ(実験室)」と命名されました。

特徴は、①受講生が実践的な研修を選択できるよう複数コース編成を行っていること、②1コース20人程度の少人数・短期集中・体験型の研修を行っていること、③現場経験の豊富な実務家にコーディネーターを委嘱してカリキュラムを作成していること、④実演家による芸術体験ワークショップが充実していること、⑤ネットワークづくりを図っていること、⑥先進的な取り組みを行っている公立文化施設を会場として交流を図っていることです。

年2回(各3コース、4日間)開催し、コース編成としては、初心者を対象にしたホール運営の基礎を学ぶコースと、音楽・演劇・ダンスといった事業の企画力向上を目指すコース、ホールマネージャー・コース(幹部職員向け)、文化政策企画コース(自治体職員向け)、ホール計画コース(準備室職員向け)、市民ギャラリーの活性化をテーマにした美術コースなどをニーズに応じて適宜開講してきました。

平成14年度には、ステージラボから美術コースを独立させ、美術館による地域交流プログラムの普及を目的に、公立美術館等のスタッフを対象にした「アートミュージアムラボ」をスタートしました。平成22年度からは、先進的な取り組みを行っている美術館を会場に、年1回開催しています。また、平成21年度には、公立文化施設の設置者と運営者との意見交換を図ることを目的に、ステージラボから公立ホール・劇場マネージャーコースを分離し、文化政策幹部セミナーと同時開催しています。

平成6年度から25年度までで、北海道から沖縄まで、地域の拠点になっている公立ホール・劇場・美術館を会場として39回のステージラボ、4回のアートミュージアムラボが開催され、受講者総数は延べ2,647人、専門家として関わったコーディネーター数は延べ158名に上ります。そこで培われた人的ネットワークが、現在の地域創造の基盤となっています。

なお、平成20年度からは、演劇のアーティストを地域に派遣し、公立ホールとともに地域交流プログラムを企画・実施することで実践的に学ぶ「リージョナルシアター事業」(平成20年度～)も実施しています。

●市町村長セミナー／文化政策幹部セミナー等

ステージラボを皮切りに、地域創造では、環境の変化やニーズに応じて研修交流事業を拡充・改編してきました。特に平成11年度には、公立文化施設の設置者である地方公共団体の

理解が不可欠であることから、市町村長および文化振興担当幹部職員に向けたセミナー・研修「アートアプローチセミナー」をスタートしました(平成11年度～市町村長向け、平成16年度～文化振興担当幹部向け。平成20年度に市町村長セミナー、文化政策幹部セミナーに改編)。

また、都道府県・政令指定都市の文化振興担当課長との意見交換とネットワークづくりを行う「都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議」(平成15～19年度は全国を6ブロックに分けたブロック会議として各地で実施。平成20年度から全国会議として地域創造フェスティバルと同時開催)も開催しています。

●終了した事業

◎「ステージクラフト」(平成9～20年度)

彩の国さいたま芸術劇場との共催により実施。実際の舞台づくりに参加しながら舞台・照明・音響などの舞台技術の基礎をさいたま芸術劇場の専属スタッフから学ぶ体験型研修事業。

◎「ステージラボマスターコース」(平成14～22年度)

ステージラボ修了生が、アドバイザーとともに1年かけて主体的な研究を行い、その成果を活かした事業の実施を支援するフォローアップ事業。

◎「都市行政文化懇話会」(平成19～23年度)

創造的な地域づくりを標榜する市長と有識者が意見交換する懇話会。平成25年度から市町村長セミナーを年2回にして統合。

◎20年にわたりステージラボを担当してきた津村卓プロデューサーのコメント

地域創造が設立された当時は、ハード(施設)の整備が先行し、ソフト(運営や事業)が立ち後れていました。自主事業に力を入れていた公立ホールもありましたが、その情報を共有できる場はありませんでした。直営ホールの職員には異動による初心者もいましたが、自主事業ができる力をつけるような研修機会がほとんどありませんでした。情報を提供し、実務家・実演家・ホール仲間と出会える場を提供し、“交流を図ってノウハウや経験を共有化していくこと”がステージラボの大きなミッションでした。“研修交流事業”という名称にはそうした思いが込められています。

ステージラボのカリキュラムは固定化することなく、その時々必要とされている内容をコーディネーターと共に考えています。初期は、ワークショップで音楽や演劇といった表現を理解してもらい、コンサートや公演のづくり方、企画のづくり方、ホールの運営方法を実践的に学ぶものでした。公立文化施設に関わる制度や環境が大きく変わると、例えば指定管理者制度について考えるゼミを行うなど、カリキュラムに反映させていきました。今日では、公立文化施設の役割が広がったことから、コミュニティと積極的に関わるアウトリーチ手法を学び、文化・芸術にはどのような力があり社会に対して何ができるのかを考え、地域の課題に向き合うホール事業のあり方を議論する場になっています。

ステージラボを継続してきた結果、実務家・実演家・修了生の間さまざまな繋がりが生まれ、ホール職員の顔が見えるようになってきました。刺激を受けた修了生が、各地でアウトリーチ事業やネットワーク事業を立ち上げたのは大きな成果です。また、館長やプロデューサーとして活躍している修了生もいます。一方、コーディネーターや講師の側も、それまで個人の経験として蓄積してきたことを人に伝える立場となり、大きく成長しました。背中を見て学べという業界だったものが、プログラム化して伝えるようになったのは大きな変化だと思います。

今では「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」第13条に「人材(制作者、技術者、経営者、実演家等)の養成及び確保等」とあるように、人材育成への機運が高まり、玉石混淆とはいえ研修機会が急増しています。一方、公立文化施設を巡る予算は削減の一途をたどり、人材を活かしきれない現実もあります。さまざまな課題はありますが、地域創造、コーディネーター、講師、受講生が互いに学びあいながら、文化・芸術の力を活かした地域づくりの課題に向き合う場としてステージラボを運営していくことがミッションだと考えています。

●津村卓(地域創造プロデューサー、上田市交流文化センター参与プロデューサー、北九州芸術劇場館長兼プロデューサー)

実績一覧

●ステージラボ [平成6年度～]		
[セッション名]	[会期]	[主会場]
	[コース名: コーディネーター]	
◎平成6年度		
埼玉セッション	1994年11月30日～12月2日	彩の国さいたま芸術劇場 基礎: 横須賀徹/音楽: 田村光男/演劇ダンス: 市村作知雄
宮崎セッション	1995年2月28日～3月3日	宮崎県立芸術劇場 基礎: 吉本光宏/音楽: 児玉真/演劇: 津村卓
◎平成7年度		
水戸セッション	1995年6月6日～10日	水戸芸術館 ステージ業務入門: 津村卓/ステージ創造環境: 松本小四郎/ステージ鑑賞共感: 清水敏男、箕口一美
広島セッション	1996年2月27日～3月1日	アステールプラザ 基礎: 草加叔也/音楽: 関水秀樹/演劇: 能祖將夫
◎平成8年度		
盛岡セッション	1996年7月2日～5日	盛岡劇場 ホール事業入門: 横須賀徹/音楽事業: 箕口一美/演劇事業: 花光潤子
福岡セッション	1996年11月19日～22日	アクロス福岡 基礎準備: 草加叔也/ホール運営I: 坂田裕一/ホール運営II: 西巻正史
◎平成9年度		
松山セッション	1997年8月5日～8日	松山市総合コミュニティセンター ホールマネージャー: 横須賀徹、津村卓/ホール運営入門: 関水秀樹/自主事業(音楽): 児玉真/自主事業(演劇・ダンス): 志賀玲子
世田谷セッション	1998年2月17日～20日	世田谷パブリックシアター ホール計画: 草加叔也/ホール入門: 津村卓/演劇: 佐藤信/音楽: 仁田雅士
◎平成10年度		
札幌セッション	1998年6月23日～26日	札幌芸術の森 ホールマネージャー: 永井多恵子、高萩宏/ホール入門: 石川幹夫/演劇: 能祖將夫/音楽: 児玉真
神戸セッション	1999年2月2日～5日	神戸アートビレッジセンター ホール計画: 松井憲太郎/ホール入門: 津村卓/演劇・ダンス: 市村作知雄/音楽: 村地孝明
◎平成11年度		
静岡セッション	1999年6月29日～7月2日	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ ホール入門: 衛紀生/ホール運営I: 津村卓/ホール運営II: 重政良恵
高知セッション	2000年2月15日～18日	高知県立美術館 ホールマネージャー: 山形洋一、児玉真/ホール入門: 中村晃也/自主事業: 坪池栄子/美術: 逢坂恵理子
◎平成12年度		
金沢セッション	2000年7月4日～7日	金沢市民芸術村 ホール入門: 能祖將夫/演劇: 長谷川孝治/音楽: 楠瀬寿賀子/美術: 高橋直裕
熊本セッション	2001年2月20日～23日	熊本県立劇場 ホール入門: 松原千代繁/運営基礎: 吉本光宏/演劇: 平田オリザ/音楽: 中村透
◎平成13年度		
仙台セッション	2001年7月3日～6日	仙台市青年文化センター ホール入門: 宮地俊江、津村卓/演劇: 加藤直/音楽: 児玉真/美術: 熊倉純子、荻原康子

佐世保セッション	2002年2月5日～8日	アルカスSASEBO ホールマネージャー: 細川紀彦/ホール入門: 衛紀生/演劇: 大塚亮/音楽: 坪能克裕
◎平成14年度		
岐阜セッション	2002年6月25日～28日	岐阜市文化センター ホール入門: 平田尚文/自主事業入門: 中村透/自主事業企画・制作: 高萩宏/ホール管理・運営: 中川幾郎
大分セッション	2003年2月18日～21日	大分県立総合文化センター ホール入門: 桑谷哲男/自主事業入門: 能祖將夫/自主事業企画・制作: 楠瀬寿賀子/アートミュージアムラボ: 柳沢秀行
◎平成15年度		
横浜セッション	2003年7月1日～4日	横浜赤レンガ倉庫1号館 ホール入門: 間瀬勝一/自主事業入門: 津村卓/自主事業企画・制作: 仁田雅士/アートミュージアムラボ: 高橋直裕
沖縄・佐敷セッション	2004年2月3日～6日	佐敷町文化センター・シュガーホール ホール入門: 櫻井俊幸/自主事業: 児玉真/文化政策・企画: 中村透
◎平成16年度		
新潟セッション	2004年6月22日～25日	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 ホール入門: 草加叔也/自主事業I(音楽): 藤垣秀雄/自主事業II(演劇): 竹柴源一、真田弘彦/文化政策企画・文化施設運営: 小林真理
京都セッション	2005年2月1日～4日	京都芸術センター ホール入門: 楠瀬寿賀子/自主事業I(演劇): 津村卓/自主事業II(ダンス): 佐東範一/アートミュージアムラボ: 端山聡子、大嶋貴明
◎平成17年度		
松本セッション	2005年7月5日～8日	まつもと市民芸術館 ホール入門: 大石時雄/自主事業I(音楽): 松原千代繁/自主事業II(演劇): 渡辺弘/文化政策企画・文化施設運営: 吉本光宏
三重セッション	2006年2月21日～24日	三重県総合文化センター ホール入門: 篠田信子、坪池栄子/自主事業I(音楽): 小澤櫻作/自主事業II(演劇): 津村卓/アートミュージアムラボ: 大月ヒロ子
◎平成18年度		
長久手セッション	2006年7月11日～14日	長久手町文化の家 ホール入門: 坂田裕一/自主事業I(音楽): 善積俊夫/自主事業II(演劇): 内藤裕敬/文化政策企画・文化施設運営: 熊倉純子
高松セッション	2007年2月20日～23日	サンポートホール高松 ホール入門: 能祖將夫/自主事業I(音楽): 中村透/自主事業II(演劇): 津村卓/アートミュージアムラボ: 黒沢伸
◎平成19年度		
鳥取セッション	2007年7月10日～13日	鳥取県立県民文化会館 ホール入門: 楠瀬寿賀子/自主事業: 平田オリザ/文化政策企画・文化施設運営: 草加叔也
東京セッション	2008年2月5日～8日	東京芸術劇場 ホール入門: 津村卓/自主事業I(音楽): 児玉真/自主事業II(ダンス): 志賀玲子/アートミュージアムラボ: 河崎晃一
◎平成20年度		
青森セッション	2008年7月15日～18日	青森市文化会館、青森県立美術館 ホール入門: 坪池栄子/自主事業: 箕口一美/文化政策企画・文化施設運営: 草加叔也/アートミュージアムラボ: 大月ヒロ子
徳島セッション	2009年2月3日～6日	徳島県郷土文化会館 ホール入門: 津村卓/自主事業: 丹羽徹/文化政策企画・文化施設運営: 吉本光宏

◎平成21年度		
富山・高岡セッション	2009年7月7日～10日	富山県高岡文化ホール ホール入門：山本広志/自主事業：楠瀬寿賀子/アートミュージアムラボ：秋元雄史
鹿児島セッション	2010年2月2日～5日	鹿児島県文化センター ホール入門：津村卓/自主事業Ⅰ(音楽)：松原千代繁/自主事業Ⅱ(演劇)：宮城聰

◎平成22年度		
群馬セッション	2010年7月6日～9日	群馬県民会館 ホール入門：大月ヒロ子/自主事業Ⅰ(音楽)：丹羽徹/自主事業Ⅱ(ダンス)：大谷煥
奈良セッション	2011年2月1日～4日	なら100年会館 ホール入門：津村卓/自主事業Ⅰ(音楽)：田村緑/自主事業Ⅱ(演劇)：渡辺弘

◎平成23年度		
栃木セッション	2012年2月21日～24日	栃木県総合文化センター ホール入門：草加叔也/自主事業Ⅰ(音楽)：児玉真/自主事業Ⅱ(ダンス)：佐東範一

◎平成24年度		
埼玉セッション	2012年7月10日～13日	彩の国さいたま芸術劇場 ホール入門：曾田修司/自主事業Ⅰ(演劇)：渡辺弘/自主事業Ⅱ(ダンス)：佐藤まいみ
兵庫セッション	2013年1月29日～2月1日	兵庫県立芸術文化センター ホール入門：小澤櫻作/自主事業Ⅰ(地域交流プログラム)：仲道郁代/自主事業Ⅱ(音楽企画制作)：林伸光

◎平成25年度		
静岡セッション	2013年6月25日～28日	静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ ホール入門：中村透/自主事業Ⅰ(地域文化・伝統芸能)：田村孝子/自主事業Ⅱ(子どもプログラム)：津村卓
長崎セッション	2014年2月18日～21日	長崎ブリックホール ホール入門：大月ヒロ子/自主事業Ⅰ(音楽)：児玉真/自主事業Ⅱ(演劇)：内藤裕敬

◎平成26年度		
新潟セッション	2014年7月1日～4日	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館 ホール入門：真田弘彦/自主事業Ⅰ(音楽)：榎本広樹/自主事業Ⅱ(舞台芸術)：久野敦子
広島セッション	2015年2月17日～20日	アステールプラザ ホール入門：津村卓/自主事業Ⅰ(音楽)：山本若子/自主事業Ⅱ(演劇)：平田オリザ

●ステージラボ 公立ホール・劇場 マネージャーコース[平成21年度～]			
[年度]	[会期]	[会場]	[コーディネーター]
21年度	2009年9月3日～5日	地域創造	草加叔也
22年度	2010年10月13日～15日	地域創造	田村孝子
23年度	2011年10月12日～14日	地域創造	高萩宏
24年度	2012年10月31日～11月2日	地域創造	中村透
25年度	2013年9月4日～6日	地域創造	竹内文則
26年度	2014年10月15日～17日	地域創造	草加叔也

●リージョナルシアター事業[平成20年度～]			
[年度]	[参加館]	[アドバイザー]	
20年度	富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ /伊丹市立演劇ホールアイホール/まつもと市民芸術館	芹川藍、大月ヒロ子、津村卓	

21年度	長崎ブリックホール/熊本県立劇場	阿部初美、大月ヒロ子、津村卓
22年度	京都府立文化芸術会館/広島市南区民文化センター	内藤裕敬、大月ヒロ子、津村卓
23年度	北九州芸術劇場/佐賀市文化会館	岩崎正裕、大月ヒロ子、大谷煥
24年度	豊岡市民プラザ/高知市文化プラザ	内藤裕敬、大月ヒロ子、津村卓

*25年度からリニューアル

[年度]	[参加館]	[派遣アーティスト]
25年度 (モデル事業)	上田市交流文化芸術センター/豊田市民文化会館/高知市文化プラザ	内藤裕敬、岩崎正裕、多田淳之介、田上豊
26年度	八王子市芸術文化会館/小田原市民会館/茅野市民館/豊岡市民プラザ	内藤裕敬、岩崎正裕、多田淳之介、田上豊

●アートミュージアムラボ[平成22年度～]			
[年度]	[セッション名]	[会期]	[会場(コーディネーター)]
22年度	高知セッション	2011年3月9日～11日	高知県立美術館(藤田直義)
23年度	埼玉セッション	2011年12月7日～9日	埼玉県立近代美術館(建島哲)
24年度	静岡セッション	2013年3月6日～8日	静岡県立美術館(泰井良)
25年度	宮城セッション	2013年12月4日～6日	宮城県美術館(三上満良)
26年度	愛知セッション	2015年1月28日～30日	愛知芸術文化センター(持戸雅彦)

●市町村長セミナー[平成20年度～](*)			
[年度]	[会期]	[会場]	[講師]
11年度	1999年7月29日、30日	全国市町村国際文化研修所	永井多恵子 三枝成彰
12年度	2000年7月27日、28日	全国市町村国際文化研修所	田村孝子 山崎正和
13年度	2001年8月2日、3日	全国市町村国際文化研修所	上原恵美 木村尚三郎
14年度	2002年5月16日、17日	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	鈴木忠志 児玉真
15年度	2003年5月15日、16日	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	平田オリザ 楠瀬寿賀子
16年度	2004年8月5日、6日	大津市北部地域文化センター	山折哲雄 能祖将夫
17年度	2005年7月26日	市町村アカデミー	佐渡裕
18年度	2006年7月27日	市町村アカデミー	中村紘子
19年度	2007年7月30日	市町村アカデミー	平田オリザ
20年度	2008年4月24日	市町村アカデミー	茂木大輔
21年度	2009年4月13日	市町村アカデミー	下重暁子
22年度	2010年4月12日	市町村アカデミー	仲道郁代
23年度	東日本大震災の影響により中止		
24年度	2012年4月23日	市町村アカデミー	永井多恵子
25年度	2013年4月25日	市町村アカデミー	福原義春
	2013年10月17日	全国市町村国際文化研修所	北川フラム
26年度	2014年4月25日	市町村アカデミー	平田オリザ
	2014年10月2日	全国市町村国際文化研修所	山折哲雄

*11～19年度までは「アートアプローチセミナー」として開催

●文化政策幹部セミナー〔平成20年度～〕(*)

[年度]	[会期]	[会場]	[コーディネーター]
11年度	1999年8月24日、25日	全国市町村国際文化研修所	横須賀徹
12年度	2000年8月24日、25日	文京シビックセンター	—
13年度	2001年8月23日、24日	都道府県会館/麹町会館	—
14年度	2002年8月19日、20日	東京国際フォーラム	—
16年度	2004年10月18日、19日	地域創造ほか	熊倉純子
17年度	2005年10月25日、26日	地域創造	中川幾郎
18年度	2006年10月23日、24日	地域創造	小林真理
19年度	2008年1月17日、18日	地域創造	吉本光宏
20年度	2008年9月8日、9日	地域創造	清水裕之
21年度	2009年9月3日、4日	地域創造	河島伸子
22年度	2010年10月14日、15日	地域創造	中川幾郎
23年度	2011年10月13日、14日	地域創造	熊倉純子
24年度	2012年11月1日、2日	地域創造	小林真理
25年度	2013年9月5日、6日	地域創造	野田邦弘
26年度	2014年10月16日、17日	地域創造	中川幾郎

*11～19年度までは「アートアプローチセミナー」として開催

●都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議〔平成20年度～〕

[年度]	[会期]	[会場]
20年度	2008年8月6日	東京芸術劇場
21年度	2009年8月5日	東京芸術劇場、豊島区立勤労福祉会館
22年度	2010年8月3日	東京芸術劇場
23年度	2011年8月1日	全国都市会館
24年度	2012年7月30日	全国都市会館
25年度	2013年7月31日	東京芸術劇場
26年度	2014年8月5日	東京芸術劇場

終了した事業

●ステージクラフト〔平成9～20年度/会場:彩の国さいたま芸術劇場〕

[年度]	[会期]	[公演名]
9年度	1997年9月8日～9月11日	ノエル・カワード作『あいびき』
10年度	1998年12月8日～12月11日	矢代静一作『夜明けに消えた』
11年度	1999年12月13日～12月16日	竹内銃一郎作『伝染』
12年度	2001年3月5日～3月8日	ポーボーズ作『21世紀グリムⅠ～へんてこな森があった～』
13年度	2001年11月5日～11月8日	ポーボーズ作『21世紀グリムⅡ～あの川を渡ろう～』
14年度	2002年11月5日～11月8日	ポーボーズ作『21世紀グリムⅢ～あらたま～』
15年度	2003年9月2日～9月5日	ポーボーズ作『21世紀グリムⅣ～クロウ婆と三色すみれ～』
16年度	2004年8月30日～9月2日	『ハロー、グッバイ』(公共ホール演劇製作ネットワーク事業作品)
17年度	2005年8月16日～8月19日	Gigi作・構成『クラウンのいる風景』
18年度	2006年8月8日～8月11日	さいたまゴールドシアター中間発表作品『Pro・cess～途上～』
19年度	2007年9月25日～9月28日	Gigi作・構成『クラウンのいる風景』
20年度	2008年6月9日～6月12日	さいたまゴールドシアター『95kgと97kgのあいだ』

●ステージラボ・マスターコース〔平成14～22年度〕

[年度]	[コース名]	[アドバイザー等]
14年度	事業企画研究コース	津村卓
	ホール運営研究コース	細川紀彦
	まちづくり研究コース	吉本光宏
15年度	事業企画コースⅠ	松井憲太郎
	事業企画コースⅡ	児玉真
16年度	事業企画コースⅠ(音楽)	松原千代繁
	事業企画コースⅡ(ダンス)	志賀玲子
17年度	事業企画コースⅠ	衛紀生
	事業企画コースⅡ	熊倉純子
18年度	事業企画コースⅠ(コンテンポラリーダンス)	佐東範一
	事業企画コースⅡ(アート)	高橋直裕
19年度	事業企画コース(演劇)	津村卓
20年度	事業企画コース(音楽)	楠瀬寿賀子
21年度	事業企画コース	津村卓
22年度	事業企画コース	篠田信子

●都市行政文化懇話会〔平成19～24年度〕

[年度]	[会期]	[会場]	[講師等]
19年度	2008年1月25日	地域創造	福原義春、平田オリザ、吉本光宏
20年度	2008年10月2日	地域創造	北川フラム、吉本光宏、佐々木雅幸
21年度	2009年10月15日	地域創造	山折哲雄、後藤和子、加藤種男
22年度	2010年10月18日	地域創造	福武總一郎、佐々木雅幸、永田宏和
23年度	2011年10月26日	地域創造	福地茂雄、平田オリザ、吉本光宏
24年度	2012年10月26日	地域創造	大原謙一郎、建島哲

「公共ホール等活性化支援事業」では、現在、財団設立当初の平成6年度から地方団体等が地域において主体的に取り組む文化・芸術活動を財政的に支援してきた「助成」に加え、公立文化施設の活性化を支援する事業をクラシック音楽、現代ダンス、演劇、邦楽、美術のジャンル毎に実施しています。現在、実施しているプログラムは、以下のとおりです。

◎ジャンルごとの支援事業 →P23

公共ホール音楽活性化事業／公共ホール音楽活性化支援事業／公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業／公共ホール音楽活性化アウトリーチセミナー事業、公共ホール現代ダンス活性化事業／公共ホール現代ダンス活性化支援事業、公共ホール演劇ネットワーク事業、邦楽地域活性化事業、市町村立美術館活性化事業／公立美術館巡回展支援事業

◎地域の文化・芸術活動助成事業 →P36

創造プログラム／連携プログラム／研修プログラム／公立文化施設活性化計画プログラム

地域創造では、財団設立5周年を機に、公立文化施設の活性化を支援する事業を積極的に提案してきました(当時の名称は「公立文化施設活性化・ネットワーク化推進等事業」)。そのモデル事業として平成10年度に立ち上げたのがクラシック音楽の演奏家等を市町村に派遣し、地域の公立ホールと共同でコンサートとアウトリーチを企画・実施する「公共ホール音楽活性化事業」です。

以来、演劇・美術・伝統芸能(いずれも平成11年度～)、現代ダンス(平成17年度～)、邦楽(平成21年度～)とジャンルを広げ、それぞれの課題に応じた特徴ある事業を企画し、要望を踏まえながらリニューアルしてきました。

※財団設立10周年に際して大幅に事業を拡充。平成23年度に事業再編を行い、名称を「公共ホール等活性化支援事業」に改め、伝統芸能を「地域伝統芸能等保存事業」として独立。

●クラシック音楽—公共ホール音楽活性化事業(通称:おんかつ)等のあゆみ

地域創造が実施した「地域の公立文化施設に関する調査」(平成11年度実績)によると、当時、公立ホールの自主事業で最も多かったのがクラシック音楽でした(総事業数の約2割)。しかし、市町村ホールにはクラシックの演奏会を企画できない予算規模のところも多く、コンサート企画の経験をもつ職員も少なく、演奏会を行っても聴衆が集まらないなど、多くの課題を抱えていました。そうした課題について、ともに考え、市町村ホールを支援するモデル事業として企画したのが「おんかつ」です。目的は、「地域のニーズに応じた親しみやすい本格的な演奏会の提供とアウトリーチによる聴衆の育成」「地域とコミュニケーションできる新進演奏家の育成と活動の場の提供」「公立ホール職員の企画力・制作力の向上」です。

事業の特徴は、①2年ごとに実施するオーディションで選ばれた新進演奏家(登録アーティスト)とコーディネーターを地域に派遣していること、②ホール職員や登録アーティストに対するさまざまな研修を実施していること、③登録アーティストがプレゼンテーション演奏を行い、ホール職員と交流する場を提供していること、④登録アーティストとホール職員が共に企画するコンサートを実施していること、そして最も重要なのが⑤学校などへのアウトリーチを企画・実施していることです。特にアウトリーチでは、効果的なアクティビティ(地域交流プログラム)を実現するため、「少人数」「長くない時間(小さい時間)」「小さいスペース」という「3つの小」を方針に掲げています。

オーケストラを中心にした学校などへの出前コンサートは、1940年代終わり頃から行われていましたが、演奏家自らがアーティストとしてアクティビティの内容を考え、聴き手とコミュニケーションを取りながら体験してもらうアウトリーチに系統立てて取り組んだのは、日本においてはおんかつが初めてでした(モデルは、アメリカのNPOヤング・コンサート・アーティスト)

(YCA)が行っている「ミニレジデンシー・プログラム」。

当初は、こうした考え方を演奏家、ホール職員、受け入れ先に理解してもらうところからのスタートでしたが、調査研究を行い(平成12年度「アウトリーチ活動のすすめ～地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究」、平成20・21年度「新「アウトリーチのすすめ」～文化・芸術が地域に活力をもたらすために～)、また、おんかつ10周年の平成19年にはノウハウを整理した「おんかつハンドブック」を発行するなどの普及に努めた結果、現在ではこうした手法がスタンダードとして認知され、広く実施されるようになりました。ちなみに、おんかつ登録アーティストは平成26・27年度までに計99組、平成25年度までに、延べ302市町村に派遣され、計1,263回のアクティビティに計7万人ほどが参加しています。

また、おんかつをフォローアップするための事業として、「公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業」(平成16年度～。都道府県との共催によるアウトリーチ推進事業。都道府県版おんかつとも言えるもので、研修事業、フォーラムアーティストによるアウトリーチプログラム開発合宿、市町村ホールと連携したフォーラムアーティストによるアウトリーチとコンサートなどを実施)、「公共ホール音楽活性化支援事業」(平成17年度～。おんかつに参加した公立ホールが事業を継続できるように2年間財政的に支援。登録アーティストとしての実績をもつ演奏家＝おんかつ支援登録アーティストを招いてアウトリーチとコンサートを企画・実施することを推進)、「公共ホール音楽活性化アウトリーチセミナー事業」(平成26年度～。政令指定都市との共催によるアウトリーチ推進事業)を実施しています。

◎15年にわたりおんかつを担当してきた児玉真プロデューサーのコメント

1980年代後半から公立ホールが急増したことにより、いい演奏会にも集客できなくなったことがクラシック音楽事業の課題になっていました。ホールに来てもらえないなら、外に出て生のクラシック音楽の魅力を伝え、音楽で人生が豊かになる体験してもらおう。それを、将来の聴衆に繋げたいというのがそもそもの問題意識でした。

そこで新進演奏家が演奏会を開く地域でミニコンサートやレクチャーを行うYCAの「ミニレジデンシー・プログラム」を研究し、おんかつの枠組みの参考にしました。ホール内での演奏会ではなく、地域に出るアウトリーチという初めての取り組みを行うには、演奏家の意識を変えてプログラムを考える必要がありましたし、ホール職員にも演奏家や地域との付き合い方を相談する存在が必要だと考え、コーディネーターを付けることにしました。これはYCAにはない地域創造のオリジナルです。この三者がさまざまな実践を積み重ねながら、アウトリーチの共通認識をつくっていきました。

おんかつは、公立ホールの事業として、若手演奏家育成に繋がる演奏機会の提供をすることも目的のひとつにしています。通常は新人演奏会だと1回限りの付き合いになってしましますが、アウトリーチという地域に向き合う手法を取り入れたことにより、期せずして地域と継続的に関係をつくる機会を提供することになりました。「社会と接点をもって演奏」「音楽を演奏することが目的ではなく音楽を通じて何を伝えるのかを意識する」「ホールを通じてではなく地域と直接繋がる」という機会を提供し、回数を重ねられるアウトリーチは、これまでにないホール職員

や演奏家育成の手法になったと思います。

アウトリーチでは、演奏家やホール職員と、「なぜやるのか、何をやるのか、どうやるのか」の3つについて話し合ってきました。何をやるのかは演奏家の主戦場であり、どうやるのかは手法なのでいろいろな人に知恵を出してもらえばいいし、練習すれば上達します。どうやるかでは、楽器体験などもやりますが、おんかつが力を入れてきたのは、音楽や絵や言葉を使って感じ、表現する「聴くワークショップ」とでもいえるようなことです。

そして一番重要なのが、「なぜやるのか」について徹底的に話し合ったことです。当初は、聴衆育成のためにやっていましたが、ホールから地域に出たことで、アートの新たな力を発見し、聴き手以外の受益者層を開拓していきました。その結果、アウトリーチを、「クラシック音楽の普及」「誰もが文化を享受できる文化権の実現」「社会的な課題に対する演奏家の使命」という3つの役割を担うものとしてとらえるようになりました。

おんかつの成果は、何よりもこうしたアウトリーチが社会的に認知され、広がったことです。継続するための制度も徐々に整い、音楽大学にもキャリアマネジメントという考え方が取り入れられるようになりました。質的な担保、地域におけるコーディネーターの育成、地域の演奏家と公立ホールの協働など課題はいろいろありますが、これからは音楽が人生の伴侶となる環境づくりを目指していきたいと思っています。

●児玉真(地域創造プロデューサー、いわき芸術文化交流館アリオス チーフ プログラム オフィサー)

●現代ダンス—公共ホール現代ダンス活性化事業(通称:ダン活)/公共ホール現代ダンス活性化支援事業

平成17年度には、おんかつのダンス版として、コンテンポラリーダンスの登録アーティストとコーディネーターを約1週間程度地域に派遣し、アウトリーチ等の地域交流プログラムと公演を行うダン活をスタートしました。目的は、「コンテンポラリーダンス公演の普及」「身体を自由に動かす楽しさの体験、身体によるコミュニケーションの有効性、その人らしさをそのまま認めることのできるコンテンポラリーダンスの価値観の普及」「公立ホール職員の企画力・制作力の向上」です。

子どもでも高齢者でもダンスをしたことのない人でも「100人100様のダンスがある」というコンテンポラリーダンスの特性が参加者に大きな効果を与えています。また、イギリスからコミュニティダンスが紹介されたことに伴い、ワークショップ参加者と作品づくりを行う事例も増えています。平成21年度からは、ダン活に参加した公立ホールが事業を継続できるように2年間財政的に支援する公共ホール現代ダンス活性化支援事業を実施しています。

●演劇—公共ホール演劇ネットワーク事業

演劇ジャンルでは、平成11年度から公立ホールがネットワークを組んで演劇作品を共同プロデュースする「公共ホール演劇制作ネットワーク事業」と公立ホールが推薦する地域の若手劇団に東京公演の機会を提供する「リージョナルシアター・シリーズ」(いずれも平成19年度で終了)を実施しました。その結果、共同プロデュース10作品が製作され、全国36劇団の東京公演が実現しました。また、リージョナルシアター・シリーズの後期には、地域の公立ホールが製作した作品の東京公演や、プロの劇作家によるアドバイザー制度の導入、新たな手法としてのリーディング公演を実施するなど、地域演劇の紹介や育成に大きな影響を与えました。

こうした一定の成果を踏まえて事業の見直しを行い、平成20年度からは研修交流事業の一環として「リージョナルシアター事業」(→P14)を行うとともに、公立ホールが共同・連携して実施する公演と地域交流プログラムにより地域が演劇と触れ合う機会を提供する「公共ホール演劇ネットワーク事業」を実施しています。

●邦楽—邦楽地域活性化事業

文部科学省の学習指導要領の改訂により、平成14年度から中学校で和楽器教育が義務づけられ、小学校でも和楽器や日本の音楽を積極的に教材として用いる事が指導目標になりました。これまでの西洋音楽を中心とした音楽教育の方針が大転換し、地域の公共ホールにおける邦楽事業への期待も高まりつつあることを踏まえ、平成21年度から「邦楽地域活性化事業」をスタートしました。目的は、「邦楽への理解の促進」「邦楽アウトリーチと公演の普及」「邦楽演奏家によるアウトリーチプログラム開発」です。

この事業は、都道府県・政令指定都市が主体となり市町村との連携により実施するもので、邦楽演奏家とコーディネーターを地域に派遣し、演奏会や学校等での邦楽体験事業を実施しています。また、充実した研修を行い、ホール職員や学校教員に馴染みの薄い邦楽アウトリーチについて知る機会を提供しています。

●美術—市町村立美術館活性化事業/公立美術館巡回展支援事業

1980年代後半から全国各地に小規模な地域美術館が多数建設されましたが、予算やスペースに限りがあり、コレクションの充実や展覧会の開催が難しい状況がありました。一方、

都道府県立や政令指定都市立をはじめとした、中核的な公立美術館が所蔵する膨大なコレクションが広く活用されていないという課題もありました。こうした公立美術館のコレクションを活用し、身近な市町村立美術館等での鑑賞機会の拡大を目的としたのが、平成11年度にスタートした「市町村立美術館活性化事業」です。これにより平成26年度までに16の共同巡回展を企画し、全国の延べ61館において展覧会を開催しました。

また、平成16年度からは美術館のネットワークづくりを推進する「市町村立美術館等共同巡回展支援事業」(市町村立美術館活性化事業に参加経験のある美術館等が自主的に企画・実施する共同巡回展を支援。平成18年度で終了)、「都道府県立美術館等共同巡回展支援事業」(都道府県・政令指定都市の美術館が共同で企画・実施する巡回展を準備期間も含めた2カ年にわたって支援。平成19年度で終了)に取り組みました。平成19年度にはその実績を踏まえ、地域の公立美術館が主体的に連携した巡回展を支援する「公立美術館巡回展支援事業」として事業再編を行いました。

なお、平成16年度から22年度まで、都道府県域での公立美術館のネットワークづくりを支援する「地域の公立美術館等ネットワーク事業」(当該都道府県内の公立美術館等が連携して企画・実施する共同巡回展を支援)を実施しました。

●助成——地域の文化芸術活動助成事業

助成事業には、現在、創造プログラム、連携プログラム、研修プログラム、公立文化施設活性化計画プログラムの4つのプログラムがあります。

創造プログラムは、長期的展望を有し、発展的・継続的に事業を実施するうえで他の地域の参考となる事業に対する最長3年間の支援を行う「一般分」と、都道府県・政令指定都市が自主事業の企画制作能力の更なる向上や周辺地域の公立文化施設に波及効果をもたらす事業に対する単年度の支援を行う「企画制作力向上特別分」の2種類があります。

連携プログラムでは、複数の団体が連携することにより初めて実施できる事業のうち、3以上の地方公共団体等が連携して公演・展覧会を共同制作するとともに、地域交流プログラムの実施を見込む事業に対する支援を行います。

研修プログラムでは、地域の文化・芸術活動を担う公立文化施設等の企画・運営に携わる者のスキルの向上、ノウハウの習得等を目指し、地方公共団体等が自主的に企画・実施する実践的な人材育成事業に対する支援を行います。

公立文化施設活性化計画プログラムでは、公立文化施設が地域において果たすべき役割と、それを実現するための方策を登載した計画を策定する事業に対する支援を行います。

なお、地方公共団体等が単独で実施し、住民参画により、地域の人々の文化・芸術に対する理解・共感を広げるような自主企画事業を支援する単独プログラムは、事業再編により、平成22年度をもって終了しました。

実績一覧

クラシック音楽

●公共ホール音楽活性化事業[平成10年度～]		
[開催地]	[主会場]	[アーティスト]
◎10年度		
北海道函館市	函館市芸術ホール	高橋多佳子
北海道新冠町	レ・コード館	中鉢聡、沢崎恵美
青森県浪岡町	浪岡町中世の館	中鉢聡、竹村佳子
埼玉県浦和市	浦和市地域中核施設プラザイースト	高橋多佳子
埼玉県和光市	和光市民文化センター	中鉢聡、河野めぐみ
東京都足立区	西新井文化ホール	山崎祐介
新潟県小出町	小出郷文化会館	白石禮子
富山県黒部市	黒部市国際文化センター	中鉢聡、竹村佳子
兵庫県和田山町	和田山町文化会館	川井綾子、高木和弘
広島県瀬戸町	瀬戸町市民会館	中鉢聡、沢崎恵美
香川県三木町	三木町文化交流プラザ	沢崎恵美
長崎県大島町	大島町民文化ホール	沢崎恵美
◎11年度		
北海道新冠町	レ・コード館	中鉢聡、沢崎恵美
秋田県雄勝町	雄勝町総合文化会館	辻本憲一
新潟県寺泊町	寺泊町文化センター	辻本憲一
富山県黒部市	黒部市国際文化センター	川井綾子
静岡県韮山町	韮山時代劇場	竹村佳子、中鉢聡
滋賀県甲賀町	甲賀町農村環境改善センター	高木和弘
兵庫県温泉町	温泉町公民館夢ホール	高木和弘、高橋多佳子
鳥取県羽合町	ハワイアロハホール	高木和弘、竹村浄子
高知県春野町	春野町文化ホール	中鉢聡、竹村佳子
高知県佐川町	佐川町立桜座	高橋多佳子
福岡県城島町	城島町総合文化センター	高木和弘、高橋多佳子
長崎県大村市	大村市体育文化センター	中鉢聡、沢崎恵美
◎12年度		
北海道旭川市	旭川市大雪クリスタルホール	小林史真
宮城県大河原町	仙南芸術文化センター	白石光隆、田中靖人
茨城県美野里町	美野里町公民館	小林史真
埼玉県熊谷市	熊谷文化創造館	大森潤子
富山県黒部市	黒部市国際文化センター	JAFRAアカデミー室内合奏団
長野県豊田村	豊田村民会館	小林史真
静岡県大井川町	大井川町文化会館ミュージコ	白石光隆、田中靖人
滋賀県彦根市	ひこね市文化プラザ	白石光隆、田中靖人
兵庫県山崎町	山崎文化会館	トウキョウ・ウインズ
奈良県川西町	川西文化会館	黒田晋也
岡山県真備町	マービーふれあいセンター	大森潤子、長谷部一郎
広島県三和町	みわ文化センター	青盛のぼる、村上敏明
徳島県小松島市	小松島市ミリカホール	青盛のぼる、村上敏明
島根県川本町	悠邑ふるさと会館	小林史真、長谷部一郎
福岡県春日市	春日市ふれあい文化センター	トウキョウ・ウインズ
熊本県城南町	火の君総合文化センター	青盛のぼる、村上敏明
◎13年度		
秋田県矢島町	矢島町コミュニティセンター	トウキョウ・ウインズ

宮城県岩出山町	岩出山町文化会館	小林史真、長谷部一郎
茨城県ひたちなか市	ひたちなか市文化会館	白石光隆
栃木県河内町	田原コミュニティプラザ	大森潤子、長谷部一郎
埼玉県児玉町	児玉町文化会館	白石光隆、田中靖人
埼玉県富士見市	富士見市立鶴瀬コミュニティセンター	大森潤子、長谷部一郎
埼玉県八潮市	八潮メセナホール	白石光隆、田中靖人
神奈川県茅ヶ崎市	茅ヶ崎市民文化会館	白石光隆、田中靖人
富山県入善町	入善コスモホール	大森潤子
長野県塩尻市	塩尻市文化会館	小林史真
岐阜県穂積町	穂積町総合センター	大森潤子
岐阜県岐阜市	岐阜市文化センター	小林史真
静岡県大東町	大東町文化会館	白石光隆、田中靖人
奈良県大和高田市	大和高田さざんかホール	小林史真、長谷部一郎
鳥取県中山町	中山町生活想像館	トウキョウ・ウインズ
島根県美都町	ふれあいホールみと	白石光隆、田中靖人
岡山県早島町	早島町町民総合会館	トウキョウ・ウインズ
広島県神辺町	神辺町文化会館	大森潤子、長谷部一郎
熊本県鏡町	鏡町文化センター	トウキョウ・ウインズ
大分県中津江村	中津江村民ホール	丸山勉
◎14年度		
北海道苫前町	苫前町公民館	大森智子、田村緑
青森県六ヶ所村	六ヶ所村文化交流プラザ	藪田真木子
宮城県登米市	登米祝祭劇場	藪田真木子
福島県東村	東村文化センター	大森智子
茨城県水海道市	水海道市立生涯学習センター	浜まゆみ、唐津健
新潟県見附市	見附市文化ホールアルカディア	神代修
山梨県河口湖町	河口湖円形ホール	浜まゆみ、田村緑
岐阜県関ヶ原町	関ヶ原ふれあいセンター	羽山晃生
滋賀県安土町	安土文芸セミナリヨ	中川賢一
兵庫県西脇市	西脇市立音楽ホール「アピカホール」	磯谷里子、唐津健
和歌山県清水町	清水町文化センター	磯谷里子、唐津健
岡山県井原市	アクティブライフ井原	竹内直子、唐津健
広島県瀬戸町	瀬戸町町ベル・カントホール	浜まゆみ、白石光隆、田中靖人
島根県出雲市	ビックハート出雲	浜まゆみ、白石光隆、田中靖人
徳島県山川町	山川アメニティセンター	浜まゆみ、唐津健
福岡県大牟田市	大牟田文化会館	大森智子、田村緑
鹿児島県知名町	おきえらぶ文化ホール「あしびの郷・ちな」	大森智子
◎15年度		
青森県岩木町	岩木文化センター	中川賢一、竹内直子
群馬県桐生市	桐生市市民文化会館	大森智子
埼玉県三芳町	三芳町文化会館	中川賢一、浜まゆみ
埼玉県吉川市	吉川市中央公民館	大森智子、田村緑
東京都三鷹市	三鷹市芸術文化センター	田村緑
石川県羽咋市	コスモアイル羽咋	藪田真木子
兵庫県和田山町	和田山町文化会館	高橋多佳子、長谷部一郎、磯谷里子
兵庫県温泉町	温泉町夢ホール	高橋多佳子、長谷部一郎、磯谷里子
兵庫県生野町	生野メインホール	高橋多佳子、長谷部一郎、磯谷里子

兵庫県豊岡市	豊岡市民会館	高橋多佳子、長谷部一郎、磯絵里子
和歌山県美里町	美里町文化センター	竹内直子、神代修
島根県浜田市	石央文化ホール	大森智子、田村緑
岡山県日生町	日生町民会館	竹内直子、浜まゆみ
福岡県大野城市	大野城まどかぴあ	大森智子、田村緑
福岡県筑後市	サザンクス筑後	磯絵里子
佐賀県武雄市	武雄市文化会館	中川賢一、浜まゆみ
熊本県益城町	益城町文化会館	大森智子、田村緑
沖縄県宜野座村	宜野座村文化センター	磯絵里子、唐津健

◎16年度

北海道利尻町	利尻町交流促進施設どんと	BLACK BOTTOM BRASS BAND
北海道朝日町	朝日町サンライズホール	小林厚子
宮城県七ヶ浜町	七ヶ浜国際村ホール	神谷美穂、デイヴィッド・ファーマー
宮城県名取市	名取市文化会館	野口千代光、永井由比
福島県田島町	御蔵入交流館	佐々木京子、永井由比
埼玉県深谷市	深谷市民文化会館	小林厚子
千葉県流山市	流山市文化会館	久保田葉子、デイヴィッド・ファーマー

神奈川県相模湖町	相模湖交流センター	神谷美穂
新潟県吉田町	吉田町公民館	宮本妥子
新潟県新井市	新井総合文化ホール	菅家奈津子
富山県八尾町	八尾町コミュニティセンター	小林厚子
福井県福井市	福井市文化会館	野口千代光、永井由比
愛知県豊橋市	豊橋市民文化会館	神谷美穂、佐々木京子
岐阜県多治見市	多治見市文化会館	宮本妥子、永井由比
静岡県菊川町	菊川町文化会館アエル	Buzz Five
滋賀県木之本町	木之本町ステックホール	宮本妥子、永井由比
滋賀県朽木村	朽木村文化交流施設やまびこ館	宮本妥子
島根県佐田町	佐田町中央公民館	Buzz Five
愛媛県伊方町	伊方町民会館	久保田葉子
愛媛県丹原町	丹原町文化会館	神谷美穂
福岡県直方市	ユメニティのおがた	デュエットウ かなえ&ゆかり
福岡県中間市	なかまハーモニーホール	Buzz Five
長崎県松浦市	松浦市文化会館	宮本妥子
大分県大分市	コンパルホール	デュエットウ かなえ&ゆかり
大分県三重町	エイトピアおおの	BLACK BOTTOM BRASS BAND

鹿児島県中種子町	種子島こり〜な	BLACK BOTTOM BRASS BAND
沖縄県名護市	名護市民会館	デュエットウ かなえ&ゆかり
沖縄県平良市	マティダ市民劇場(宮古広域文化ホール)	菅家奈津子

◎17年度

北海道深川市	深川市文化交流ホール み・らい	Buzz Five
青森県青森市	青森文化会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
宮城県石巻市	石巻文化センター	神谷美穂、佐々木京子
山形県余目町	余目町文化創造館「響ホール」	デュエットウ かなえ&ゆかり
福島県会津若松市	會津風雅堂	小林厚子
茨城県取手市	取手市民会館	宮本妥子

群馬県富岡市	かぶら文化ホール	Buzz Five
千葉県市川市	市川市行徳文化ホール I&I	宮本妥子
東京都目黒区	めぐろパーシモンホール	菅家奈津子、デイヴィッド・ファーマー
新潟県中之島町	中之島町町民文化センター	神谷美穂、佐々木京子
新潟県新潟市	新潟市新津美術館	神谷美穂、デイヴィッド・ファーマー
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	菅家奈津子、永井由比
静岡県伊東市	伊東市観光会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
愛知県幸田町	幸田町民会館つばきホール	宮本妥子
愛知県武豊町	ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)	菅家奈津子
滋賀県野洲市	さざなみホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND

京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	野口千代光、永井由比
大阪府松原市	松原市文化会館	野口千代光
奈良県奈良市	なら100年会館	菅家奈津子
長崎県佐世保市	アルカスSASEBO	デュエットウ かなえ&ゆかり
長崎県長崎市	長崎市香焼公民館	宮本妥子
熊本県長洲町	ながす未来館	神谷美穂
鹿児島県大口市	大口文化会館	Buzz Five
沖縄県佐敷町	佐敷町文化センター・シュガーホール	デュエットウ かなえ&ゆかり

◎18年度

北海道中標津町	中標津町総合文化会館しるべっと	荒川洋
北海道豊頃町	豊頃町える夢館	Quartet SPIRITUS
岩手県北上市	北上市文化交流センターさくらホール	大熊理津子
秋田県横手市	横手市ふれあいセンターかまくら館	Duo Yamaguchi
秋田県秋田市	秋田市文化会館	加藤直明
埼玉県川口市	川口市民会館	加藤直明
千葉県東金市	東金文化会館	早稲田桜子
東京都品川区	品川区総合区民会館(きゅりあん)	早稲田桜子
富山県砺波市	砺波市文化会館	荒川洋
石川県金沢市	金沢市アートホール	Quartet SPIRITUS
石川県珠洲市	ラポルトすず(珠洲市多目的ホール)	渡邊史
福井県鯖江市	鯖江市文化センター	大熊理津子
福井県若狭町	パレア若狭	渡邊史
山梨県山梨市	山梨市花かげホール	渡邊史
長野県長野市	若里市民文化ホール	早稲田桜子
岐阜県可児市	可児市文化創造センター	加藤直明
静岡県浜松市	浜松市天竜壬生ホール	渡邊史
三重県四日市市	四日市市文化会館	荒川洋
京都府京丹後市	京都府丹後文化会館	早稲田桜子
兵庫県朝来市	あさご・ささゆりホール	奈良希愛、片岡リサ
岡山県津山市	音楽文化ホール・ベルフォーレ津山	江崎浩司
広島県廿日市市	はつかいち文化ホール	Quartet SPIRITUS
徳島県海陽町	海南文化館	片岡リサ
香川県丸亀市	丸亀市民会館	小野明子
愛媛県松山市	松山市総合コミュニティセンター	江崎浩司
佐賀県唐津市	唐津市高齢者ふれあい会館りふれ	荒川洋、益田正洋
長崎県雲仙市	吾妻町ふるさと会館	加藤直明
熊本県熊本市	健軍文化ホール	Quartet SPIRITUS
宮崎県清武町	清武町文化会館	奈良希愛

◎19年度

宮城県本吉町	はまなすホール	荒川洋
宮城県大和町	大和町ふれあい文化創造センター	江崎浩司
福島県いわき市	いわき市文化センター	小野明子
群馬県玉村町	玉村町文化センター	大熊理津子
埼玉県入間市	入間市市民会館	荒川洋
千葉県四街道市	四街道市文化センター	Quartet SPIRITUS
東京都江東区	ティアラこうとう	江崎浩司
山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	小野明子
長野県茅野市	茅野市民館	荒川洋
岐阜県白川村	白川村総合文化交流施設	Quartet SPIRITUS
静岡県沼津市	沼津市民文化センター	荒川洋、益田正洋
愛知県津島市	津島市文化会館	渡邊史
三重県伊賀市	伊賀市文化会館	大熊理津子
岡山県矢掛町	やかげ文化センター	大熊理津子
山口県阿武町	阿武町町民センター	小野明子
高知県四万十市	西土佐ふれあいホール	大熊理津子
福岡県宗像市	宗像ユリックス	小野明子、片岡リサ
佐賀県多久市	多久市中央公民館	江崎浩司
佐賀県唐津市	相知交流文化センター	小野明子
大分県日田市	日田市民文化会館 バトリア日田	Quartet SPIRITUS
宮崎県新富町	新富町文化会館	渡邊史
鹿児島県鹿屋市	鹿屋市市民交流センター	早稲田桜子
鹿児島県徳之島町	徳之島町文化会館	Quartet SPIRITUS
沖縄県北谷町	ちたんニライセンター	Quartet SPIRITUS

◎20年度

青森県六戸町	六戸町文化ホール	ピアノトリオ・ミュゼ
宮城県蔵王町	蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)	福島青衣子
秋田県羽後町	西馬音内盆踊り会館	Quintet「H」
茨城県小美玉市	小川文化センター	吉川健一
茨城県日立市	日立シビックセンター	ピアノトリオ・ミュゼ
埼玉県吉見町	吉見町民会館フレサよしみ	福島青衣子
埼玉県深谷市	花園文化会館アドニス	ピアノトリオ・ミュゼ
東京都港区	高輪区民センター	吉川健一
東京都国立市	くにたち市民芸術小ホール	小谷口直子、福島青衣子
三重県東員町	ひばりホール	ピアノトリオ・ミュゼ
滋賀県大津市	スカイプラザ浜大津	Quintet「H」
大阪府富田林市	すばるホール	今野尚美
兵庫県福崎町	エルデホール	吉川健一
和歌山県和歌山市	和歌山市民センター	ドゥオール
鳥取県琴浦町	琴浦町カウベルホール	Quintet「H」
香川県高松市	サンポートホール高松	ピアノトリオ・ミュゼ
福岡県古賀市	古賀市中央公民館	Quintet「H」
福岡県宮若市	宮若市宮田文化センター	高橋和歌
大分県臼杵市	臼杵市民会館	今野尚美

◎21年度

北海道滝川市	たきかわホール	ピアノトリオ・ミュゼ
北海道斜里町	斜里町公民館ゆめホール知床	福島青衣子
青森県八戸市	八戸市南郷文化ホール	福島青衣子
山形県白鷹町	白鷹町文化交流センター AYU:M(あゆむ)	Quintet「H」
茨城県那珂市	那珂市総合センターらぼーる	Quintet「H」

埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	ピアノトリオ・ミュゼ
長野県大町市	大町市文化会館	小谷口直子、福島青衣子
長野県川上村	川上村文化センター	今野尚美
三重県多気町	多気町民文化会館	今野尚美
京都府城陽市	文化パルク城陽	吉川健一
大阪府河内長野市	河内長野市立文化会館ラプリーホール	福島青衣子
兵庫県西宮市	西宮市甲東ホール	吉川健一
和歌山県日高川町	日高川交流センター	高橋和歌
岡山県新見市	まなび広場にいみ	今野尚美
岡山県真庭市	北房文化センター	吉川健一
岡山県勝央町	勝央文化ホール	小谷口直子、福島青衣子
高知県高知市	高知市文化プラザかるぼーと	Quintet「H」
高知県土佐清水市	土佐清水市立市民文化会館	吉川健一
熊本県八代市	やつしろハーモニーホール	高橋和歌

◎22年度

岩手県一関市	一関文化センター	大石将紀
宮城県多賀城市	多賀城市民会館	乗松恵美
宮城県塩竈市	塩竈市遊ホール	新崎誠実
秋田県八郎潟町	八郎潟町農村環境改善センター	海野幹雄、甲斐摩耶
茨城県笠間市	笠間公民館	Dual KOTO×KOTO
栃木県大平町	おおひら町民ホール	Dual KOTO×KOTO
千葉県浦安市	浦安市文化会館	大石将紀
東京都狛江市	狛江エコルマホール	吉岡次郎
新潟県柏崎市	柏崎市産業文化会館	海野幹雄
長野県箕輪町	箕輪町文化センター	Quatuor B
岐阜県飛騨市	飛騨市文化交流センター	甲斐摩耶、吉岡次郎
愛知県田原市	田原文化会館	野尻小矢佳
和歌山県上富田町	上富田文化会館	Quatuor B
広島県熊野町	熊野町民会館	瀧村依里、吉岡次郎
高知県須崎市	須崎市立市民文化会館	Dual KOTO×KOTO
高知県香南市	のいちふれあいセンター	大石将紀
愛媛県上島町	せとうち交流館	Quatuor B
佐賀県佐賀市	佐賀市文化交流プラザ	大石将紀、野尻小矢佳
佐賀県鳥栖市	鳥栖市中央公民館	瀧村依里
大分県玖珠町	くすまちメルサンホール	Quatuor B

◎23年度

青森県むつ市	下北文化会館	吉岡次郎、野尻小矢佳
岩手県宮古市	市内の教育施設	吉岡次郎
栃木県宇都宮市	宇都宮市文化会館	甲斐摩耶、瀧村依里
埼玉県行田市	行田市産業文化会館	海野幹雄
東京都世田谷区	成城ホール	大石将紀
長野県小海町	小海町音楽堂 ヤルヴィホール	吉岡次郎、野尻小矢佳
愛知県豊田市	豊田市コンサートホール	甲斐摩耶、海野幹雄
三重県鈴鹿市	鈴鹿市文化会館 けやきホール	乗松恵美
大阪府高石市	たかいし市民文化会館 アブラホール	Dual KOTO×KOTO
兵庫県尼崎市	アルカイックホール	瀧村依里
山口県山陽小野田市	山陽小野田市文化会館	海野幹雄、野尻小矢佳
熊本県菊陽町	菊陽町図書館ホール	Quatuor B
大分県九重町	九重文化センター	Quatuor B
鹿児島県奄美市	奄美文化センター	Quatuor B

◎24年度

岩手県大船渡市	大船渡市民文化会館リラスホール	新居由佳梨、北島佳奈
岩手県久慈市	久慈市文化会館 アンバーホール	奥田なな子
岩手県奥州市	前沢ふれあいセンター	松本蘭
群馬県太田市	太田市藪塚本町文化ホール カルトピア	新居由佳梨
埼玉県川越市	川越市市民会館	松本蘭
東京都東久留米市	東久留米市立生涯学習センター まるにえホール	松本蘭
神奈川県小田原市	小田原市民会館	デュオ・レゾネ
石川県津幡町	津幡町文化会館 シグナス	松尾俊介
愛知県豊川市	豊川市小坂井文化会館 フロイデンホール	泊真美子
滋賀県高島市	高島市文化ホール ガリバーホール	松本蘭
兵庫県加東市	加東市やしろ国際学習塾L.O.Cホール	デュオ・レゾネ
沖縄県浦添市	浦添市でだこホール	松本蘭

◎25年度

北海道大空町	大空町教育文化会館	北島佳奈
岩手県一戸町	一戸コミュニティセンター	北島佳奈、奥田なな子
千葉県栄町	ふれあいプラザさかえ	デュオ・レゾネ
東京都中野区	なかのZERO	北島佳奈
福井県福井市	福井市文化会館	新居由佳梨
長野県上田市	上田文化会館	北島佳奈
岐阜県大垣市	大垣市サイトピアセンター	泊真美子
愛知県尾張旭市	尾張旭市文化会館	新居由佳梨
三重県亀山市	亀山市文化会館	新居由佳梨
兵庫県多可町	多可町文化会館 ベルディホール	デュオ・レゾネ
和歌山県橋本市	橋本市産業文化会館アザレア	北島佳奈
和歌山県紀の川市	紀の川市粉河ふるさとセンター	デュオ・レゾネ
岡山県倉敷市	児島市民交流センター ジーンズホール	新居由佳梨、松本蘭
広島県大崎上島町	大崎上島文化センター ホール神峰	奥田なな子
愛媛県今治市	今治市中央公民館	奥田なな子
宮崎県小林市	小林市文化会館	北島佳奈
鹿児島県龍郷町	龍郷町体育文化センター りゅうゆう館	デュオ・レゾネ
沖縄県沖縄市	沖縄市民小劇場あしびなー	泊真美子

◎26年度

秋田県由利本荘市	文化交流館カダーレ	田村真寛
茨城県つくば市	つくば市立カピオホール	前田啓太
福井県坂井市	みくに文化未来館	前田啓太
岐阜県揖斐川町	谷汲サンサンホール	高見信行
愛知県安城市	安城市文化センターマツバホール	前田啓太
滋賀県米原市	米原市民交流プラザ	前田啓太
大阪府大阪狭山市	大阪狭山市文化会館SAYAKAホール	高見信行
和歌山県有田川町	きびドーム文化ホール	金子三勇士
岡山県真庭市	エスパスホール	高見信行、田村真寛
岡山県和気町	学び館「サエスタ」	廣田美穂、中井亮一
愛媛県新居浜市	新居浜市市民文化センター	高見信行
福岡県太宰府市	プラム・カルコア大宰府	森岡有裕子
鹿児島県長島町	長島町文化ホール	森岡有裕子

●公共ホール音楽活性化支援事業[平成17年度～]

[開催地] [主会場] [アーティスト]

◎17年度

北海道苫前町	苫前町公民館	山崎祐介
宮城県名取市	名取市文化会館	竹内直子
宮城県登米市	登米祝祭劇場	丸山勉
宮城県岩出山町	岩出山町文化会館	大森潤子、長谷部一郎
宮城県大河原町	えぞこホール	大森智子、田村緑
宮城県七ヶ浜町	七ヶ浜国際村ホール	大森智子、中川賢一
茨城県ひたちなか市	ひたちなか市文化会館	唐津健、竹内直子
富山県富山市	八尾コミュニティセンター	白石光隆
石川県羽咋市	コスモアイル羽咋	高橋多佳子
愛知県豊橋市	豊橋市民文化会館ホール	礒絵里子
兵庫県豊岡市	豊岡市立市民会館	礒絵里子、長谷部一郎、高橋多佳子
兵庫県温泉町	温泉町夢ホール	浜まゆみ
島根県浜田市	石央文化ホール	田村緑
島根県出雲市	スサノオホール	田村緑
島根県益田市	ふれあいホールみと	田中靖人、白石光隆
愛媛県伊方町	伊方町民会館	田村緑
福岡県直方市	ユメニティのおがた	浜まゆみ
福岡県大野城市	大野城まどかびあ	小林史真、田村緑
長崎県松浦市	松浦市文化会館	田中靖人、白石光隆

◎18年度

青森県青森市	青森市文化会館ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
宮城県石巻市	石巻文化センター	礒絵里子
宮城県名取市	名取市文化会館	野口千代光、永井由比、中川賢一
宮城県登米市	登米祝祭劇場	長谷部一郎
宮城県大崎市	岩出山町文化会館(スコレハウス)	大森智子、中川賢一
宮城県七ヶ浜町	七ヶ浜国際村ホール	大森智子、中川賢一
福島県田島町	御蔵入交流館 田島町文化ホール	永井由比、佐々木京子
茨城県取手市	取手市民会館	礒絵里子
茨城県ひたちなか市	ひたちなか市文化会館	大森智子、浜まゆみ、中川賢一
群馬県桐生市	桐生市市民文化会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
群馬県富岡市	かぶら文化ホール	デュエットウ かなえ&ゆかり
埼玉県深谷市	深谷市民文化会館	Buzz Five
埼玉県富士見市	富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ	村上敏明、竹村佳子
新潟県新潟市	新潟市新津美術館	小林史真
富山県黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	大森智子、白石光隆
石川県羽咋市	コスモアイル羽咋	デュエットウ かなえ&ゆかり
長野県塩尻市	塩尻市文化会館(レザンホール)	渡邊史
岐阜県多治見市	多治見市民会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	浜まゆみ
静岡県伊東市	伊東市観光会館	黒田晋也、藺田真木子
静岡県掛川市	掛川市文化会館シオーネ	BLACK BOTTOM BRASS BAND
愛知県豊橋市	豊橋市民文化会館ホール	小林厚子
愛知県武豊町	ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)	白石光隆、田中靖人

愛知県幸田町	幸田町民会館 つばきホール	宮本妥子	三重県四日市市	四日市市文化会館	大森潤子
滋賀県野洲市	さざなみホール	礪絵里子、神谷未穂	京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	山崎祐介
滋賀県高島市	高島市文化交流施設 やまびこ館	大森潤子	兵庫県朝来市	あさご・ささゆりホール	田中靖人、白石光隆、大森潤子
京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	浜まゆみ	兵庫県朝来市	和田山ジュピターホール	デュエットウ かなえ&ゆかり
兵庫県豊岡市	豊岡市民会館文化ホール	大森智子、白石光隆	兵庫県朝来市	生野メインホール	宮本妥子
兵庫県朝来市	和田山ジュピターホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND	奈良県奈良市	なら100年会館	田中靖人
兵庫県朝来市	山東緑風の郷ホール	神谷未穂、永井由比	奈良県大和高田市	大和高田市文化会館(さざんかホール)	BLACK BOTTOM BRASS BAND
兵庫県宍粟市	山崎文化会館	Quartet SPIRITUS	岡山県津山市	音楽文化ホールベルフォーレ津山	Buzz Five
兵庫県新温泉町	新温泉町夢ホール	神代修	広島県廿日市市	はつかいち文化ホールさくらびあ	大森潤子
奈良県奈良市	なら100年会館	神代修	徳島県海陽町	海南文化館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
奈良県大和高田市	大和高田市文化会館(さざんかホール)	BLACK BOTTOM BRASS BAND	長崎県長崎市	琴海ふれあいセンター	白石光隆、田中靖人
島根県出雲市	スサノオホール	永井由比、中川賢一	長崎県佐世保市	アルカスSASEBO	野口千代光、中川賢一
福岡県直方市	ユメニティのおがた	浜まゆみ	長崎県雲仙市	国見町文化会館(まほろば)	神谷未穂
福岡県大野城市	大野城まどかぴあ	BLACK BOTTOM BRASS BAND	熊本県益城町	益城町文化会館	礪絵里子、高橋多佳子
長崎県長崎市	琴海町ふれあいセンター	長谷部一郎、高橋多佳子	宮崎県清武町	清武町文化会館	Buzz Five
長崎県佐世保市	アルカスSASEBO	BLACK BOTTOM BRASS BAND	◎20年度		
長崎県松浦市	松浦市文化会館	宮本妥子	北海道中標津町	中標津町総合文化会館しるべっと	荒川洋
熊本県長洲町	ながす未来館	神谷未穂	北海道豊頃町	豊頃町える夢館はるにれホール	荒川洋
熊本県益城町	益城町文化会館	Buzz Five	北海道深川市	深川市文化交流ホール み・らい	BLACK BOTTOM BRASS BAND
◎19年度			岩手県北上市	北上市文化交流センター さくらホール	菅家奈津子
北海道深川市	深川市文化交流ホール み・らい	BLACK BOTTOM BRASS BAND	秋田県秋田市	秋田市文化会館	中鉢聡
北海道豊頃町	豊頃町える夢館はるにれホール	大森潤子	埼玉県入間市	入間市産業文化センター	礪絵里子
青森県青森市	青森市民ホール	デュエットウ かなえ&ゆかり	千葉県四街道市	四街道市文化センター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
岩手県北上市	北上市文化交流センター さくらホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND	千葉県東金市	東金文化会館	高木和弘
宮城県石巻市	石巻文化センター	礪絵里子、神谷未穂	東京都江東区	ティアラこうとう	小野明子
秋田県秋田市	秋田市文化会館	中鉢聡	富山県砺波市	砺波市文化会館	高橋多佳子
福島県南会津町	御蔵入交流館	佐々木京子、永井由比	石川県金沢市	金沢市アートホール	Quartet SPIRITUS
茨城県取手市	取手市立取手市民会館	大森智子、礪絵里子	石川県珠洲市	ラポルトすず(珠洲市多目的ホール)	小野明子
群馬県桐生市	桐生市市民文化会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND	福井県若狭町	パレオ若狭音楽ホール	江崎浩司
群馬県富岡市	かぶら文化ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND	山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
埼玉県深谷市	深谷市民文化会館	白石光隆	長野県長野市	若里市民文化ホール	永井由比
埼玉県富士見市	富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ	竹村桂子、村上敏明	静岡県沼津市	沼津市民センター	Buzz Five
千葉県東金市	東金文化会館	大森潤子	三重県四日市市	四日市市文化会館	小野明子
新潟県新潟市	新潟市新津美術館	礪絵里子、高橋多佳子	京都府京丹後市	京都府丹後文化会館	片岡リサ
富山県黒部市	黒部市国際文化センター コラーレ	大森潤子、田村緑	岡山県津山市	音楽文化ホールベルフォーレ津山	大森智子、中川賢一
福井県若狭町	パレオ若狭音楽ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND	広島県廿日市市	はつかいち文化ホールさくらびあ	渡邊史
長野県長野市	若里市民文化ホール	浜まゆみ	山口県阿武町	阿武町町民センター文化ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
長野県塩尻市	塩尻市文化会館(レザンホール)	BLACK BOTTOM BRASS BAND	徳島県海陽町	海南文化館	藪田真木子
岐阜県多治見市	多治見市民会館	野口千代光、中川賢一	香川県丸亀市	丸亀市民会館	デュエットウ かなえ&ゆかり
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	神代修	福岡県宗像市	宗像ユリックス	荒川洋
静岡県伊東市	伊東市観光会館	中川賢一、永井由比	佐賀県多久市	多久市中央公民館	藪田真木子
静岡県掛川市	掛川市文化会館シオーネ	大森智子、中川賢一	佐賀県唐津市	高齢者ふれあい会館りふれ	加藤直明
愛知県武豊町	ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)	大森智子、中川賢一	長崎県雲仙市	ハマユリックスホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
愛知県幸田町	幸田町民会館 つばきホール	宮本妥子	大分県日田市	日田市民文化会館 パトリア日田	Quartet SPIRITUS
			宮崎県新富町	新富町文化会館	早稲田桜子

沖縄県北谷町	ちゃたんニライセンター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
◎21年度		
北海道中標津町	中津川町総合文化会館しるべつと	荒川洋
青森県六戸町	六戸町文化ホール	高橋多佳子
福島県いわき市	いわき芸術文化交流館アリオス	渡邊史
群馬県玉村町	玉村町文化センター	Quartet SPIRITUS
茨城県小美玉市	小美玉市小川文化センター	宮本妥子
埼玉県深谷市	花園文化会館アドニス	宮本妥子
埼玉県入間市	入間市産業文化センター	高橋多佳子
埼玉県吉見町	吉見町民会館フレサよしみ	大森智子、白石光隆
東京都江東区	ティアラこうとう	Quartet SPIRITUS
富山県砺波市	砺波市文化会館	荒川洋
石川県珠洲市	ラポルトすず	田村緑
山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	中川賢一、大森智子
長野県茅野市	茅野市民館	Quartet SPIRITUS
静岡県沼津市	沼津市民文化センター	デュエットウ かなえ&ゆかり
京都府京丹後市	京都府丹後文化会館	Quartet SPIRITUS
和歌山県和歌山市	和歌山市民会館	中鉢聡
山口県阿武町	阿武町町民センター文化ホール	デュエットウ かなえ&ゆかり
香川県高松市	サンポートホール高松	BLACK BOTTOM BRASS BAND
香川県丸亀市	丸亀市民会館	小野明子
高知県四万十市	西土佐ふれあいホール	デュエットウ かなえ&ゆかり
福岡県宗像市	宗像ユリックス	大森智子、白石光隆
福岡県宮若市	宮若市宮田文化センター	Buzz Five
佐賀県多久市	多久市中央公民館	Buzz Five
佐賀県唐津市	唐津市高齢者ふれあい会館りふれ	高橋多佳子、磯絵里子
大分県日田市	日田市文化会館 バトリア日田	Quartet SPIRITUS
宮崎県新富町	新富町文化会館	江崎浩司
鹿児島県鹿屋市	リナシティかのやホール	早稲田桜子
◎22年度		
北海道滝川市	たきかわ文化センター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
青森県八戸市	八戸南郷文化ホール	宮本妥子
青森県六戸町	六戸町文化ホール	早稲田桜子
宮城県蔵王町	蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)	Quartet SPIRITUS
福島県いわき市	いわき芸術文化交流館アリオス	田村緑
茨城県那珂市	那珂市総合センターらぼーる	ピアノトリオ・ミュゼ
茨城県小美玉市	小美玉市小川文化センター	Quintet「H」
埼玉県吉見町	吉見町民会館フレサよしみ	浜まゆみ
埼玉県深谷市	深谷市花園文化会館アドニス	Quartet SPIRITUS
埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	Quartet SPIRITUS
東京都港区	赤坂区民センター	小林厚子
長野県大町市	大町市文化会館(サン・アルプス大町)	福島青衣子
長野県茅野市	茅野市民館	磯絵里子、神谷未穂
三重県多気町	多気町民文化会館	Quintet「H」
和歌山県日高川町	日高川交流センター	Quintet「H」
和歌山県和歌山市	和歌山市民会館	大森潤子
大阪府富田林市	すばるホール	磯絵里子
大阪府河内長野市	河内長野市立文化会館 ラブリーホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND

兵庫県西宮市	西宮市甲東ホール	今野尚美
鳥取県琴浦町	琴浦町カウベルホール	高橋多佳子
香川県高松市	サンポートホール高松	BLACK BOTTOM BRASS BAND
福岡県宮若市	宮若市宮田文化センター	ピアノトリオ・ミュゼ
大分県臼杵市	臼杵市民会館	今野尚美
◎23年度		
北海道斜里町	斜里町公民館ゆめホール知床	BLACK BOTTOM BRASS BAND
北海道滝川市	たきかわ文化センター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
青森県八戸市	八戸市南郷文化ホール	福島青衣子
宮城県蔵王町	蔵王町ふるさと文化会館(ございんホール)	大熊理津子
山形県白鷹町	白鷹町文化交流センター AYU:M(あゆむ)	中川賢一
栃木県栃木市	栃木市大平文化会館	奈良希愛
茨城県那珂市	那珂市総合センターらぼーる	吉川健一
千葉県浦安市	浦安市文化会館	小野明子
埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	大熊理津子
東京都港区	高輪区民センター	吉川健一、渡邊史
長野県大町市	大町市文化会館(サン・アルプス大町)	小谷口直子、福島青衣子
岐阜県飛騨市	飛騨市文化交流センター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
三重県多気町	多気町文化会館	ピアノトリオ・ミュゼ
和歌山県日高川町	日高川交流センター	大熊理津子
大阪府富田林市	すばるホール	Quintet「H」
大阪府河内長野市	河内長野市立文化会館ラブリーホール	江崎浩司
兵庫県西宮市	甲東ホール	片岡リサ
高知県高知市	高知市文化プラザかるぼーと	BLACK BOTTOM BRASS BAND
高知県土佐清水市	土佐清水市立市民文化会館くろしおホール	吉川健一
鳥取県琴浦町	琴浦町カウベルホール	高橋和歌
岡山県勝央町	勝央文化ホール	Quintet「H」
広島県熊野町	熊野町民会館	QuintetSPIRITUS
大分県臼杵市	臼杵市民会館	今野尚美
◎24年度		
青森県むつ市	下北文化会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
秋田県八郎潟町	八郎潟町農村環境改善センター	中鉢聡
宮城県多賀城市	多賀城文化会館	山崎祐介
栃木県宇都宮市	宇都宮市文化会館	Quatuor B
栃木県栃木市	栃木市大平文化会館	甲斐摩耶
千葉県浦安市	浦安市文化会館	田村緑
埼玉県行田市	行田市産業文化会館	野尻小矢佳
東京都狛江市	狛江エコルマホール	中川賢一、磯絵里子
長野県箕輪町	箕輪町文化センター	Quatuor B
岐阜県飛騨市	飛騨市文化交流センター	田村緑
大阪府高石市	たかいし市民文化会館	野尻小矢佳
兵庫県尼崎市	アルカニックホール	田村緑
岡山県勝央町	勝央文化ホール	村上敏明
広島県熊野町	熊野町民会館	Quintet「H」
山口県山陽小野田	山陽小野田市文化会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
和歌山県上富田町	上富田文化会館	Quatuor B

高知県香南市	のいちふれあいセンター	Dual KOTO×KOTO
高知県高知市	高知市文化プラザかるぼーと	神谷未穂
高知県土佐清水市	土佐清水市立市民文化会館くろしおホール	吉川健一
佐賀県佐賀市	佐賀市文化会館	田村緑
大分県玖珠町	くすまちメルサンホール	Quatuor B
鹿児島県奄美市	奄美振興会館	Quatuor B
◎25年度		
青森県むつ市	下北文化会館	大森潤子
岩手県大船渡市	大船渡市民文化会館 リアスホール	野尻小矢佳
岩手県久慈市	久慈市文化会館	宮本妥子
岩手県奥州市	前沢ふれあいセンター	Quatuor B
宮城県多賀城市	多賀城市民会館	白石光隆、大森智子
秋田県八郎潟町	八郎潟町農村環境改善センター	今野尚美
栃木県宇都宮市	宇都宮市文化会館	甲斐摩耶、海野幹雄
埼玉県行田市	行田市産業文化会館	Quartet SPIRITUS
東京都世田谷区	成城ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
東京都狛江市	狛江エコルマホール	中川賢一
東京都東久留米市	東久留米市立生涯学習センター まろにえホール	浜まゆみ、白石光隆
神奈川県小田原市	小田原市民会館	BLACK BOTTOM BRASS BAND
長野県箕輪町	箕輪町文化センター	Quatuor B
三重県鈴鹿市	鈴鹿市文化会館	Quatuor B
滋賀県高島市	高島市民会館 ガリバーホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
兵庫県尼崎市	アルカイックホール	Quatuor B
山口県山陽小野田市	山陽小野田市文化会館	Dual KOTO×KOTO
高知県香南市	のいちふれあいセンター	野尻小矢佳
佐賀県佐賀市	佐賀市文化会館	中川賢一、田村緑
熊本県菊陽町	菊陽町図書館ホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
大分県玖珠町	くすまちメルサンホール	Quatuor B
沖縄県浦添市	浦添市てだこホール	新崎誠実
◎26年度		
岩手県久慈市	久慈市文化会館	QuatuorB
岩手県大船渡市	大船渡市民文化会館リアスホール	岩間文正
岩手県奥州市	前沢ふれあいセンター	デュエット かなえ&ゆかり
東京都世田谷区	成城ホール	海野幹雄、甲斐摩耶
東京都東久留米市	東久留米市立生涯学習センター まろにえホール	BLACK BOTTOM BRASS BAND
石川県津幡町	津幡町文化会館シングラス	泊真美子
福井県福井市	福井市文化会館	デュエット かなえ&ゆかり
長野県上田市	上田市交流文化芸術センター サン トミュージゼ	神谷未穂
岐阜県大垣市	大垣市サイトピアセンター	BLACK BOTTOM BRASS BAND
三重県鈴鹿市	鈴鹿市文化会館	野尻小矢佳
滋賀県高島市	高島市民会館ガリバーホール	片岡リサ
和歌山県橋本市	橋本市産業文化会館	北島佳奈
熊本県菊陽町	菊陽町図書館ホール	野尻小矢佳
宮城県小林市	小林市文化会館	北島佳奈
沖縄県沖縄市	沖縄市民小劇場あしびなー	泊真美子
沖縄県浦添市	浦添市てだこホール	Quartet SPIRITUS

●公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業〔平成16年度～〕

- 16年度 [事業実施団体]財団法人熊本県立劇場 [公演事業実施団体] 芦北町、あさぎり町、小国町、砥用町、長洲町、本渡市 [アーティスト] 弦楽四重奏、ピアノトリオ、OGTS室内合奏団(木管ピアノ四重奏)
- 17年度 [事業実施団体]沖縄県 [公演事業実施団体]北谷町、金武町、名護市、宜野湾市、うるま市、石垣市、那覇市 [アーティスト] 高橋多佳子、磯絵里子、大森智子、中川賢一、Quartet SPIRITUS (サクソフォン四重奏)、DUHA (木管五重奏)、ティーダ(弦楽四重奏)
- 18年度 [事業実施団体]宮城県 [公演事業実施団体]本吉町、栗原市、大和町、石巻市、七ヶ浜町、蔵王町 [アーティスト]磯絵里子、浦壁信二、菅家奈津子、久保田葉子、ピアノトリオ・ミュゼ(ピアノトリオ)、Quintet「H」(木管五重奏)、Quarter Nats (弦楽四重奏)
- 19年度 ①[事業実施団体]青森県、財団法人青森市文化スポーツ振興公社 [公演事業実施団体]青森市、六ヶ所村、五所川原市、大間町、弘前市、十和田市、六戸町 [アーティスト]磯絵里子、神谷未穂、Sirius (ピアノトリオ)、ポロゴ(木管五重奏)、カルテット リベルテ(弦楽四重奏)
②[事業実施団体]財団法人富山県文化振興財団 [公演事業実施団体]高岡市、高岡市福岡町、射水市、砺波市、氷見市、南砺市 [アーティスト]中鉢聡、トリオ・エトワール(ピアノトリオ)、Brass Soul (木管五重奏)、カルテット・ゼーレ(弦楽四重奏)
- 20年度 ①[事業実施団体]岡山県 [公演事業実施団体]笠岡市、真庭市、勝央町、津山市、玉野市、新見市 [アーティスト]トリオ・アルティカ(ピアノトリオ)、アルモニューズ カルテット(弦楽四重奏)、木管五重奏団 MINTO (木管五重奏)
②[事業実施団体]財団法人高知県文化財団 [公演事業実施団体]いの町、須崎市、佐川町、香南市、土佐清水市、本山町 [アーティスト]トリオZEN (ピアノトリオ)、わくわく♪カルテット(弦楽四重奏)、Quatuor B(サクソフォン四重奏)
- 21年度 [事業実施団体]財団法人徳島県文化振興財団 [公演事業実施団体]小松島市、阿南市、吉野川市、海陽町 [アーティスト]Trio Blanc (ピアノトリオ)、木管五重奏団notre coeur ～ノートル クール(木管五重奏)
- 21・22年度 [事業実施団体]財団法人京都府中丹文化事業団 [公演事業実施団体]福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町 [アーティスト]Piano Trio ∴ Triangle (ピアノトリオ)、STRING QUARTET EARTH (弦楽四重奏)、Saxophone Quartet 桜(サクソックス四重奏)
- 22・23年度 ①[事業実施団体]財団法人滋賀県文化振興事業団 [公演事業実施団体]甲賀市(旧土山町)、東近江市、高島市、甲賀市(旧信楽町)、日野町、愛荘町 [アーティスト]プリマ・ヴェーラ(ピアノトリオ)、カルテットひかり(弦楽四重奏)、Brass Quintet "5 Bells" (金管五重奏)
②[事業実施団体]和歌山県 [公演事業実施団体]上富田町、紀の川市、新宮市、紀美野町、橋本市、有田川町 [アーティスト]ゼッパール・トリオ(ピアノトリオ)、カルテットNKB (弦楽四重奏)、Caprice 木管五重奏団(木管五重奏)
- 23・24年度 [事業実施団体]財団法人鹿児島県文化振興財団 [公演事業実施団体]中種子町、長島町、徳之島町、鹿屋市 [アーティスト]マルシェ弦楽四重奏団(弦楽四重奏)、アンサンブル・ミクスト(木管五重奏)
- 25・26年度 [事業実施団体](公財)しまね文化振興財団 [公演事業実施団体]奥出雲町、浜田市、益田市、大田市 [アーティスト]アーバン・サクソフォン・カルテット(サクソフォン四重奏)、ピアノトリオ(ピアノトリオ)

●公共ホール音楽活性化アウトリーチセミナー事業〔平成26年度～〕

- 26年度 [事業実施団体]堺市 [主会場]坂井私立小学校、堺市総合福祉会館 [アーティスト]加藤直明(トロンボーン)、大森智子(ソプラノ)、白石光隆(ピアノ)

現代ダンス

●公共ホール現代ダンス活性化事業〔平成17年度～〕		
〔開催地〕	〔主会場〕	〔アーティスト〕
◎17年度		
北海道斜里町	斜里町公民館ゆめホール知床	砂連尾理+寺田みさこ
宮城県名取市	名取市文化会館	勝部ちこ
宮城県大河原町	えぞこホール(仙南芸術文化センター)	伊藤千枝
神奈川県茅ヶ崎市	茅ヶ崎市市民文化会館	山田うん
石川県金沢市	金沢市民芸術村	山田うん
岐阜県多治見市	多治見市文化会館	北村成美
兵庫県豊岡市	豊岡市民プラザ	砂連尾理+寺田みさこ
◎18年度		
北海道函館市	函館市芸術ホール	砂連尾理+寺田みさこ
福島県会津若松市	會津風雅堂	勝部ちこ
神奈川県相模原市	グリーンホール相模大野	伊藤千枝
神奈川県平塚市	平塚市民センター	笠井瑞文×上村なおか
愛知県春日井市	文化フォーラム春日井	笠井瑞文×上村なおか
愛知県三好町	三好町勤労文化会館	岩下徹
岡山県倉敷市	倉敷市芸文館	勝部ちこ
宮崎県都城市	都城市総合文化ホール	伊藤千枝
◎19年度		
福島県南相馬市	南相馬市民文化会館 ゆめはっと	森下真樹
埼玉県富士見市	富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ	森下真樹
石川県珠洲市	ラポルトすず(珠洲市多目的ホール)	東野祥子
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	セレノグラフィカ
三重県伊賀市	あやま文化センター	岩淵多喜子
京都府城陽市	文化パルク城陽	山田うん
大阪府富田林市	すばるホール	セレノグラフィカ
大阪府河内長野市	河内長野市立文化会館 ラブリーホール	岩下徹
奈良県奈良市	なら100年会館	セレノグラフィカ
島根県浜田市	石中央文化ホール	山田うん
香川県高松市	高松市文化芸術ホール サンポート ホール高松	伊藤多恵
香川県丸亀市	丸亀市民会館	黒沢美香
◎20年度		
北海道深川市	深川市文化交流ホール み・らい	山田うん
岩手県北上市	北上市文化交流センター さくらホール	山田うん
茨城県小美玉市	小美玉市小川文化センター	森下真樹
福井県坂井市	みにく文化未来館	セレノグラフィカ
愛知県豊橋市	ライフポートとよはし	岩淵多喜子
愛媛県松山市	松山市民会館	森下真樹
福岡県直方市	ユメニティのおがた	東野祥子
佐賀県佐賀市	佐賀市文化交流プラザ・交流センター	岩下徹
鹿児島県鹿児島市	鹿児島市民文化ホール	伊藤多恵
鹿児島県徳之島町	徳之島町文化会館	北村成美
◎21年度		
北海道鷹栖町	たかすメロディーホール	セレノグラフィカ
岩手県一関市	一関文化センター	キリコラージュ

山形県白鷹町	白鷹町文化交流センター AYU:M(あゆーむ)	鈴木ユキオ
東京都八王子市	八王子市芸術文化会館	伊藤千枝
山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	セレノグラフィカ
長野県茅野市	茅野市民館	東野祥子
岐阜県可児市	可児市文化創造センター	新井英夫
兵庫県朝来市	朝来市和田山ジュビターホール	キリコラージュ
和歌山県和歌山市	和歌山市民会館	東野祥子
広島県廿日市市	はつかいち文化ホール さくらびあ	伊藤千枝
鹿児島県鹿屋市	リナシティかのや(鹿屋市市民交流センター)	新井英夫

◎22年度		
北海道名寄市	名寄市民文化センター	セレノグラフィカ
千葉県君津市	君津市民文化ホール	新井英夫
東京都調布市	調布市せんがわ劇場	楠原竜也
愛知県豊田市	豊田市民文化会館	鈴木ユキオ
兵庫県西宮市	西宮市甲東ホール	セレノグラフィカ
和歌山県上富田町	上富田文化会館	キリコラージュ
島根県出雲市	大社文化プレイスうらら館	東野祥子
山口県山口市	クリエイティブ・スペース赤れんが	新井英夫
大分県日田市	日田市民文化会館 バトリア日田	楠原竜也
沖縄県名護市	名護市民会館	キリコラージュ

◎23年度		
北海道北広島市	北広島市芸術文化ホール	坂本公成+森裕子
栃木県栃木市	栃木市栃木文化会館	ほうほう堂
東京都港区	台場区民センター	ほうほう堂
富山県高岡市	高岡市民会館	遠田誠
愛知県豊川市	豊川市御津文化会館 ハートフルホール	田村一行
三重県多気町	多気町民文化会館	新井英夫
京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	遠田誠
大阪府高石市	たかいし市民文化会館 アプラホール	山田せつ子
大阪府阪南市	阪南市立文化センター サラダホール	岩淵多喜子

◎24年度		
青森県八戸市	八戸市南郷文化ホール	新井英夫
埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	岩淵多喜子
埼玉県和光市	和光市民文化センター サンアゼリア	鈴木ユキオ
静岡県川根本町	川根本町文化会館	田村一行
大阪府箕面市	箕面市立メイプルホール	坂本公成+森裕子
兵庫県新温泉町	新温泉町文化体育館 夢ホール	新井英夫
高知県土佐清水市	土佐清水市立市民文化会館 くら しおホール	ほうほう堂
熊本県荒尾市	荒尾総合文化センター	鈴木ユキオ

◎25年度		
山形県酒田市	酒田市民会館 希望ホール	赤丸急上昇
千葉県野田市	櫻のホール	赤丸急上昇
千葉県成田市	成田国際文化会館	坂本公成+森裕子
神奈川県小田原市	小田原市民会館	田畑真希
富山県富山市	富山市民プラザ	田畑真希
滋賀県近江八幡市	近江八幡市文化会館	勝部ちこ+鹿島聖子
兵庫県多可町	多可町文化会館 ベルディーホール	田村一行
福岡県朝倉市	朝倉市総合市民センター ピーポ ート甘木	田村一行

◎26年度

北海道釧路市	釧路市民文化会館	勝部ちこ+鹿島聖子
北海道滝川市	たきかわホール	田畑真希
岩手県大船渡市	大船渡市民文化会館 リアスホール	坂本公成+森裕子
茨城県ひたちなか市	ひたちなか市文化会館	赤丸急上昇
東京都中野区	なかのZERO	田畑真希
高知県高知市	高知市文化プラザ かるぼーと	田村一行
福岡県うきは市	うきは市文化会館 白壁ホール	田村一行
沖縄県那覇市	パレット市民劇場	赤丸急上昇

●公共ホール現代ダンス活性化支援事業〔平成21年度～〕

[開催地] [主会場] [アーティスト]

◎21年度

北海道深川市	深川市文化交流ホール み・らい	山田うん
福井県坂井市	みくに文化未来館	セレノグラフィカ
佐賀県佐賀市	佐賀市文化交流プラザ・交流センター	岩下徹

◎22年度

北海道鷹栖町	たかすメロディーホール	セレノグラフィカ
岩手県一関市	一関文化センター	山田うん
山形県白鷹町	白鷹町文化交流センター AYU:M(あゆむ)	森下真樹
福井県坂井市	みくに文化未来館	セレノグラフィカ
長野県茅野市	茅野市民館	セレノグラフィカ
岐阜県多治見市	多治見市文化会館	山田珠実
兵庫県朝来市	朝来市和田山ジュピターホール	勝部ちこ
和歌山県和歌山市	和歌山市民会館	新井英夫
島根県浜田市	石央文化ホール	森下真樹
広島県廿日市市	はつかいち文化ホール さくらびあ	森下真樹

◎23年度

宮城県大河原町	えずこホール(仙南芸術文化センター)	山田うん
石川県金沢市	金沢市民芸術村	山田うん
山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	キリコラージュ
長野県茅野市	茅野市民館	森下真樹
岐阜県多治見市	多治見市文化会館	キリコラージュ
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	セレノグラフィカ
愛知県春日井市	文化フォーラム春日井	森下真樹
兵庫県朝来市	朝来市和田山ジュピターホール	東野祥子
広島県廿日市市	はつかいち文化ホール さくらびあ	北村成美
山口県山口市	クリエイティブ・スペース赤れんが	岩下徹

◎24年度

北海道北広島市	北広島市芸術文化ホール	セレノグラフィカ
宮城県大河原町	えずこホール(仙南芸術文化センター)	楠原竜也
千葉県君津市	君津市民文化ホール	新井英夫
富山県高岡市	高岡市民会館	新井英夫
石川県金沢市	金沢市民芸術村	山田うん
山梨県笛吹市	笛吹市スコレーセンター	山田うん
岐阜県山県市	山県市文化の里花咲きホール	セレノグラフィカ
愛知県春日井市	文化フォーラム春日井	セレノグラフィカ
京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	セレノグラフィカ
大阪府高石市	たかいし市民文化会館 アブラホール	キリコラージュ
山口県山口市	クリエイティブ・スペース赤れんが	北村成美

◎25年度

青森県八戸市	八戸市南郷文化ホール	田村一行
埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	坂本公成+森裕子
千葉県君津市	君津市民文化ホール	新井英夫
静岡県川根本町	川根本町文化会館	田村一行
愛知県豊川市	豊川市御津文化会館 ハートフルホール	田村一行
京都府舞鶴市	舞鶴市総合文化会館	セレノグラフィカ
大阪府箕面市	箕面市立メイプルホール	北村成美

◎26年度

青森県八戸市	八戸市南郷文化ホール	森下真樹
埼玉県東松山市	東松山市民文化センター	セレノグラフィカ
富山県富山市	富山市民プラザ	田畑真希
滋賀県近江八幡市	近江八幡市文化会館	セレノグラフィカ

演劇

●公共ホール演劇ネットワーク事業〔平成20年度～〕

◎19年度(演劇アウトリーチモデル事業)

〔作品名〕『ソウル市民1919』

〔アーティスト〕平田オリザ 〔日程〕2007年9月

〔参加館〕利尻町交流促進施設どんと、留萌市文化センター

◎20年度

〔作品名〕『なつざんしょ…夏残暑一』

〔アーティスト〕内藤裕敬 〔日程〕2008年11月～2009年2月

〔参加館〕千葉県南総文化ホール、北九州芸術劇場、大野城まどかびあ、長崎ブリックホール

◎21年度

①〔作品名〕『人形劇俳優“たいらじょう”の世界』

〔アーティスト〕平常 〔日程〕2009年6月～2010年1月

〔参加館〕まつもと市民芸術館、深川市文化交流ホール み・らい、いわき芸術文化交流館アリオス、大野城まどかびあ、高知県立美術館ホール、北九州芸術劇場、君津市民文化ホール、神奈川県民ホール、アルカスSASEBO、ふくふくホール

②〔作品名〕『どくりつ こどもの国』

〔アーティスト〕岩崎正裕 〔日程〕2009年10月～11月

〔参加館〕伊丹市立演劇ホール アイホール、三重県文化会館、ラポルトすず(珠洲市多目的ホール)、長崎ブリックホール

◎22年度

〔作品名〕『さらってってよピーターパン』

〔アーティスト〕兵庫県立ピッコロ劇団 〔日程〕2010年7月～10月

〔参加館〕兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター、豊田市民文化会館、千葉県南総文化ホール

◎23年度

〔作品名〕『劇団衛星のcockピット』

〔アーティスト〕蓮行 〔日程〕2011年9月～11月

〔参加館〕北九州芸術劇場、さいたま市西部文化センター、武蔵村山市民会館、ライフポートとよはし、なら100年会館

◎24年度

〔作品名〕『あなた自身のためのレッスン』

〔アーティスト〕多田淳之介 〔日程〕2012年9月～10月

〔参加館〕富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ、長崎ブリックホール、北九州芸術劇場、静岡市民文化会館

◎25年度

〔作品名〕『ながぐつをはいたねこ』

〔アーティスト〕中屋敷法仁 〔日程〕2013年9月～11月

〔参加館〕ひたちなか市文化会館、妙高市文化ホール、金沢市民芸術村、大垣市スティアセンター、三重県文化会館、長久手市文化の家、アルカスSASEBO

◎26年度(*当年度からリニューアル)

〔作品名〕『こどもとおとなのためのお芝居『暗いところからやってくる』』

〔作〕前川知大 〔演出〕小川絵梨子 〔日程〕2014年7月～8月

〔参加館〕KAAT神奈川芸術劇場、水戸芸術館ACM劇場、世田谷パブリックシアター/シアタートラム、アルカスSASEBO、大野城まどかびあ、穂の国とよはし芸術劇場PLAT、春日井市民会館、北九州芸術劇場

終了した事業

●公共ホール演劇製作ネットワーク事業〔平成11～19年度〕

◎11年度(モデル事業)

〔作品名〕『ネネムーおかしなおかしなおバケのはなし』

〔原作〕宮澤賢治 〔脚色〕藤原正教 〔台本・演出〕佐藤信

〔日程〕1999年7月～8月

〔会場〕盛岡劇場、世田谷パブリックシアター、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール

◎12年度

〔作品名〕『サド侯爵夫人』

〔作〕三島由紀夫 〔総合プロデューサー〕鈴木忠志 〔演出〕原田一樹

〔日程〕2001年1月～2月

〔会場〕つくばカピオホール、富山県利賀芸術公園・新利賀山房、静岡芸術劇場、栗東芸術文化会館さくら、兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター、中町文化会館ベルディーホール、熊本県立劇場

◎13年度

〔作品名〕『若草物語』

〔原作〕ルイザ・メイ・オルコット 〔翻案〕菅原政雄 〔台本・演出〕松本修

〔日程〕2002年1月～2月

〔会場〕札幌市教育文化会館、鹿追町民ホール、洞爺湖文化センター、つくばカピオホール、世田谷パブリックシアター、小出郷文化会館、栗東芸術文化会館さくら、早島町民総合会館「ゆるびの舎」、北九州市立女性センタームーブ、アルカスSASEBO、宮崎県立芸術劇場、沖縄市民小劇場あしびなー

◎14年度

〔作品名〕『ファンタスティックス』

〔脚本・作詞〕トム・ジョーンズ 〔作曲〕ハーヴェイ・シュミット 〔演出〕宮本亜門

〔日程〕2003年1月～3月

〔会場〕世田谷パブリックシアター、長崎ブリックホール、ルネッサなご、戸畑市民会館、中町文化会館ベルディーホール、栗東芸術文化会館さくら、川口総合文化センター・リリア、つくば市民ホールくさざき、イズミティ21、岩手県民会館、函館市芸術ホール、北広島市芸術文化ホール、小出郷文化会館、沖縄市民会館

◎15年度

〔作品名〕『だれか、来る』

〔原作〕ヨン・フォッセ 〔演出・美術〕太田省吾 〔日程〕2004年1月～2月

〔会場〕世田谷パブリックシアター、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、宮崎県立芸術劇場、そびあしんぐう、北九州芸術劇場、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ、つくばカピオホール、沖縄市民小劇場あしびなー

◎16年度

①〔作品名〕『ハロー、グッバイ』

〔脚本・演出〕竹内銃一郎 〔原作〕野田高梧、小津安二郎

〔日程〕2004年8月～9月

〔会場〕彩の国さいたま芸術劇場、君津市民文化ホール、富山県民会館、長久手町文化の家、幸田町民会館、三重県文化会館、栗東芸術文化会館さくら、北九州芸術劇場

②〔作品名〕『天の煙』

〔作〕松田正隆 〔演出〕平田オリザ 〔日程〕2004年10月～12月

〔会場〕つくばカピオホール、富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ、可児市文化創造センター、兵庫県立尼崎青少年創造劇場ピッコロシアター、山口情報芸術センター、長崎市チトセピアホール、熊本県立劇場、沖縄市民小劇場あしびなー

◎17年度

〔作品名〕『滞在型ワークショップ『演出家・森田さんのイッセー尾形ができるまで』、公演『イッセー尾形とフツの人々』

〔演出〕森田雄三 〔日程〕2005年6月～10月

〔会場〕つくばカピオホール、神奈川県立青少年センター、宮崎県立芸術劇場、そびあしんぐう、北九州芸術劇場、三重県文化会館、栗東芸術文化会館さくら、りゅうとびあ新潟市民芸術文化会館

◎18年度

〔作品名〕『親指こぞう〜ブケッティ〜』

〔演出〕キアラ・グイディ 〔原作〕シャルル・ペロー 〔翻訳〕とよしま洋

〔日程〕2006年12月～2007年2月

〔会場〕神奈川県民ホール、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、世田谷パブリックシアター/シアタートラム、つくばカピオホール、アルカスSASEBO、大野城まどかびあ、福岡市立西市民センター、宮崎県立芸術劇場、高知県立美術館ホール、山口情報芸術センター

◎19年度

〔作品名〕『いとこ同志』

〔作・演出〕坂手洋二 〔日程〕2007年6月～8月

〔会場〕まつもと市民芸術館、えぞホール(仙南芸術文化センター)、君津市民文化ホール、杜のホールはしもと、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール、宮崎県立芸術劇場、北九州芸術劇場、沖縄市民小劇場あしびなー、東京芸術劇場

終了した事業

●リージョナルシアター・シリーズ[平成11～19年度]

[年度]	[会場]	[参加団体/アドバイザー]
11年度	東京芸術劇場	MONO(京都)、桃園会(伊丹)、飛ぶ劇場(北九州)、劇団ジャブジャブサーキット(岐阜)、弘前劇場(青森)、劇団カタコンベ(新潟)、199Q太陽族(大阪)
12年度	北沢タウンホール、世田谷パブリックシアター、シアタートラム	POP THEATRE 円(山口)、劇団赤い風(盛岡)、A.G.S(札幌)、劇団異国幻燈舎(滋賀)、PM/飛ぶ教室(大阪)、劇団八時半(京都)
13年度	東京芸術劇場、シアタートラム	スクエア(大阪)、芝居屋坂道ストア(神戸)、伊沢勉の会(名古屋)、演劇企画魚の目(沖縄)、TPS(札幌)
14年度	東京芸術劇場	劇団B級遊撃隊(名古屋)、劇団Ugly duckling(大阪)、POP THEATRE 円(山口)、飛ぶ劇場(北九州)、劇団こふく劇場(宮崎)
15年度	東京芸術劇場	きらく企画(仙台)、ヘビン結構設計(横浜)、クロムモリブデン(大阪)、5周年特別企画「国道、書類、風呂桶。」短編2作同時上演 [フリンジ参加] Ort-d.d+こふく劇場(東京+宮崎)
16年度	東京芸術劇場	[劇団公演部門] 劇団千年王国(札幌)、劇団人工子宮(名古屋)、トリコ・Aプロデュース(京都)、劇団無限蒸気社(松山) [公共ホール・劇場等企画公演部門] 大阪市立芸術創造館製作「背くらべ」(大阪)
17年度	東京芸術劇場	[劇団公演部門] 劇団SKグループ(札幌)、現代時報(盛岡)、劇団Ugly duckling(大阪) [公共ホール・劇場等企画公演部門] 北九州芸術劇場×飛ぶ劇場「IRON」(北九州)
18年度	東京芸術劇場、にしすがも創造舎	[リーディング公演部門] (参加劇団/アドバイザー) 芝居工場わらく(成田)/佃典彦、魚灯(京都)/岩松了、南船北馬一団(大阪)/北村想、F's Company(長崎)/平田オリザ [創作・育成プログラム部門] 参加者: 北川徹(札幌)/アドバイザー: 宮城聡
19年度	東京芸術劇場	[リーディング公演部門] (参加劇団/アドバイザー) WATER33-39(札幌)/深津篤史、劇団0相(熊本)/宮沢章夫 [創作・育成プログラム部門] 参加者: 山岡徳貴子(京都)/アドバイザー: 高瀬久男

邦楽

●邦楽地域活性化事業[平成21年度～]

◎21年度(モデル事業)

[主催団体] 財団法人島根県文化振興財団
[演奏家] 益田市: 山野安珠美・市川慎・小池摩美(箏曲)/雲南市: 奥山益勢・佐久間景子・樋口千清代(箏曲)/津和野町: 片岡リサ・岡村慎太郎(箏曲)、清野樹盟(尺八)

◎22年度

[主催団体] 熊本県、財団法人熊本県立劇場
[演奏家] 荒尾市: 佐藤亜美・木村麻耶・町田光(箏曲)/人吉市: 菊央雄司・伊藤志野(箏曲)、小林静純(尺八)/宇城市: 澤村祐司・利根英法(箏曲)、見澤太基(尺八)

◎23年度

[主催団体] 埼玉県、公益財団法人埼玉県芸術文化振興財団
[演奏家] 入間市: 吉川由里子・佐々井麻矢・平野寿里(箏曲)/富士見市: 藤井佐和(箏曲)、武田旺山(尺八)、中小路奈都子(箏曲)/川口市: 鈴木真為・千葉暢・樋口千清代(箏曲)

◎24年度

[主催団体] アートブレックスちば事業体
[演奏家] 千葉市文化センター: 中香里・五十川真子・河野紫(三味線)/千葉市若葉文化ホール: 伊藤麻衣子(箏曲)、木場大輔(胡弓)、麻植理恵子(箏曲)/千葉市美浜文化ホール: 朝香麻美子・佐々木千香能・小間夕起子(箏曲)

◎25年度

[主催団体] 徳島県、公益財団法人徳島県文化振興財団
[演奏家] 海陽町: 横山佳世子・鎌田美穂子・平田紀子(箏曲)/小松島市: 岡村慎太郎・山形光(箏曲)、黒田静鏡(尺八)/吉野川市: 日吉章吾・光原大樹(箏曲)、田嶋謙一(尺八)

◎26年度

[主催団体] 公益財団法人富山県文化振興財団、公益財団法人高岡市民文化振興事業団、公益財団法人射水市文化振興財団、公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団
[演奏家] 砺波市: 黒川真理・平田紀子・石田真奈美(箏曲)/高岡市: 花岡操聖・荒井美帆・内藤美和(箏曲)/射水市: 吉澤延隆・マクイーン時田深山・中島裕康(箏曲)

美術

●市町村立美術館活性化事業〔平成11年度～〕

〔開催地〕 〔会期〕 〔会場〕

◎11年度(モデル事業)

兵庫県立近代美術館・静岡県立美術館所蔵作品共同巡回展「近代日本の風景画」

兵庫県尼崎市	1999年9月4日～19日	尼崎市総合文化センター
兵庫県西淡町	1999年9月23日～10月11日	西淡町立滝川記念美術館玉青館
兵庫県氷上町	1999年10月16日～11月3日	氷上町立植野記念美術館
静岡県天竜市	1999年11月9日～28日	天竜市立秋野不矩美術館
静岡県沼津市	1999年12月2日～19日	沼津市民文化センター

◎12年度

岡山県立美術館・鹿児島市立美術館所蔵作品共同巡回展「明治・大正/日本洋画の青春」

岡山県成羽町	2000年10月5日～11月5日	成羽町美術館
兵庫県尼崎市	2000年11月11日～12月3日	尼崎市総合文化センター
山形県天童市	2000年12月8日～23日	天童市美術館

◎13年度

「中山巍と1920年代のパリ 佐伯祐三・マチス・ゲラマンクなど」

長野県安曇野市	2001年9月1日～24日	豊科近代美術館
静岡県掛川市	2001年9月29日～10月21日	掛川市二の丸美術館
兵庫県氷上町	2001年10月27日～11月18日	氷上町立植野記念美術館
兵庫県尼崎市	2001年11月23日～12月16日	尼崎市総合文化センター

◎14年度

「モダンアートの旗手たち 村井正誠・矢橋六郎・山口薫」

岐阜県大垣市	2002年8月31日～9月23日	大垣市スイトピアセンター
長野県安曇野市	2002年9月28日～10月27日	豊科近代美術館
群馬県高崎市	2002年11月2日～24日	高崎市美術館
和歌山県田辺市	2002年11月30日～12月23日	田辺市立美術館

◎15年度

「版画家としてのシャガール 夢想と追憶のポエジー」

北海道釧路市	2003年9月14日～10月5日	釧路市立美術館
岩手県花巻市	2003年10月11日～11月3日	萬鉄五郎記念美術館
富山県砺波市	2003年11月8日～30日	砺波市美術館
岐阜県恵那市	2003年12月4日～25日	中山道広重美術館

◎16年度

「エコール・ド・パリ 夢と哀愁」

新潟県新潟市	2004年9月3日～26日	新潟市美術館
長野県辰野町	2004年10月2日～24日	辰野美術館
兵庫県尼崎市	2004年10月30日～11月23日	尼崎市総合文化センター
佐賀県唐津市	2004年11月27日～12月19日	唐津市近代図書館

◎17年度

「現代美術のABC アートはあなたのそばにある」

福井県福井市	2005年7月23日～8月28日	福井市美術館
新潟県新潟市	2005年9月3日～10月9日	新潟市新津美術館
愛媛県八幡浜市	2005年10月17日～11月20日	八幡浜市民ギャラリー
山口県周南市	2005年11月26日～2006年1月15日	周南市美術博物館

◎18年度

「参加してエンジョイ展 不思議なアートに触れてみよう 岐阜県美術館安藤基金コレクション」

東京都八王子市	2006年6月10日～7月17日	八王子市夢美術館
岡山県倉敷市	2006年7月28日～9月10日	倉敷市立美術館
福井県福井市	2006年9月30日～10月29日	福井市美術館
愛知県安城市	2006年11月18日～12月24日	安城市民ギャラリー

◎19年度

「北大路魯山人 世田谷美術館所蔵 塩田コレクション」

愛知県瀬戸市	2007年6月2日～7月8日	瀬戸市美術館
岡山県笠岡市	2007年7月21日～8月26日	笠岡市立竹喬美術館
福岡県田川市	2007年9月8日～10月21日	田川市美術館
埼玉県川越市	2007年11月3日～12月16日	川越市立美術館/川越市立博物館

◎20年度

「世田谷美術館所蔵作品による 向井潤吉展 風土をみつめる旅」

愛知県田原市	2008年5月31日～7月6日	田原市博物館
長野県茅野市	2008年7月12日～8月24日	茅野市美術館
岡山県井原市	2008年8月30日～10月13日	井原市立田中美術館
兵庫県伊丹市	2008年10月18日～11月24日	伊丹市立美術館

◎21年度

「北海道立近代美術館ガラスコレクション ガラス工芸の精華 ガレから現代まで」

愛知県瀬戸市	2009年6月13日～7月20日	瀬戸市美術館
茨城県日立市	2009年8月1日～9月6日	日立市郷土博物館
石川県七尾市	2009年9月19日～10月25日	石川県能登島ガラス美術館
広島県廿日市市	2009年11月7日～12月13日	はつかいち美術ギャラリー

◎22年度

「宮城県美術館 佐藤忠良記念館所蔵 佐藤忠良展」

埼玉県川越市	2010年4月17日～6月6日	川越市立美術館
長崎県佐世保市	2010年6月16日～8月1日	佐世保市博物館島瀬美術センター
岡山県倉敷市	2010年8月11日～9月26日	倉敷市立美術館
群馬県渋川市	2010年10月6日～11月14日	渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館

◎23年度

「世田谷美術館コレクションによる アンリ・ルソーと素朴な画家たち いきること えがくこと」

北海道小樽市	2011年5月21日～7月10日	市立小樽美術館
千葉県市川市	2011年7月23日～9月19日	市川市芳澤ガーデンギャラリー
岡山県笠岡市	2011年11月5日～2012年1月9日	笠岡市立竹喬美術館
愛知県春日井市	2012年1月21日～3月18日	文化フォーラム春日井

◎24年度

「高知県立美術館所蔵 写真家 石元泰博 時代を超える静かなまなざし」

愛媛県今治市	2012年8月4日～30日	今治市河野美術館
愛知県春日井市	2012年9月8日～10月11日	文化フォーラム春日井
長崎県佐世保市	2012年10月20日～11月25日	佐世保市博物館島瀬美術センター

◎25年度

「岐阜県美術館蔵 コレなんだ? 佐藤慶次郎のつくった不思議なモノたち」

長崎県佐世保市	2013年7月13日～8月17日	佐世保市博物館島瀬美術センター
愛知県安城市	2013年8月27日～9月29日	安城市民ギャラリー
東京都小金井市	2013年10月12日～11月17日	小金井市立はげの森美術館

◎26年度

「丸亀市猪熊弦一郎現代美術館所蔵作品による 猪熊弦一郎展 どんなことをしても僕なんだ」		
広島県熊野町	2014年5月30日～7月6日	筆の里工房
東京都小金井市	2014年7月19日～9月7日	小金井市立はげの森美術館
岐阜県大垣市	2014年9月13日～10月26日	大垣市サイトピアセンター

●公立美術館巡回展支援事業〔平成16年度～〕

〔開催地〕 〔会期〕 〔会場〕

◎16年度

「北斎漫画と北斎の富士展」
(市町村立美術館等共同巡回展支援事業(モデル事業))

岩手県花巻市	2004年6月5日～7月11日	萬鉄五郎記念美術館
長野県安曇野市	2004年7月17日～9月5日	豊科近代美術館
兵庫県氷上町	2004年9月18日～10月24日	氷上町立植野記念美術館
富山県砺波市	2004年11月6日～12月5日	砺波市美術館

◎17年度

①「北に澄む 村上善男」
(市町村立美術館等共同巡回展支援事業)

神奈川県川崎市	2005年4月23日～7月3日	川崎市岡本太郎美術館
岩手県花巻市	2005年7月9日～9月19日	萬鉄五郎記念美術館
山形県天童市	2005年9月23日～11月6日	天童市美術館
兵庫県尼崎市	2005年11月12日～12月4日	尼崎市総合文化センター

②「松島・天橋立・巖島 日本三景展」
(都道府県立美術館等共同巡回展支援事業)

広島県広島市	2005年8月2日～9月4日	広島県立美術館
京都府京都市	2005年9月13日～10月16日	京都文化博物館
宮城県多賀城市	2005年10月25日～11月27日	東北歴史博物館

③「美術の20世紀 豊かなる表現」
(都道府県立美術館等共同巡回展支援事業)

静岡県静岡市	2005年4月19日～5月29日	静岡県立美術館
滋賀県大津市	2005年6月4日～7月10日	滋賀県立近代美術館

◎18年度

①「美術にみる金の素材と表現 黄金の美術館展」
(市町村立美術館共同巡回展支援事業)

北海道釧路市	2006年6月24日～7月30日	釧路市立美術館
佐賀県唐津市	2006年8月8日～9月10日	唐津市近代図書館
静岡県掛川市	2006年9月16日～10月22日	掛川市ニの丸美術館
兵庫県尼崎市	2006年10月28日～12月3日	尼崎市総合文化センター

②「森鷗外と美術」(都道府県立美術館共同巡回展支援事業)

島根県益田市	2006年7月14日～8月28日	島根県立石見美術館
和歌山県和歌山市	2006年9月10日～10月22日	和歌山県立近代美術館
静岡県静岡市	2006年11月7日～12月17日	静岡県立美術館

◎19年度

①「没後30年 熊谷守一展 天与の色彩 究極のかたち」

岩手県花巻市	2007年9月15日～10月21日	萬鉄五郎記念美術館
岡山県高梁市	2007年10月27日～12月2日	成羽町美術館
山形県天童市	2007年12月14日～2008年1月27日	天童市美術館
埼玉県さいたま市	2008年2月2日～3月23日	埼玉県立近代美術館

②「日本彫刻の近代」(都道府県立美術館共同巡回展支援事業)

宮城県仙台市	2007年8月7日～9月17日	宮城県美術館
三重県津市	2007年9月26日～11月4日	三重県立美術館

◎20年度

①「音に恋した美術展」

長野県安曇野市	2008年4月19日～6月1日	安曇野市豊科近代美術館
佐賀県唐津市	2008年6月21日～7月27日	唐津市近代図書館
北海道釧路市	2008年8月30日～10月5日	釧路市立美術館

②「十二の旅 感性と経験のイギリス美術」

栃木県宇都宮市	2008年4月27日～6月22日	栃木県立美術館
静岡県静岡市	2008年9月12日～10月26日	静岡県立美術館
富山県富山市	2008年11月2日～12月23日	富山県立近代美術館
東京都世田谷区	2009年1月10日～3月1日	世田谷美術館

◎21年度

①「白髪一雄展 格闘から生まれた絵画」

長野県安曇野市	2009年4月25日～6月14日	安曇野市豊科近代美術館
兵庫県尼崎市	2009年7月18日～9月6日	尼崎市総合文化センター
神奈川県横須賀市	2009年10月31日～12月27日	横須賀美術館
愛知県碧南市	2010年1月23日～3月14日	碧南市藤井達吉現代美術館

②「生誕120年記念 小森忍 日本陶芸の幕開け」

北海道江別市	2009年6月6日～7月20日	江別市セラミックアートセンター
愛知県瀬戸市	2009年8月1日～9月13日	瀬戸市美術館
福岡県田川市	2009年11月7日～12月27日	田川市美術館

◎22年度

①「海を想う 海に魅せられた画家たち」

北海道釧路市	2010年6月5日～7月11日	釧路市立美術館
和歌山県田辺市	2010年7月19日～9月12日	田辺市立美術館
愛媛県八幡浜市	2010年9月18日～10月24日	八幡浜市民ギャラリー
佐賀県唐津市	2010年10月30日～12月5日	唐津市近代図書館

②「鉄を叩く 多和圭三展」

栃木県足利市	2010年6月26日～8月22日	足利市立美術館
愛媛県久万高原町	2010年9月4日～10月31日	町立久万美術館
東京都目黒区	2010年11月13日～2011年1月9日	目黒区美術館

◎23年度

①「抱きしめたい! 近代日本の木彫」

富山県高岡市	2011年8月10日～9月19日	高岡市美術館
愛知県碧南市	2011年10月4日～11月13日	碧南市藤井達吉現代美術館
広島県広島市	2011年11月29日～2012年1月15日	広島県立美術館

②「マックス・エルンスト フィギュア×スケープ」

神奈川県横浜市	2012年4月7日～6月24日	横浜美術館
愛知県名古屋市	2012年7月13日～9月9日	愛知県美術館
栃木県宇都宮市	2012年10月28日～12月16日	宇都宮美術館

◎24年度

「明治・大正時代の日本陶磁 産業と工芸美術」

広島県廿日市市	2012年5月19日～7月1日	はつかいち美術ギャラリー
滋賀県甲賀市	2012年7月14日～8月26日	滋賀県立陶芸の森 陶芸館
愛知県瀬戸市	2012年9月1日～10月14日	瀬戸市美術館
茨城県笠間市	2012年10月20日～12月9日	茨城県陶芸美術館

◎25年度

「詩人と美術 瀧口修造のシュルレアリスム展」

北海道小樽市	2013年5月18日～6月30日	市立小樽美術館/市立小樽文学館
岩手県花巻市	2013年7月13日～9月23日	萬鉄五郎記念美術館
山形県天童市	2013年10月3日～27日	天童市美術館
栃木県足利市	2013年11月3日～12月23日	足利市立美術館

◎26年度

①「上田桑鳩・手島右卿・金子鷗亭・桑原翠邦 四神の書」

北海道釧路市	2014年5月10日～6月22日	釧路市立美術館
愛知県春日井市	2014年8月30日～10月13日	文化フォーラム春日井
佐賀県唐津市	2014年10月18日～11月23日	唐津市近代図書館
高知県安芸市	2014年12月20日～2015年2月8日	安芸市立書道美術館

②「メタルズ!—変容する金属の美—」

富山県高岡市	2014年6月28日～8月31日	高岡市美術館
愛知県碧南市	2014年9月11日～10月19日	碧南市藤井達吉現代美術館
福岡県北九州市	2014年11月1日～12月23日	北九州市立自然史・歴史博物館 ／北九州イノベーションギャラリー —(産業技術保存伝承センター)
新潟県新潟市	2015年1月24日～3月8日	新潟市新津美術館

終了した事業

●地域の公立美術館等ネットワーク事業[平成16～22年度]

[開催地] [会期] [会場]

◎16年度

阪神・姫路美術館等合同展覧会 MUSEUMへ行きたい!「風景画—かけがえのない郷土」

兵庫県朝来町	2004年9月25日～10月26日	あさご芸術の森美術館
兵庫県龍野市	2004年10月30日～12月5日	龍野市立歴史文化資料館

◎17年度

「夏休み わかやま美術探偵団」

和歌山県和歌山市	2005年7月16日～9月4日	和歌山県立近代美術館
和歌山県田辺市	2005年7月2日～9月4日	田辺市立美術館
和歌山県田辺市	2005年7月16日～9月4日	熊野古道なかへち美術館

◎19年度

「北部福岡アート・トライアングル」

福岡県春日市	2007年9月29日～10月28日	春日市ふれあい文化センター
福岡県福岡市	2007年10月5日～28日	福岡県立美術館
福岡県朝倉市	2007年11月3日～12月2日	甘木歴史資料館

◎20年度

「高原洋一 風景のメタモルフォーシス」

岡山県岡山市	2008年9月13日～10月13日	岡山市デジタルミュージアム
岡山県倉敷市	2008年9月19日～11月3日	倉敷市立美術館
岡山県奈義町	2008年9月6日～10月13日	奈義町現代美術館

◎21年度

「アートの今・岡山 2009」

岡山県岡山市	2009年11月3日～15日	岡山市天神山文化プラザ
岡山県高梁市	2009年12月5日～20日	高梁市歴史美術館
岡山県奈義町	2010年1月9日～2月11日	奈義町現代美術館

「長澤英俊 オーロラの向かう所」

埼玉県さいたま市	2009年7月18日～9月23日	埼玉県立近代美術館
埼玉県川越市	2009年7月18日～9月23日	川越市立美術館

◎22年度

「版による表現 信州ゆかりの作家たち」

長野県長野市	2010年7月17日～8月15日	長野県県民文化会館
長野県上田市	2010年10月2日～11月23日	上田市山本鼎記念館
長野県伊那市	2010年12月18日～2011年1月16日	長野県伊那文化会館

助成

●地域の文化・芸術活動助成事業[平成6年度～]

[プログラム名] [助成件数] [助成金額]
(単位:百万円)

◎6年度

パイオニアプログラム	6	41
[年度計]	6	41

◎7年度

パイオニアプログラム	15	104
ネットワークプログラム	15	164
パーティシペーションプログラム	24	97
[年度計]	54	365

◎8年度

創造プログラム	18	124
連携プログラム	38	70
単独プログラム	58	197
[年度計]	114	391

◎9年度

創造プログラム	15	98
連携プログラム	41	98
単独プログラム	67	215
研修プログラム	5	6
[年度計]	128	417

◎10年度

創造プログラム	12	79
連携プログラム	53	134
単独プログラム	65	224
研修プログラム	2	4
[年度計]	132	441

◎11年度

創造プログラム	14	86
連携プログラム	41	124
単独プログラム	62	263
研修プログラム	3	4
[年度計]	120	477

◎12年度

創造プログラム	14	87
連携プログラム	46	113
単独プログラム	102	364
研修プログラム	4	6
[年度計]	166	570

◎13年度

創造プログラム	17	108
連携プログラム	43	106
単独プログラム	114	411
研修プログラム	4	3
[年度計]	178	628

◎14年度		
創造プログラム	23	83
連携プログラム	45	104
単独プログラム	109	375
研修プログラム	4	4
[年度計]	181	566
◎15年度		
創造プログラム	25	119
連携プログラム	40	103
単独プログラム	128	439
研修プログラム	6	3
[年度計]	199	664
◎16年度		
創造プログラム	26	128
連携プログラム	56	185
単独プログラム	187	652
研修プログラム	6	3
[年度計]	275	968
◎17年度		
創造プログラム	30	160
連携プログラム	42	121
単独プログラム	219	756
研修プログラム	8	5
[年度計]	299	1,042
◎18年度		
創造プログラム	25	121
連携プログラム	72	208
単独プログラム	216	659
研修プログラム	8	5
[年度計]	321	993
◎19年度		
創造プログラム	14	69
連携プログラム	80	235
単独プログラム	191	624
研修プログラム	8	6
[年度計]	293	934
◎20年度		
創造プログラム	24	101
連携プログラム	77	241
単独プログラム	226	694
研修プログラム	7	5
活性化プログラム	3	4
[年度計]	337	1,045
◎21年度		
創造プログラム	34	137
連携プログラム	80	243
単独プログラム	221	696
研修プログラム	7	7
活性化プログラム	1	2
[年度計]	343	1,085

◎22年度		
創造プログラム	45	225
連携プログラム	83	256
単独プログラム	191	590
研修プログラム	12	10
活性化プログラム	1	2
[年度計]	332	1,083
◎23年度		
創造プログラム	49	159
連携プログラム	31	86
研修プログラム	14	12
活性化プログラム	1	1
[年度計]	95	258
◎24年度		
創造プログラム	55	188
連携プログラム	53	167
研修プログラム	9	10
活性化プログラム	1	1
[年度計]	118	366
◎25年度		
創造プログラム	57	231
連携プログラム	44	92
研修プログラム	20	19
活性化プログラム	1	1
[年度計]	122	343
◎26年度		
創造プログラム(一般分)	67	266
創造プログラム(企画制作力向上特別分)	21	125
連携プログラム	57	198
研修プログラム	21	21
[年度計]	166	610

*平成26年度は予算額

全国各地の伝統芸能の映像記録を助成する「映像記録保存事業」を皮切りに、平成11年度から、ふるさとの誇りである伝統芸能等の保存・継承・発展を支援する事業をスタートしました。現在、実施しているプログラムは、以下のとおりです。

◎全国フェスティバル事業「地域伝統芸能まつり」 →P39

◎地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業「地域文化資産ポータル」

◎助成 →P41

映像記録保存事業／地域伝統芸能継承者(青少年等)育成事業

●地域伝統芸能まつり

「歴史的遺産・伝統文化(伝説・神話等)の活用による地域おこし懇話会」(座長・梅原猛)の提言を受け、平成12年度から年1回、NHKホールにおいて「地域伝統芸能まつり」(地域伝統芸能まつり実行委員会との共催)を開催しています。

特徴は、①日本各地で脈々と受け継がれてきた祭り、伝統芸能、民俗芸能、古典芸能が一堂に会して2日間にわたって実演を披露する画期的な全国イベントであること、②第1回「怨霊」、第2回「恋」など毎回テーマを定めていること、③テレビ放映により地域伝統芸能の継承者の取り組みを全国に情報発信していることです。

門外不出の芸能から大掛かりな祭り、能狂言といった古典芸能を専門家の解説を交えて横断的に見る事ができる全国初の取り組みであり、観覧希望者が殺到する人気事業として定着しています。平成25年度までに紹介した全国の祭り・伝統芸能は152演目に上ります。こうしたふるさとの誇りである伝統芸能等を地域外の人々にも紹介し、理解を深め、継承者の意欲を高め、そのことを通じた地域活性化の機運を全国的に盛り上げることに貢献しています。

●映像記録保存事業／地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業

平成11年度から地域の失われつつある伝統芸能等(伝統芸能、伝統技能、祭り、伝説、神話、民話、習俗等)を映像に記録保存する事業に助成する「映像記録保存事業」をスタートしました。その資料映像は平成25年度までで計364件を数え、財団内の映像ライブラリーにおいて公開しています。

平成18年からは、こうした映像資料を逐次デジタルコンテンツ化し、全国から公募した映像資料とともにインターネットで広く発信する「地域文化資産ポータル」(<http://bunkashisan.ne.jp/>)を構築・運用しています。平成25年度までで公開された映像資料は計447件となり、公開された伝統芸能等の映像アーカイブとしては日本最大級の規模になっています。

●地域伝統芸能継承者(青少年等)育成事業

平成11年度から、映像記録保存事業とともに、都道府県等が地域伝統芸能等について住民の関心を高める啓発イベントに助成する「都道府県フェスティバル事業」(平成23年度で終了)を実施しました。また、平成20年度からは継承者育成のため、「地域伝統芸能継承者(青少年等)育成事業」により市町村等(平成26年度からは都道府県等も対象)が行う青少年等の伝統芸能の発表公演などに助成しています。

実績一覧

●地域伝統芸能まつり〔平成12年度～〕

〔演目/作品名〕 〔地域/作品クレジット〕

◎12年度〔2001年2月24日、25日/テーマ:怨霊〕

鬼剣舞	岩手県北上市
高千穂神楽	宮崎県高千穂町
手杵祭り(映像のみ)	福井県小浜市
なまはげ	秋田県男鹿市
新居浜太鼓祭り	愛媛県新居浜市
神田祭	東京都
西馬音内盆踊り	秋田県羽後町
花祭り	愛知県東栄町
エイサー	沖縄県沖縄市
古典芸能:新作狂言「ムツゴロウ」	作:梅原猛 出演:茂山千作(人間国宝)
古典芸能:能「恋重荷」	出演:梅若六郎
古典芸能:舞楽「蘇莫者」	出演:天王寺楽所 雅亮会
古典芸能:琵琶「平家物語」	出演:上原まり
古典芸能:文楽「菅原伝授手習鑑・天 拝山の段」	出演:吉田玉男(人間国宝)、竹本住大 夫(人間国宝)
古典芸能:新作能「無明の井」	作:多田富雄 出演:橋岡久馬
古典芸能:狂言「蛸」	出演:山本東次郎

◎13年度〔2002年3月30日、31日/テーマ:恋(こひ)〕

石見神楽「大蛇」	島根県益田市
黒川能「道成寺」	山形県櫛引町
糸満大綱引(映像紹介)	沖縄県糸満市
アイヌの古式舞踊	北海道
山鹿灯笼踊り	熊本県山鹿市
新野の雪祭り	長野県阿南町
梵天	秋田県横手市
壬生狂言「桶取」	京都府京都市
越中おわら節	富山県八尾町
奄美の島唄・六調	鹿児島県名瀬市
古典芸能:新作能「夢浮橋」	作:瀬戸内寂聴 出演:梅若六郎 ほか
古典芸能:浪曲「藤十郎の恋」	出演:春野百合子
古典芸能:新作狂言「クローン人間・ ナマシマ」	作:梅原猛 出演:茂山千作(人間国宝)、 茂山千之丞 ほか
古典芸能:文楽「曾根崎心中・天神森 の段」	出演:吉田玉男(人間国宝)、吉田襄助 (人間国宝) ほか

◎14年度〔2003年3月1日、2日/テーマ:天地(あめつち)〕

面浮立	佐賀県鹿島市
米多浮立	佐賀県上峰町
綾子舞	新潟県柏崎市
ユカラ	北海道
継ぎ獅子	愛媛県今治市
郡上おどり	岐阜県八幡町
津軽情っ張り太鼓	青森県弘前市
秋保(あきう)の田植踊	宮城県仙台市
油井の豊年踊り	鹿児島県瀬戸内町
オラショ(かくれキリシタン行事)	長崎県生月町
四日市の大入道	三重県四日市市
古典芸能:狂言「神鳴」	出演:山本東次郎 ほか

古典芸能:太鼓について(太鼓協奏曲) 作曲:三枝成彰 台本:島田雅彦 出演:大友直人、野村万之丞、新日本フィルハーモニー交響楽団 ほか

古典芸能:能「野守」天地之声(短縮版) 出演:梅若六郎 ほか

◎15年度〔2004年2月14日、15日/テーマ:変化(へんげ)〕

麒麟獅子舞	鳥取県鳥取市
鬼太鼓	新潟県両津市
佐渡おけさ・相川音頭	新潟県佐渡市
撞舞	茨城県龍ヶ崎市
松田の獅子舞い・夢宝太鼓	沖縄県宜野座村
牛鬼	愛媛県宇和島市
御陣乗太鼓	石川県輪島市
遠野の昔語・青笹しし踊り	岩手県遠野市
淡路人形芝居	兵庫県南淡町
姫島盆踊り	大分県姫島村
八代妙見祭	熊本県八代市
古典芸能:新作能「蛇」(短縮版にて)	作:瀬戸内寂聴 出演:梅若六郎 ほか
古典芸能:古典落語「田能久」	出演:立川談志
古典芸能:スーパー狂言「王様と恐竜」	作:梅原猛 出演:茂山千作(人間 国宝)、茂山千之丞 ほか

◎16年度〔2005年2月26日、27日/テーマ:福(ふく)〕

南大塚の餅つき踊り	埼玉県川越市
石井の七福神	福島県二本松市
笑い講	山口県防府市
北之幸谷の獅子舞	千葉県東金市
御諏訪太鼓	長野県岡谷市(出演:小口大八ほか)
徳重大バラ太鼓踊り	鹿児島県伊集院町
古典万歳「伊勢万歳」	三重県鈴鹿市
古典万歳「加賀万歳」	石川県金沢市
古典万歳「伊予万歳」	愛媛県松山市
八戸えんぶり	青森県八戸市
琉球舞踊	沖縄県那覇市
本地の花笠踊り	広島県北広島町
三原やっさ踊り	広島県三原市
大蛇山	福岡県大牟田市
古典芸能:古典狂言「居杭」	出演:大蔵流・山本東次郎、山本則直、 山本稔太郎(子方)
古典芸能:ロック文楽「曾根崎心中」	出演:桐竹紋寿・吉田文吾/宇崎竜童 ほか
古典芸能:歌舞伎舞踊「お祭り」	出演:坂東三津五郎 ほか

◎17年度〔2006年2月11日、12日/テーマ:遊(あそび)〕

阿波おどり	徳島県徳島市
藤守の田遊び	静岡県大井川町
大塩天満宮獅子舞	兵庫県姫路市
祇園のお座敷遊び「拳」	京都府京都市
桐生八木節	群馬県桐生市
竿燈	秋田県秋田市
竹ン芸	長崎県長崎市
嘉瀬の奴踊り	青森県五所川原市
石岡のおまつりー土橋の獅子舞ー	茨城県石岡市
生國魂神社の枕太鼓	大阪府大阪市
おはら祭り	鹿児島県鹿児島市
古典芸能:半能「融 酌之舞」	出演:梅若六郎 ほか

古典芸能：講談「め組の喧嘩」 出演：一龍齋貞水(人間国宝)
 古典芸能：舞楽「胡德楽」 出演：天王寺楽所 雅亮会
 古典芸能：狂言「蝸牛」 出演：茂山逸平、茂山宗彦、茂山茂 ほか

◎18年度[2007年2月24日、25日/テーマ：ものあはれ]

八丈太鼓 東京都八丈島八丈町
 先帝祭 上臈道中 山口県下関市
 木ノ本の獅子舞 和歌山県和歌山市
 山形花笠まつり 山形県山形市
 久喜の提燈祭り 埼玉県久喜市
 江差追分 北海道江差町
 備中神楽 岡山県高梁市
 椎葉村の作業唄 宮崎県椎葉村
 江刺鹿踊り群舞 岩手県奥州市
 五箇山の歌と踊り 富山県南砺市
 日光和楽踊り 栃木県日光市
 仁尾竜まつり 香川県三豊市
 古典芸能：平曲(平家琵琶)「平家物語 より 祇園精舎/先帝御入水」 出演：須田誠舟
 古典芸能：狂言「節分」 出演：山本則俊、山本則重(大蔵流)
 古典芸能：半能「鶴 白頭」 出演：金剛流宗家・金剛永謹 ほか
 古典芸能：日本舞踊 清元 申酉 出演：藤間紫 ほか

◎19年度[2008年2月23日、24日/テーマ：翁と童]

猿の子踊 鹿児島県指宿市
 奈良豆比古神社の翁舞 奈良県奈良市
 豊前市の岩戸神楽 福岡県豊前市
 角兵衛獅子 新潟県新潟市
 酒田まつり 山形県酒田市
 秋田の「むかしこ」と「猿倉人形芝居」 秋田県羽後町
 「天人」と「津波古の棒術」 沖縄県南城市
 安来節と銭太鼓 鳥根県安来市
 ケンケト祭 滋賀県竜王町
 大蔵谷の獅子舞 兵庫県明石市
 盛岡さんさ踊り 岩手県盛岡市
 古典芸能：地唄「雪」 出演：大和松蔭(舞)、富田清邦(唄・三弦)
 古典芸能：狂言「金津地蔵」 出演：野村小三郎(和泉流) ほか
 古典芸能：能「翁」 出演：観世清和(観世流)、野村萬斎(和泉流) ほか

◎20年度[2009年2月21日、22日/テーマ：祈り]

因幡の傘踊り 鳥取県鳥取市
 箱根仙石原湯立獅子舞 神奈川県箱根町
 銀鏡神楽 宮崎県西都市
 真野音頭 新潟県佐渡市
 加賀鳶はしご登り 石川県金沢市
 山北棒踊り 高知県香南市
 火伏せの虎舞 宮城県加美町
 隠岐国分寺蓮華会舞 島根県隠岐の島町
 六斎念仏踊り 京都府京都市
 花みこし 岐阜県美濃市
 古典芸能：能「葵上」 出演：塩津哲生 ほか
 古典芸能：狂言「菌」 出演：山本東次郎 ほか
 古典芸能：「採桑老」(舞楽) 出演：東儀俊美、十二音会

古典芸能：新作能「河勝」 作：梅原猛 出演：大槻文蔵、梅若玄祥、茂山千之丞 ほか

◎21年度[2010年2月27日、28日/テーマ：楽(らく)]

表児の米 福井県坂井市
 数河獅子 岐阜県飛騨市
 河口の稚児の舞 山梨県富士河口湖町
 黒石よされ 青森県黒石市
 芦別獅子 北海道芦別市
 銚子はね太鼓 千葉県銚子市
 武雄の荒踊 佐賀県武雄市
 白石踊 岡山県笠岡市
 大海の放下 愛知県新城市
 萩野鹿子踊 山形県新庄市
 長崎くんち 龍踊 長崎県長崎市
 古典芸能：狂言「柑子俵」(和泉流) 出演：野村小三郎 ほか
 古典芸能：能「菊慈童遊舞之楽」(観世流) 出演：梅若玄祥 ほか
 古典芸能：狂言「楽阿弥」(大蔵流) 出演：山本東次郎 ほか
 古典芸能：沖繩組踊「二童敵討」 出演：子の会(シーのかい)

◎22年度[2011年2月26日、27日/テーマ：荒ぶる(すさぶる)]

芸北神楽 広島県北広島町
 新城の囃子曲持 神奈川県川崎市
 根岬梯子虎舞 岩手県陸前高田市
 牛深ハイヤ踊り 熊本県天草市
 表佐太鼓踊り 岐阜県垂井町
 朝倉の梯子獅子 愛知県知多市
 鳳凰の舞 東京都日の出町
 日和山神社鬼獅子 長野県中野市
 伊勢大神楽 三重県桑名市
 根子番楽 秋田県北秋田市
 弥五郎どん祭り 鹿児島県曾於市
 古典芸能：素狂言「萩大名」 出演：茂山千作 ほか
 古典芸能：「紅葉狩 鬼揃」(能) 出演：梅若玄祥 ほか
 古典芸能：「六地藏」(狂言) 出演：山本東次郎 ほか
 古典芸能：半能「石橋 大獅子」 出演：観世清和・三郎太(親子) ほか

◎23年度[2012年2月25日、26日/テーマ：縁(えん)]

谷汲踊 岐阜県揖斐川町
 福田十二神楽 福島県新地町
 三重の獅子舞 佐賀県佐賀市
 菅窪鹿踊・剣舞 岩手県田野畑村
 加賀獅子舞 石川県金沢市
 小園臼太鼓踊 宮崎県門川町
 鷲舞 島根県津和野町
 小國神社 十二段舞楽 静岡県森町
 雄勝法印神楽 宮城県石巻市
 沼田祇園囃子 おぎょん 群馬県沼田市
 古典芸能：狂言「舟渡聲」(和泉流) 出演：野村万作(人間国宝) ほか
 古典芸能：半能「融」(観世流) 出演：梅若玄祥 ほか

◎24年度[2013年2月23日、24日/テーマ：鎮(しずめ)]

松前神楽 北海道小樽市
 伏木一宮の獅子舞 富山県高岡市
 遠州大念仏 静岡県浜松市

佐原囃子	千葉県香取市
知立の山車文楽	愛知県知立市
綾南の親子獅子舞	香川県綾川町
村上の田植踊	福島県南相馬市
鶴崎踊	大分県大分市
南沢神楽(南部神楽)	岩手県一関市
御所の献灯行事	奈良県御所市
古典芸能:狂言「止動方角」(大蔵流)	出演:山本東次郎(人間国宝) ほか
古典芸能:スーパー能「世阿弥」(短縮版)(新作能)	作:梅原猛 出演:梅若玄祥、片山九郎右衛門 ほか

◎25年度[2014年2月22日、23日/テーマ:芽生え]

熊襲踊	宮崎県都市
佐陀神能	島根県松江市
上羽太天道念仏踊り	福島県西郷村
仙台すずめ踊り	宮城県仙台市
鹿野山のはしご獅子舞	千葉県君津市
小倉祇園太鼓	福岡県北九州市
蹴鞠	京都府京都市
おらんだ楽隊	千葉県香取市
阿波人形浄瑠璃	徳島県徳島市
西嶋神楽	山梨県身延町
布団太鼓台	大阪府東大阪市
古典芸能:半能「船弁慶」(観世流)	出演:片山九郎右衛門、片山清愛 ほか
古典芸能:狂言「以呂波」(大蔵流)	出演:茂山逸平、茂山慶和

◎26年度[2015年2月21日、22日/テーマ:咲う(わらう)]

江差餅つき囃子	北海道江差町
御嶽神楽	大分県豊後大野市
蔵王のはねおどり	広島県福山市
根知山寺の延年	新潟県糸魚川市
大脇の梯子獅子	愛知県豊明市
明神ばやし	福井県越前町
杉沢比山	山形県遊佐町
京太郎	沖縄県読谷村
山屋の田植踊	岩手県紫波町
素盞雄神社の天王祭	東京都荒川区
古典芸能:狂言「鬼瓦」(大蔵流)	出演:山本東次郎(人間国宝) ほか
古典芸能:能「三笑」(観世流)	出演:梅若玄祥(人間国宝) ほか

●映像記録保存事業[平成11年度～]

[タイトル]

[地域]

◎11年度

1	地域伝統芸術保存事業(上十川鹿踊)	青森県黒石市
2	女沼のささら	茨城県総和町
3	塚崎の獅子舞	茨城県境町
4	峠のまち 松井田の獅子舞	群馬県松井田町
5	熊野神社式年神幸祭	千葉県干潟町
6	上和田薬王院双盤念仏	神奈川県大和市
7	塩たぎ節、萬歳の若水、越後追分	新潟県寺泊町
8	信州上村の伝統芸能(中郷獅子舞、御祝い棒、事の神送り、正調絵島、下栗掛け踊り)	長野県上村
9	受け継がれる熱き心 270年の歴史と伝統～清内路手作り花火～	長野県清内路村

10	農の心 ここに輝く 農村美術 土に生きる誇りと喜び (農民美術手芸)	長野県上田市
11	山岡の地歌舞伎	岐阜県山岡町
12	春日の燈籠祭り	岐阜県春日村
13	陶芸 織部・黄瀬戸 加藤伸也	愛知県瀬戸市
14	砥鹿神社 田遊祭	愛知県一宮町
15	夏山八幡宮火祭り	愛知県額田町
16	びん細工手まり	滋賀県愛知川町
17	丹波祭り囃子	京都府園部町
18	原の獅子舞	徳島県那賀川町
19	豊前市の岩戸神楽	福岡県豊前市
20	八女津媛神社の浮立	福岡県矢部村
21	白鬚神社田楽	佐賀県佐賀市
22	ヤモード祭 淀姫神社の大しめなわ	長崎県佐世保市
23	深山流岩戸神楽	大分県朝地町
24	「打植祭」記録ビデオ(香取神社 打植祭)	宮崎県えびの市
25	百済王族伝説の証「師走まつり」	宮崎県南郷村
26	吉野宮物語 古を思い未来へと祈る	宮崎県諸塚村
27	臼太鼓踊	宮崎県椎葉村
28	ふるさとに継ぐ～暮らしと伝統～(日之影神楽)	宮崎県日之影町

◎12年度

1	秋田県矢島の神明社 八朔祭り	秋田県矢島町
2	とんと昔～橋下宿佐藤家の昔話～	山形県上山市
3	深山和紙	山形県白鷹町
4	会津高田伊佐須美神社の田植神事	福島県会津高田町
5	からむし織～魂の伝承～	福島県昭和村
6	中島の剣舞	福島県浪江町
7	染谷の十二座神楽	茨城県石岡市
8	五所駒瀧神社の祭事～祇園祭と世話人制度～	茨城県真壁町
9	粟野町の伝統芸能(尾出山神社の獅子舞、日渡路の大杉神田踊り、小松神社の獅子舞、賀蘇山神社の獅子舞)	栃木県粟野町
10	粕川村の伝統芸能(月田の獅子舞、目測の太々神楽)	群馬県粕川村
11	川越まつり	埼玉県川越市
12	脚折雨乞行事～埼玉県鶴ヶ島市～	埼玉県鶴ヶ島市
13	福生市の無形民俗文化財(福生天王ばやし、キミノクチ、の製作技術、福生の祭囃子)	東京都福生市
14	日の出町の祭囃子と伝統の舞(鳳凰の舞、玉の内の獅子舞、重松流祭り囃子、長井田神田囃子)	東京都日の出町
15	世附の百万遍念仏	神奈川県山北町
16	湯川五社神社 神楽舞	新潟県田上町
17	富士吉田市の伝統芸能(小室浅間神社の流鏝馬、小見見の神楽舞(獅子舞))	山梨県富士吉田市
18	ヤマメ祭ー田代諏訪神社例大祭ー	静岡県静岡市
19	日和田祭り	岐阜県高根村
20	飛騨白川郷のどぶろく祭	岐阜県白川村
21	(1)南長野かんど踊り(2)桂畑地蔵踊り(3)高座原山の神神事(4)北長野・細野祇園踊り	三重県美里村
22	江波の三番叟	鳥取県用瀬町
23	牟礼・庵治石工の技	香川県牟礼町
24	“よい米どころ～綾上町～米づくりとともに生きる伝統文化”(主基斎田保存)	香川県綾上町
25	白水村岩戸神楽	熊本県白水村
26	植柳盆踊り・八代神社(妙見宮)祭礼の獅子舞楽・花奴	熊本県八代市

27	第三十二回 緒方町五千石祭	大分県緒方町
28	シバサシ行事と八月踊り	鹿児島県宇検村
29	市来の七夕踊	鹿児島県市来町
◎13年度		
1	吉野田獅子踊	青森県浪岡町
2	八雲神社の神輿渡御祭と梓衝神社の太鼓獅子	福島県長沼町
3	檜枝岐歌舞伎	福島県檜枝岐村
4	一常陸高野に響く西蓮寺節— 西蓮寺常行三昧会	茨城県玉造町
5	栃窪の天念仏	栃木県鹿沼市
6	伊豆沢の天気占い	埼玉県小鹿野町
7	羽生のささら獅子舞	埼玉県羽生市
8	毛呂神社屋台囃子	埼玉県鳩山町
9	杉並の郷土芸能	東京都杉並区
10	若郷の大踊り	東京都新島村
11	田海太神楽	新潟県青海町
12	若狭の夏を囃す 小浜放生祭	福井県小浜市
13	西島神楽	山梨県中富町
14	宣澄踊り	長野県戸隠村
15	蘇民将来符～願いは永久に～(蘇民将来符頒布習俗)	長野県上田市
16	高遠囃子伝承	長野県高遠町
17	近江八幡の左義長祭	滋賀県近江八幡市
18	(1)福知山御勝八幡宮の大祭奉納芸能 一般用	京都府福知山市
18	(2)福知山御勝八幡宮の大祭奉納芸能 伝承編	京都府福知山市
19	摩氣神社のお田植祭	京都府園部町
20	備中町の渡り拍子	岡山県備中町
21	ひるぜんのがま細工	岡山県川上村
22	東粟倉村伝統芸能 獅子舞(後山・中谷獅子舞)	岡山県東粟倉村
23	ふるさとの民謡踊り	愛媛県別子山村
24	朝倉神社秋季祭礼	高知県高知市
25	糸田町の伝統芸能 金村神社の田植祭	福岡県糸田町
26	見鳥のカセドリ行事	佐賀県佐賀市
27	ふるさとのまつり(大日皮浮立、袴野面浮立、武雄供日の流鍋馬行事)	佐賀県武雄市
28	舞は天を衝く(米多浮立)	佐賀県上峰町
29	早尾のスキョン	熊本県宮原町
30	緑と清流に育まれて～水上村に伝承される郷土芸能～(白水神楽、千ヶ平虎踊り、御嶽さん参りの唄、川内の平家踊り、上楠臼太鼓踊り)	熊本県水上村
31	霧島に抱かれて・・・～薩摩の息吹を現在に紡ぐ山田の郷土芸能～(八頭相撲甚句踊り、瀬茅俵踊り、平山棒おどり、山内一のバラ踊り)	宮崎県山田町
32	西郷村の神楽 (1)若宮神楽～伝統の舞が、神の領域を生む～(2)尾佐渡神楽～伝統の舞が、悠久の里に息づく～(3)島戸神楽～島戸に息づく、神楽への思い～	宮崎県西郷村
33	(1)北郷村の人々の伝承文化と生活風習(2)入下神楽(3)宇納間神楽	宮崎県北郷村
◎14年度		
1	神とともに～帯広カムイトウウボボ保存会の歌と踊り～(アイヌ古式舞踊)	北海道帯広市
2	江刺の鹿踊	岩手県江刺市
3	小林早乙女踊り	福島県只見町
4	第17回東金砂神社磯出大祭礼	茨城県金砂大田楽等保存連絡協議会

5	第17回西金砂神社磯出大祭礼	茨城県金砂大田楽等保存連絡協議会
6	天下一閃白神獅子舞	栃木県上河内町
7	(1)御倉御子神社太々神楽舞(2)琴平神社太々神楽舞	群馬県鬼石町
8	小国和紙技法	新潟県小国町
9	能生白山神社春季大祭	新潟県能生町
10	福野夜高祭	富山県福野町
11	筒粥占い	山梨県長坂町
12	阿南町の民俗芸能【お鞆様・深見の祇園祭りの習俗・和合の念仏踊り・早稲田人形芝居・粟野の囃子屋台】	長野県阿南町
13	市野川神社 太々神楽	長野県麻績村
14	石上げ祭	愛知県犬山市
15	沙沙貴神社 沙沙貴まつり	滋賀県安土町
16	たたら吹き製鉄用大炭窯築造炭焼き技術	島根県横田町
17	新野まつり	岡山県勝北町
18	塩原の大山供養田植	広島県東城町
19	南川百万遍	高知県土佐町
20	津屋崎祭ロマン(津屋崎祇園山笠、豊山神社御神幸祭)	福岡県津屋崎町
21	悠久の時を越えて未来へ(四阿屋神社の御田舞)	佐賀県鳥栖市
22	荒穂神社の御神幸祭	佐賀県基山町
23	志佐精霊流し	長崎県松浦市
24	人形に心を求めて(清和文楽人形芝居)	熊本県清和村
25	郷土伝統芸能「山之口」(山之口弥五郎どん祭り行事、上富吉地区の郷土芸能、下富吉地区の郷土芸能、六十田剣舞、川内嫁女踊り、花木あげ馬祭り)	宮崎県山之口町
26	神々の息吹が現代に蘇る(尻振り盆踊り、団七踊り・桃と桜、小川神楽、越野尾神楽)	宮崎県西米良村
27	郷土伝統芸能「東串良」(唐仁八月踊り、溜水の寺踊り、岩弘の鉦打ち、柏原相撲甚句、廣田神社の春祭り、宮貴神社の春祭り、大塚神社の春祭り)	鹿児島県東串良町
28	朝倉太鼓踊り、柏木棒踊り、野岳棒踊り、上平房棒踊り、中平房棒踊り、下平房棒踊り、輝北町の伝統行事、習俗、農耕文化等	鹿児島県輝北町
29	ふるさとの歴史をたずねて「蒲生に伝わる郷土芸能」(下久徳太鼓踊り、川東太鼓踊り、北太鼓踊り、漆バラ踊り、米丸兵児踊り、宮脇棒踊り、西浦棒踊り、久末棒踊り、久末田の神舞)	鹿児島県蒲生町
30	郷土伝統芸能「屋久」(如竹踊り、原ごちょう踊り、湯泊笠踊り)	鹿児島県屋久町
31	郷土伝統芸能「祁答院」(上手太鼓踊り、馬頭尾太鼓踊り、川東バラ踊り、黒木鷹踊り、麓西虚無僧踊り、菊地田種子島踊り)	鹿児島県祁答院町
32	屋部の八月踊り～継承される祭り～	沖縄県名護市
◎15年度		
1	黒石よされ	青森県黒石市
2	八幡崎獅子踊	青森県尾上町
3	コミュニティを支える絆～常盤八幡宮年縄奉納行事～	青森県常盤村
4	神楽講中の待つ地域へ～いわて花巻の幸田神楽～	岩手県花巻市
5	上松木内の紙風船上げ	秋田県西木村
6	大館囃子、からからんず、粕田酒こし舞、雪沢鹿島太鼓、下町獅子舞、松木獅子踊り、川口獅子踊り、白沢獅子舞、粕田獅子舞、松原獅子踊り	秋田県大館市
7	石井の七福神と田植踊	福島県二本松市
8	山木屋八坂神社三匹獅子舞 普及用/後継者育成用	福島県川俣町
9	三城目獅子舞・平鞆踊り	福島県矢吹町
10	八つ頭獅子舞	福島県船引町

10	大鏡矢神社 夫婦獅子舞	福島県船引町	6	石森の三匹獅子舞 短縮版/石森の三匹獅子舞/石	福島県船引町
11	武州秩父 甲源一刀流	埼玉県両神村		沢の三匹獅子舞 短縮版/石沢の三匹獅子舞	
12	大沢水車物語/新車の仕組み 大沢水車物語II	東京都三鷹市	7	東葛印施大師講	千葉県白井市
13	西小磯の七夕	神奈川県大磯町	8	木曾根の弓ぶち・鶴ヶ曾根上久伊豆神社の弓ぶち・	埼玉県八潮市
14	高坂の男獅子、願法寺の絵解き	長野県牟礼村		鶴ヶ曾根下久伊豆神社の弓ぶちの記録	
15	豊田音頭映像記録	新潟県真野町	9	栃尾市の伝統芸能(岩戸舞・太々神楽・広大寺)/子供編	新潟県栃尾市
16	笛のしらべ 太鼓の響き 躍動する獅子舞(江波獅子	富山県砺波市	10	名立町伝統芸能(折平の獅子舞・森の獅子舞・不動古	新潟県名立町
	舞、頼成下村獅子舞)			典踊り・民謡)	
17	能登島の秋祭り	石川県能登島町	11	綱木のいな虫送り	新潟県三川村
18	垂井のまつり(伊富岐神社例祭、垂井曳車山祭り、表佐	岐阜県垂井町	12	能登島の伝統行事(向田の火祭、三ヶの虫送り、野崎の虫	石川県能登島町
	太鼓踊り)			送り、祖母ヶ浦のえびす祭、鯉目のえびす祭り、タコのママ)	
19	石野の万灯まつりー小峯町・芳友町ー	愛知県豊田市	13	刀根・気比神社の祭礼	福井県敦賀市
20	どぶろくの宮 大森神社 ～熊野市育生町に伝わるど	三重県熊野市	14	長坂町の稚児(巫女)の舞	山梨県長坂町
	ぶろく祭～		15	高根村のまつり	岐阜県高根村
21	石宮町の無形民俗文化財(安井の大草履、丹戸のお当、	兵庫県閭宮町	16	山のむらから木のぬくもりを～井川メンバの制作技術～	静岡県静岡市
	別宮のお綱打ち、葛畑の庚申待ち)/葛畑座農村歌舞		17	木本祭り～熊野市本町に伝わる六法行列～	三重県熊野市
	伎復活公演		18	湯木の盆踊り・大月三角山神社秋季楽舞・向泉の田楽	広島県口和町
22	古典相撲・久見神楽・牛突き	鳥根県五箇村	19	神々にいだかれて～岩戸神楽～	福岡県那珂川町
23	新庄盆踊り	岡山県新庄村	20	添田町伝統芸能三題(津野神楽・野田獅子楽・彦山踊り)	福岡県添田町
24	豊町の伝統芸能～久比地区～/豊町の伝統芸能～大長地区	広島県豊町	21	八幡古表神社 放生会	福岡県吉富町
	～/豊町の伝統芸能～沖友地区～/ふるさとの伝承芸能～御		22	有田焼の伝統的様式美の継承と先陣陶工達の技	佐賀県有田町
	手洗地区～/ふるさとの伝承芸能～沖友地区～ふるさとの伝		23	獅子の須古踊り	長崎県平戸市
	承芸能～大長地区～/ふるさとの伝承芸能～久比地区～		23	築地町のジャ踊り	長崎県平戸市
25	火ともしまつり 出崎森神社/熊野新宮祭礼獅子舞	広島県海田町	23	田助ハイヤ節	長崎県平戸市
26	倉橋船大工～巖島神社・御座船建造記録～	広島県倉橋町	24	神々の舞～浅草流神楽～	大分県千歳村
27	大樹の舞 楠町の岩戸神楽舞	山口県楠町	25	郷土伝統芸能「西都」(三納吉田盆踊り・平郡十五夜	宮崎県西都市
28	豊茂の民俗文化 五ツ鹿踊り・越後獅子・獅子舞	愛媛県長浜町		踊り・中尾棒踊り・神代神楽)	
29	香我美町地域伝統芸術 獅子舞・お鳥喰いの儀・山	高知県香我美町	26	横川町伝統芸能(四方立ち舞・田の神舞・建築踊り・鎌	鹿児島県横川町
	北の棒踊り・土佐凧とフラフ			踊り・俵踊り)	
30	綾きり(瀬田地区)/仮名手本忠臣蔵/綾きり(湊地区)	長崎県対馬市	27	郷土伝統芸能「高山」(宮富地区の棒踊り・波見地区の棒踊り)	鹿児島県高山町
	/牛若丸/佐々木巖流/稲作おどり		28	郷土伝統芸能「佐多」(上之園太鼓踊り)	鹿児島県佐多町
31	関所の里の伝統芸能 大いなる遺産を守り継ぐ(宮尾	熊本県南関町			
	岩戸神楽、肥後琵琶人形芝居、小原神楽、小原古代楽)				
32	六嘉の獅子舞	熊本県嘉島町			
33	歴史と浪漫に彩られた菊鹿町の郷土芸能(相良神楽、	熊本県菊鹿町			
	大林神楽、太田神楽、相良雨乞い踊り、木山羽熊振り、				
	阿佐古かせいどりうち)				
34	よみがえる、ふるさとの奏べ～本組区に伝承されるばんば踊	宮崎県高千穂町			
	り～/鬼の目はしらかし～本組地区の春を呼ぶ伝統行事～				
35	城攻め踊り	宮崎県高岡町			
36	もぐらもちと柱松	宮崎県串間市			
37	薫り高き文化に抱かれて(中ノ又神楽、比木盆踊り)	宮崎県木城町			
38	高城町に息づく郷土芸能(石山花相撲、有水鉦踊り、	宮崎県高城町			
	桜木俵踊り、香禅寺奴踊り、星原奴踊り、穂満坊三月十				
	日踊り、横原奴踊り、イヨブシ傘踊り)				
◎16年度					
1	五林平太刀振り	青森県板柳町	1	鶴田町西中野組獅子舞	青森県鶴田町
2	岩手山に響く笛太鼓(篠木神楽を中心とした郷土芸能	岩手県滝沢村	2	花巻の伝統技能「南部系こけし」・鳴子系こけし・煤	岩手県花巻市
	活動記録)			孫系こけし・音治系、秀吉型こけし	
3	ドンバン節のふるさと中仙町～伝えたいおらが町のこ	秋田県中仙町	3	戸沢ささら	秋田県仙北市
	ころの絆～		4	新庄まつり	山形県新庄市
4	なるせの昔っこ(春編)(夏編)(秋編)(冬編)	秋田県東成瀬村	5	鈴石神社の太々神楽	福島県二本松市
5	会津三匹獅子舞 普及啓発用/丁寧獅子舞保存会	福島県会津若松市	6	(1)馬場の神楽七芸、(2)北萱浜の天狗舞	福島県南相馬市
	記録保存用/下居合彼岸獅子保存会 記録保存用/		7	(1)光大寺の三匹獅子舞(2)大倉の太々神楽	福島県田村市
	本瀧沢獅子保存会 記録保存用/丁寧獅子舞保存会		8	君島ひよっこ「お囃子編」/「お祭り編」/「踊り編」	茨城県阿見町
	後継者養成用/下居合彼岸獅子保存会 後継者養成		9	馬上(もうえ)のクダゲエ(管粥)	埼玉県小鹿野町
	用/本瀧沢獅子保存会 後継者養成用		10	石戸獅子舞	新潟県阿賀町
			11	願念坊踊り	富山県小矢部市
			12	さつまおどり	長野県飯山市
			13	黒田人形の「手」解説映像/鎌倉三代記 三浦別れの段/艶	長野県飯田市
				容女舞衣 酒屋の段/奥州安達ヶ原三段目 袖菰祭文の段	
			14	三井町の獅子舞	石川県輪島市
			15	祭り 獅子舞	石川県津幡町
			16	花の窟お綱かけ神事	三重県熊野市
			17	うすくち醤油造りと関連する技能伝承の記録	兵庫県たつの市
			18	(1)金山神楽 (2)金山獅子舞 (3)俵もみ	山口県岩国市
			19	八幡神社・賀茂神社 祭礼	香川県仁尾町

20	太祖神楽	福岡県篠栗町
21	(1)お田植祭 (2)金雷神楽 (3)細男舞	福岡県築上町
22	園部くんち	佐賀県基山町
23	栖本太鼓踊り	熊本県栖本町
24	(1)輪太鼓踊り(2)岩戸神楽	宮崎県小林市
25	(1)上勢西棒・鎌踊り(2)高坂棒踊り(3)鍋棒踊り(4)東剣舞踊り(5)炭床曾我兄弟踊り(6)蔵元奴踊り(7)三和奴踊り(8)竹元地突き唄(9)谷川俵踊り(10)東霧島龍神太鼓	宮崎県高崎町
26	(1)兵児踊り(2)剣舞一の谷(3)城攻め	宮崎県須木村
27	(1)中米ジャンカ馬踊り(2)椋田ジャンカ馬踊り(3)上米棒踊り(4)新馬場棒踊り(5)餅原棒踊り(6)小鷲巣大太鼓踊り(7)梶山棒踊り(8)轟木棒踊り(9)大野棒踊り(10)仮屋棒踊り(11)蓼池奴踊り(12)田上俵踊り(13)谷太郎踊り	宮崎県三股町
28	(1)竿打ち踊り(2)やっこ(3)手々知名あしび踊り(4)畦布獅子舞(5)せんする節(6)仲里節(7)収納米(8)忍び踊り(9)その他収録可能な芸能	鹿児島県和泊町
29	山本川恒(やまもとせんこう)の民話	沖縄県名護市
30	久高島の年中行事	沖縄県南城市

◎18年度

1	伝統芸術 弥生画	青森県鶴田町
2	岩手県雫石町の民俗芸能 安庭操り人形芝居	岩手県雫石町
3	花巻地方の民間信仰 マイリノホトケ	岩手県花巻市
4	仙北地方のささら 長野ささら	秋田県大仙市
5	糠塚の獅子舞	福島県郡山市
6	那須楮と西ノ内紙	茨城県常陸大宮市
7	小鹿野町河原沢のオヒナゲエ、橋詰のドウロク神焼き、暮らしに生きる小鹿野河原沢の小正月	埼玉県小鹿野町
8	藤波のささら獅子舞	埼玉県上尾市
9	葛和田のあばれみこし	埼玉県熊谷市
10	つく舞 エンヤーホー 旭市宿天神区八坂神社祭礼	千葉県旭市
11	銚子の祭り太鼓	千葉県銚子市
12	越後村上七夕祭り	新潟県村上市
13	高岡市の伝統工芸	富山県高岡市
14	氷見の祇園祭り	富山県氷見市
15	曳山子供歌舞伎	石川県小松市
16	輪島市の曳山祭り	石川県輪島市
17	足助祭り	愛知県豊田市
18	油日神社の奴振	滋賀県甲賀市
19	甦る古民家	大阪府河内長野市
20	柏原市の神話・民話	大阪府柏原市
21	淡路人形浄瑠璃	兵庫県南あわじ市
22	野中の獅子舞	和歌山県田辺市
23	豊前の祭	福岡県豊前市
24	芦屋釜～その製作技術と美～	福岡県芦屋町
25	からつ曳山囃子	佐賀県唐津市
26	命婦の舞(和多都美神社・海神社)	長崎県対馬市
27	神と人が交わるところ～次代に引き継ぐ青井阿蘇神社の年中行事～	熊本県人吉市
28	宇佐神宮の風除報賽祭 俚舞楽打と神能	大分県宇佐市
29	次代に引き継ぐ文化遺産～野尻町に伝承される郷土芸能～	宮崎県野尻町
30	汀間区のウシデーク 女の祭り：ウシデークの再興を目指して	沖縄県名護市
31	座喜味棒	沖縄県読谷村

◎19年度

1	供養絵巻と遺影による供養習俗	岩手県花巻市
2	面岸の「箕」づくり	岩手県一戸町
3	黒土神楽	秋田県大仙市
4	多田野の楸柄舞田植踊り	福島県郡山市
5	古寺山自奉楽	福島県須賀川市
6	①野州田植唄・野州苗取唄 ②柿木澤星宮神社岩戸神楽	栃木県さくら市
7	戸田の伝統漁撈	埼玉県戸田市
8	行田市の獅子舞	埼玉県行田市
9	藤波のささら獅子舞(記録篇)	埼玉県上尾市
10	出原(いでわら)の天気占い	埼玉県小鹿野町
11	河上瀬の左義長(ドント焼き)	愛知県豊田市
12	上野の獅子舞	和歌山県田辺市
13	備前焼大窯の再現	岡山県瀬戸内市
14	隠岐武良祭風流	島根県隠岐の島町
15	高野農村歌舞伎	高知県津野町
16	青戸棒踊り	鹿児島県南九州市
17	①中津祇園 ②北原人形芝居	大分県中津市
18	船浮の豊年祭・節祭	沖縄県竹富町

◎20年度

1	岩手県雫石町の民俗芸能 地域に息づく「雫石よしゃれ」	岩手県雫石町
2	鳥越の竹細工	岩手県一戸町
3	①谷地ひなまつり ②田植踊り ③満延倭楽 ④岩木豊年太鼓 ⑤沢畑風祭太鼓 ⑥谷地どんがまつり	山形県河北町
4	町田火消行列	茨城県常陸太田市
5	「常陸大宮市の祭り」と行事」①野口館の念仏講 ②十二所神社の九頭祭 ③妙蓮寺のお会式 ④小田野口の火伏せ ⑤入本郷のゴダチ ⑥六字様 ⑦西金砂神社小祭礼一氏子諸沢地区の対応一	茨城県常陸大宮市
6	高松地区阿波囃子記録保存	茨城県鹿嶋市
7	広木万場の道祖神焼き	埼玉県美里町
8	上平の竹細工職人	埼玉県上尾市
9	馬見塚の獅子舞	埼玉県行田市
10	白久のテンゴウ祭り	埼玉県秩父市
11	加賀市の民俗芸能 ①お松囃子 ②御願神事 ③シャヤムン踊り ④山中節⑤ごりよび唄 ⑥黒崎土ひねり節 ⑦敷地天神町の舞	石川県加賀市
12	かほく市の伝統行事 ①白尾のホラホイ行列 ②大崎・内日角の奴行列 ③高松のヤッサン踊り ④内日角・指江・狩鹿野の虫送り ⑤中沼の花火 ⑥木津の吹き出し花火	石川県かほく市
13	下村加茂神社の年中行事 ①鯛分け神事 ②やんさ んま ③御田植祭り ④稚児舞	富山県射水市
14	坪崎の火きり神事(天王まつり)	愛知県豊田市
15	大淀町伝統歳時記	奈良県大淀町
16	曾爾の獅子舞	奈良県曾爾村
17	平治川の長刀踊	和歌山県田辺市
18	備前焼大窯の再現 大窯深遠 時を越えた対話(鎌倉時代初期)	岡山県瀬戸内市
19	平戸市指定無形民俗文化財「萩田浮立」	長崎県平戸市
20	①松原マツ ②かます餅祭り ③さいすくい祭り	大分県中津市
21	久高島の年中行事2(久高島の伝統行事・神女たちの祈り)	沖縄県南城市
22	「八月十五夜あしび」読谷村・波平観月会	沖縄県読谷村
23	富盛の八月十五夜行事	沖縄県八重瀬町

◎21年度

- 1 石川獅子舞 青森県弘前市
- 2 音路の獅子舞 福島県郡山市
- 3 ①青津甚句 ②牛沢甚句 福島県会津坂下町
- 4 ①天下一関白流御神獅子舞 ②飯山の獅子舞 ③ 栃木県宇都宮市宗円獅子舞
- 5 上尾の神楽 埼玉県上尾市
- 6 下中条の獅子舞 埼玉県行田市
- 7 貴布祢神社神楽 埼玉県秩父市
- 8 高仁神社の御祭礼 長野県須坂市
- 9 羽布の送り神行事熊野神社の祭礼 愛知県豊田市
- 10 岩藤天王祭 愛知県日進市
- 11 大瀬の太鼓踊 和歌山県田辺市
- 12 備前焼大窯の再現 大窯深遠 時を越えた対話 岡山県瀬戸内市
- 13 ①大平の獅子舞 ②川崎獅子太鼓 ③八幡獅子太鼓 ④川口獅子太鼓 徳島県三好市
- 14 ①若宮おくんち毛槍 ②山北おくんち振毛槍並びに子ども楽 ③吉井祇園囃子 ④三春天満宮火鑽神事 ⑤お粥占い 福岡県うきは市
- 15 大島の須古踊 長崎県平戸市
- 16 「かくれキリシタン」オラシヨ 長崎県新上五島町
- 17 ①豊前福島神楽 ②豊前蛸背神楽 ③植野神楽 ④宮園楽 ⑤岩戸神楽 大分県中津市
- 18 古謝獅子舞 沖縄県沖縄市
- 19 シヌグの里 本部 ～備瀬そして崎本部・伊野波 沖縄県本部町
- 20 古宇利の神事芸能～タヌキ御願から豊年祭へ～ 沖縄県今帰仁村

◎22年度

- 1 五代獅子舞 青森県弘前市
- 2 ①矢澤・大仏神楽 ②市川神楽 ③高館駒踊 青森県八戸市
- 3 二双子だけぐら舞 青森県黒石市
- 4 日高火防祭 岩手県奥州市
- 5 チャグチャグ馬子を中心とした馬事文化の記録 岩手県滝沢村
- 6 高橋聖豊菩提獅子踊り 山形県天童市
- 7 岩倉の獅子舞 福島県郡山市
- 8 行田市の獅子舞 埼玉県行田市
- 9 三峰の獅子舞 埼玉県秩父市
- 10 土浦周辺のはたごしらえ 茨城県土浦市
- 11 白旗神社祭り囃子 神奈川県山北町
- 12 稲武地区の打ち囃子 愛知県豊田市
- 13 赤池の木遣と提燈とぼし 愛知県日進市
- 14 高田祭 岐阜県養老町
- 15 恩智神社卯辰祭供饗行事 大阪府八尾市
- 16 お夏清十郎踊り 和歌山県田辺市
- 17 備前焼大窯の再現 大窯深遠 時を越えた対話 岡山県瀬戸内市
- 18 笠岡市の伝統的盆踊り 岡山県笠岡市
- 19 大島村の盆行事「大島の流儀・花杖」と「西神浦の須古踊」 長崎県平戸市
- 20 ①多良木町内の臼太鼓踊り②上槻木の太鼓踊り③大久保の棒踊り④多良木の球磨拳 熊本県多良木町
- 21 ①久志検のチンカラ踊り②下平川棒踊り③上平川大蛇踊り④正名ヤッコ踊り⑤瀬利覚獅子舞踊り⑥西目イシシハカマ踊り 鹿児島県知多町
- 22 ①田植え唄、稲刈り唄②稲すり節③むちたばれ 鹿児島県伊仙町
- 23 五穀発祥の地南城・豊穡への祈り 沖縄県南城市
- 24 高志保「馬舞」 沖縄県読谷村

◎23年度

- 1 積丹町鯨場音頭映像記録保存事業 北海道積丹町
- 2 二戸地方の漆蠟づくり 岩手県一戸町
- 3 風見太々神楽 栃木県塩谷町
- 4 上野台獅子舞 埼玉県深谷市
- 5 根岸野謡 埼玉県朝霞市
- 6 飯田市山本 七久里神社の裸祭り 長野県飯田市
- 7 高梨神社の秋祭り 長野県須坂市
- 8 神楽(栄村の神楽) 長野県栄村
- 9 五木村伝統芸能(田口太鼓踊りほか) 熊本県五木村
- 10 岡倉神楽 大分県大分市
- 11 ウスデーク(上地) 沖縄県沖縄市
- 12 宇志多伯獅子加那志33年忌豊年祭 沖縄県八重瀬町

◎24年度

- 1 ①中野神楽 ②島守神楽 ③島守駒踊 青森県八戸市
- 2 柳橋の獅子舞 福島県郡山市
- 3 田宮囃子 茨城県土浦市
- 4 浦山の獅子舞 埼玉県秩父市
- 5 ①ささら獅子舞 ②白子囃子 埼玉県和光市
- 6 戸隠追通地区の鳥追い・セーノカミの勸進行事 長野県長野市
- 7 由比のお太鼓祭 静岡県静岡市
- 8 宇内戸地区の門念仏 愛知県豊田市
- 9 伏拝の盆踊 和歌山県田辺市
- 10 桐見川地区の七夕行事 高知県越知町
- 11 平島のナーマイドー 長崎県西海市
- 12 宇座「上い口説囃子」 沖縄県読谷村

◎25年度

- 1 金沢黒沼神社の十二神楽 福島県福島市
- 2 堀米獅子舞 埼玉県深谷市
- 3 船橋市の神楽 ①飯山満町大宮神社の神楽 ②高根町神明社の神楽 ③二宮神社の神楽 ④船橋大神宮の神楽 千葉県船橋市
- 4 高井八守神社の秋祭り 長野県須坂市
- 5 椎名の太刀踊り 高知県室戸市
- 6 五木村の四季と伝統行事 熊本県五木村

◎26年度

- 1 紙漉沢獅子舞 青森県弘前市
- 2 富岡の唐傘行灯花火 福島県郡山市
- 3 小浜長折の三匹獅子舞 福島県二本松市
- 4 山木屋八坂神社三匹獅子舞(下組) 福島県川俣町
- 5 郷土芸能映像記録保存事業 群馬県前橋市
- 6 藤沢・押沢・松嶺地区の棒の手 愛知県豊田市
- 7 下川上の流れ施餓鬼 和歌山県田辺市
- 8 鳥取市の失われつつある伝統芸能 ①成器地区の盆踊 ②中大路のだるま踊 ③用瀬のはねそ踊 ④神馬の手笠踊 ⑤神垣の手笠踊 ⑥別府の義士踊 鳥取県鳥取市
- 9 祖谷のからくり襖絵(後山地区・徳善地区) 徳島県三好市
- 10 個性豊かな島の秋祭り・オシコミ 香川県小豆島町
- 11 甲佐町伝統芸能 熊本県甲佐町
- 12 大和村の村落祭祀 鹿児島県大和村
- 13 儀間・南又島(フェーヌシマ) 沖縄県読谷村
- 14 友寄の獅子舞、棒術 沖縄県八重瀬町

地域の文化・芸術環境づくりに役立つ「情報交流・調査研究等事業」として、全国の公立文化施設の情報を掲載した月刊情報誌「地域創造レター」、専門雑誌「地域創造」(年2回)を財団設立当初から継続して発行するとともに、創造性豊かな地域づくりの指針となる調査研究等を実施しています。現在、実施しているプログラムは、以下のとおりです。

- ◎情報交流(地域創造レター、雑誌「地域創造」、ホームページ等) →P48
- ◎調査研究 →P53
- ◎地域創造フェスティバル
- ◎表彰(地域創造大賞) →P54

●情報交流(地域創造レター／雑誌「地域創造」／ホームページ)

地域創造の特徴のひとつが、公立文化施設の運営や文化・芸術による地域づくりに役立つ情報の収集・発信に力を入れていることです。その基幹媒体となっているのが、財団設立当初から発行している「地域創造レター」と雑誌「地域創造」です。

地域創造レター(毎月発行)では、広報として地域創造の活動を詳細に報告するとともに、「地域通信欄」を設けて全国の公立文化施設で行われている事業の情報を発信しています。そうした事業の中から、地域の参考になる事例を取材したレポート記事も掲載しています。こうした情報は地域の文化・芸術活動のデータベースとして広く活用されています。また、経験の浅い職員を対象にした「制作基礎知識」を連載するなど、実務知識を共有できる貴重な媒体になっています。制作基礎知識をまとめた別冊は、公立文化施設職員の入門書として活用されています。

雑誌「地域創造」(年2回発行)では、地域の課題解決に繋がる特集テーマを設け、先進的な取り組み事例を詳しくルポルタージュしています。また、海外事例の紹介にも力を入れ、文化・芸術による地域づくりの唯一の専門誌として定着しています。

また、平成8年度には地域創造のホームページを開設し、インターネットによる情報発信をスタートしました。財団案内、登録アーティストのデータベース、地域創造レター情報の閲覧はもちろんのこと、申請書類や調査研究報告書のダウンロードを可能にするなど、随時利便性を向上しています。

●調査研究のあゆみ

財団設立当初から地域の公立文化施設の実態を把握する悉皆調査を節目毎に実施するとともに、毎年テーマを設定して、公立文化施設の活性化と文化・芸術による地域づくりについて全国的な視点から分析・研究を行ってきました。

特徴は、①悉皆調査や定期刊行物により収集した全国的な情報をベースにしていること、②公立文化施設の運営者にとってタイムリーな研究テーマを設定していること、③マニュアル化を図るなど実務に活かせる報告書をまとめていること、④当該分野の専門家・実務家による委員会での意見交換を行っていること、⑤オピニオンリーダーとして環境づくりに資する提言を行っていることです。

研究テーマとして、90年代にはボランティア、住民参加型事業、ネットワーク活動、舞台技術者育成など、各地の施設が工夫を凝らして取り組んでいた方法を取り上げ、その経験やノウハウを報告書として全国に伝えました。当時、全国の公立ホールがクラシック音楽の集客に苦しんでいたことから、地域創造では平成10年度から「公共ホール音楽活性化事業」への取り組みを始めました(→P19)。それと並行して、調査研究においても研究テーマに聴衆の育成を図る「教育普及」を取り上げ、2カ年かけて提言「アウトリーチ活動のすすめ」(平成12・

13年度)をまとめました。この成果は、その後のアウトリーチの広がり大きな役割を果たしました。

この20年の間に、特定非営利活動促進法(1998年)、文化芸術振興基本法(2001年)、指定管理者制度(2003年)、公益法人制度改革(2008年)、劇場法(2012年)といった法整備や制度改革が続き、公立文化施設を取り巻く環境は大きく変化しました。特に、民間企業やNPOなどが「公の施設」を運営できるよう規制緩和した指定管理者制度は公立文化施設に多大な影響を与えるものでした。こうした状況を踏まえ、地域の文化・芸術活動の拠点としての運営のあり方と評価方法について調査研究を行い、3カ年かけて「公立ホール・公立劇場の評価指針」(平成16～18年度)をまとめました。また、指針を現場で活用するための「アドバイザー派遣事業」(平成19～21年度)も実施しました。

近年では、公立文化施設の果たす役割をより広く捉えるようになったことから、安心・安全、福祉、教育、観光・商工、環境、地域・コミュニティの活力に繋がる取り組みについて国内外の詳細な事例研究を行い、「新[アウトリーチのすすめ]～文化・芸術が地域に活力をもたらすために～」(平成20・21年度)と「地域における文化・芸術活動の行政効果」(平成22・23年度)をまとめました。

2011年の東日本大震災の発生を受け、いち早く被災県における実態調査を実施し、翌年度には、災後という大きな時代の転換点を踏まえ、公立文化施設の役割を大局的見地から問い直す作業に着手するなど、時代の要請に応じて事業領域や対象を拡充しながら実践的な調査研究を行っています。

●地域創造フェスティバル

「地域創造フェスティバル」は、公立文化施設の職員を対象に、東京の会場において地域創造の事業を幅広く紹介する催しです(平成20年度に研修交流事業の一環としてスタートし、平成23年度に情報交流・調査研究等事業として事業再編)。50組を超えるクラシック音楽、現代ダンスなどの登録アーティストによるアウトリーチ・プログラムのデモンストレーションやワークショップが体験できる他、調査研究の成果を発表するシンポジウムや事業運営の参考になるセミナーが開かれるなど、アーティスト、公立文化施設の職員、専門家の貴重な交流の場となっています。

●地域創造大賞(旧JAFRAアワード)

財団設立10周年記念として平成16年度に創設されたのが、文化・芸術による地域づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰する総務大臣賞「地域創造大賞(旧JAFRAアワード)」です。設置主体の理念、ミッションをもった運営、先進性やテーマ性をもった自主企画や優れた鑑賞事業への取り組み、地域住民との協働などを基準に選考が行われ、小さな規模でも工夫を重ねて地域づくりに貢献している市町村施設や全国的な実績のある専門施設など、平成26年度までの11年間で88施設が顕彰されました。

●終了した事業

◎「芸術見本市」

国内外の舞台芸術制作者、アートカンパニー、公立ホールの運営団体などが参加し、情報交換を行うイベントを関連団体とともに主催(平成7～21年度)。各団体が情報発信を行うブース部門、アートカンパニーが短いパフォーマンスを行うショーケース部門、セミナー等により構成。

実績一覧

●雑誌「地域創造」[平成7年度～]

[項目] [取材対象等] [所在地]
 *項目名称略称:「空間のエスプリ」→空間 「体験レッスン」→体験 「イラストSCOPE」→イラスト 「海外スタディ」→海外 「文化政策の行政評価」→文化政策

◎創刊準備号(1995.12)

レポート 扶桑文化会館 愛知県扶桑町
 「アートフェスティバルIN鶴来」 石川県鶴来町
 「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」 富山県福野町
 フォーカス自治体 北九州市
 Study 水戸芸術館現代美術センター 茨城県水戸市
 運営 札幌芸術の森・アートホール 札幌市

◎創刊準備2号(1996.3)

レポート 「アート・ワーク・みの」 岡山県岡山市
 「中世の里 なみおか映画祭」 青森県浪岡町
 トピックス 金沢市民芸術村 石川県金沢市
 「九重山系黒岳山麓ミュージアム構想」 大分県湯布院町
 出前レッスン 波田町情報文化センター 長野県波田町
 レクチャーチェック 「ジェラッソ・プログラム」 米国・カリフォルニア州

◎1号(1996.11) 特集「ワークショップ事はじめ」

特集 目黒区美術館 東京都目黒区
 「IZUMIWAKU Project」 東京都杉並区
 伊丹アイホール 兵庫県伊丹市
 「神戸シアターワークス」 神戸市
 宮城県美術館 仙台市
 セゾン美術館 東京都豊島区
 ワークショップ整理学
 空間 ペトラ・ブレース(デザイナー) オランダ
 コラム:「入口の思想」
 エリア・スタディ 高知県立美術館、高知県文化環境部、砂浜 高知県
 美術館
 出前レッスン 笠懸野文化ホール 群馬県笠懸町
 座談会 「民間アトスペース事情」(スペースデネガ、サルナートホール、P
 スペース、おかやまアートファーム、乗松巖記念館)
 SCOPE 青海町総合文化会館 新潟県青海町
 「HAGI世界映画芸術祭」 山口県萩市
 春日市ふれあい文化センター 福岡県春日市
 対談 第3回ボロシリ音楽祭 坂田明×田川律 北海道帯広市

◎2号(1997.3) 特集「ホールが町をつくる」

特集 「しづかホール・ヴィオラコンクール」 兵庫県津名町
 たかすメロディーホール/朝日町サンライズ 北海道鷹栖町/
 ホール 朝日町
 公立ホール整理学
 空間 デルフィナ・スタジオ・トラスト 英国・ロンドン市
 座談会 「ホールサービスを考える」(サントリーホール、横浜アリーナ、ラ
 ブリーホール、キャラホール)
 出前レッスン 吉本興業 大阪府
 対談 平田町タウンセンター公開設計協議を巡って 山形県平田町
 SCOPE 埼玉県立近代美術館 埼玉県浦和市
 「大道芸ワールドカップ」 静岡県静岡市
 「シナール・モントリオール」 カナダ・モントリオール市
 スキヤキ・スティール・オーケストラ 富山県福野町
 スーパーSCOPE 「ブルース伊賀の乱」 三重県上野市

◎3号(1997.10) 特集「文化ボランティアを考える」

特集 「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」 長野県松本市
 能登演劇堂 石川県中島町
 たんば田園交響ホール 兵庫県篠山町
 ボランティア入門
 ボランティア整理学(黒部市国際文化セン
 ター・コラーレ)
 空間 セント・アイヴス・テート美術館 英国・コーンワル県
 出前レッスン 「仲道都代音楽学校」盛岡市都南文化会館公演 岩手県盛岡市
 座談会 「21世紀夢企画」(栗東町芸術文化会館準備室、神戸アートビレッ
 ジセンター、長崎市企画部文化国際課、見附市文化ホール)
 SCOPE 「アース・セレブレーション」 新潟県小木町
 現代美術センター・CCA北九州 北九州市
 「アジアマイムフェスティバルINとうぶまち」 長野県東部町
 「ゆうばりシネマ・ワークショップ」 北海道夕張市
 海外 米国の民営オペラ
 イラスト 「神話の里フェスティバル」 宮崎県高千穂町

◎4号(1998.3) 特集「練習場を考える」

特集 金沢市民芸術村 石川県金沢市
 新潟市音楽文化会館 新潟県新潟市
 パピオ・ピールーム(福岡市音楽・演劇練習場) 福岡市
 アクテノン(名古屋市演劇練習館) 名古屋市
 練習場整理学
 コラム:「公共圏世代の文化会館をめざして
 ～練習場を考える前提として」
 空間 ダウンタウン・コミュニティ・テレビジョン・センター 米国・ニューヨーク市
 座談会 「広報誌の現在、そして未来」(宮城県美術館、滋賀県水口町立碧水
 ホール、広島市文化振興事業団、徳島県北島町立図書館・創世ホ
 ル)
 出前レッスン 扇町ミュージアムスクエア(野外仮設劇場公演) 大阪市
 SCOPE アジア文化会館 東京都文京区
 浜田市世界こども美術館 島根県浜田市
 大阪府法人組織文化施設協議会 大阪府
 榎原市(仮称)住民活動センター 奈良県榎原市
 帯広市民オペラ 北海道帯広市
 レポート 「茂木大輔のオーケストラ人間の楽器学」 東京都三鷹市
 海外 韓国コンテンツポラリダダンス事情

◎5号(1998.10) 特集「子どもの劇場」

特集 兵庫県立こどもの館 兵庫県姫路市
 すみだトリフォニーホール(新日本フィルハー 東京都墨田区
 モニー交響楽団)
 横浜みなとみらいホール 横浜市
 越谷コミュニティセンター 埼玉県越谷市
 ピッコロシアター(兵庫県立ピッコロ劇団) 兵庫県尼崎市
 「子どものための美幌国際芸術祭」 北海道美幌町
 子どもの劇場整理学
 コラム:ニューヨークの芸術教育 普及活動
 プログラムの現状
 空間 芸術プロデュース団体「アートエンジェル」 英国・ロンドン市
 体験 ハラミュージアムアーク 群馬県渋川市
 座談会 「ネットワークしよう」(越谷コミュニティセンター、斜里町公民館夢
 ホール知床、加治木町文化会館・加音ホール、熊本県立劇場)
 SCOPE 「三島っ子アドベンチャー」 鹿児島県三島村

	豊田市美術館	愛知県豊田市
	「アートアクション京都」	京都市
	22世紀クラブ	京都市
イラスト	浄るリシアター	大阪府能勢町
海外	ヤング・コンサート・アーティスト	米国・ニューヨーク市

◎6号(1999.3) 特集「市民オペラ」

特集	岡谷市文化会館(カノラホール)	長野県岡谷市
	小杉町立文化ホール(ラポール)	富山県小杉町
	八戸市民創作オペラ協会	青森県八戸市
	市民オペラ整理学	
空間	「アート・フォー・トランジット」	米国・ニューヨーク市
体験	チケットぴあ	東京都千代田区
座談会	「アジアと交流しよう」(日立シビックセンター、アジアフォーカス・福岡映画祭実行委員会、勝央町郷土美術館、国際交流基金・アジアセンター、アジア学生文化協会)	
SCOPE	「遠野物語ファンタジー」	岩手県遠野市
	大曲市民オペラ	秋田県大曲市
	松蔭中学・高等学校	神戸市
	宮崎県立美術館	宮崎県宮崎市
イラスト	西塩子の回り舞台復元	茨城県大宮町
海外	ノルトライン・ウェストファーレン映画基金	ドイツ

◎7号(1999.10) 特集「美術館と子ども」

特集	浜田市世界こども美術館	島根県浜田市
	名古屋市美術館	名古屋市
	世田谷美術館	東京都世田谷区
	目黒区美術館	東京都目黒区
	佐倉市立美術館	千葉県佐倉市
	岡山県立美術館	岡山県
	美術館と子ども整理学(水戸芸術館現代美術センター、名古屋市美術館、浜田市世界こども美術館)	
空間	ロンドンの文化施設	英国・ロンドン市
体験	滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール	滋賀県大津市
座談会	市民劇団のたしなみ(春日市ふれあい文化センター、川西町フレンドリーぶらざ、仙南芸術文化センター・えぞこホール、長久手町文化の家)	
SCOPE	佐敷町文化センター シュガーホール	沖縄県佐敷町
	杉並区社会教育センター	東京都杉並区
	とらまる座	香川県大内町
イラスト	国立文楽劇場	大阪府
海外	米国の公的機関の芸術援助	

◎8号(2000.3) 特集「地域資源の活性化」

特集	沖縄市民小劇場あしびなー	沖縄県沖縄市
	レ・コード館	北海道新冠町
	「美濃・紙の芸術村」	岐阜県美濃市
	八千代座	熊本県山鹿市
	地域資源整理学	
空間	「エジプトづくしの文化キャンペーン」	米国・ボストン市
体験	葦山時代劇場	静岡県葦山町
座談会	「学校と一緒にできること」(ひたちなか市文化会館、栗東芸術文化会館さくら、和田山町文化会館、松山市総合コミュニティセンター)	
SCOPE	「四万十国国際音楽祭」	高知県中村市
	「取り手・サイクリングアートプロジェクト」	茨城県取手市

	大阪市立芸術創造館	大阪市
	金沢市民芸術村ドラマ工房	石川県金沢市
イラスト	国立文楽劇場	大阪府
海外	英国公的機関の芸術援助のあり方	

◎9号(2000.10) 特集「空間を活かす」

特集	「越後妻有アトリエンナーレ」	新潟県妻有6市町村
	「宮司(アート)参道プロジェクト展」	福岡県津屋崎町
	住吉神社能楽殿	福岡市
	八幡木鶏書院	福岡県八女市
	北成小学校	北海道鷹栖町
	「アートポート2000」	名古屋市
	コラム:町歩きワークショップのすすめ	
空間	ソウル・アーツ・センター	韓国・ソウル市
体験	長岡リリックホール	新潟県長岡市
座談会	「古典ニューウェーブ」(横浜市旭区民文化センター、岐阜市民会館、可児市文化芸術振興財団、熊本市文化振興課)	
SCOPE	「写真甲子園」	北海道東川町
	「『学校に伝統文化を』夏期研修プログラム」	東京都新宿区
イラスト	松竹衣裳	東京都中央区
海外	フランスの文化政策	

◎10号(2001.3) 特集「地域と大学」

特集	長久手町文化の家・愛知県立芸術大学	愛知県長久手町
	小出郷文化会館・昭和音楽大学	新潟県小出町
	京都芸術劇場・京都造形芸術大学	京都市
	金沢美術工芸大学	石川県金沢市
	「アートプロジェクト検見川」・千葉大	千葉県検見川町
空間	「ロンドンの美術スタジオ運営組織」	英国・ロンドン市
座談会	「芸術文化で町を元気に」(ゆだ文化創造館・銀河ホール、神奈川県藤野町産業建設部まちづくり課、久留米市市民文化振興室)	
体験	えぞこホール	宮城県大河原町
SCOPE	ふらの演劇工房	北海道富良野市
	「地域創造アトリエ事業」	北海道栗山町・恵庭市・札幌市
	藤野芸術の家	神奈川県藤野町
イラスト	宮内庁楽部	東京都千代田区
海外	ボストン・ニューイングランド音楽大学	米国・ボストン市

◎11号(2001.10) 特集「ホールと学校」

特集	アクトシティ浜松	静岡県浜松市
	神戸アートビレッジセンター	神戸市
	シンフォニア岩国	山口県岩国市
	「こどもみらい2001」	横浜市
	「子どもと舞台芸術出合いのフォーラム2001」	東京都渋谷区
空間	「米国シェボイガン市のアート・プロジェクト」	米国・シェボイガン市
体験	奈良市音楽療法推進室に学ぶ	奈良市
座談会	「ビバ!子どもミュージカル」(横浜市民ギャラリー、川口総合文化センター・リリア、島根県文化振興財団、大野城まどかぴあ)	
SCOPE	PHスタジオ「船をつくる話」	広島県三良坂町・吉舎町・総領町
	オペラ『日光』	栃木県日光市
	「日本の音フェスティバル」	東京都渋谷区
イラスト	八千代座改修工事竣工	熊本県山鹿市
海外	ドイツの文化政策	ドイツ

◎12号(2002.3) 特集「市民ミュージカル」

特集	浦河総合文化会館	北海道浦河町
	新潟市民芸術文化会館	新潟県新潟市
	駒ヶ根市文化会館	長野県駒ヶ根市
	横手市民会館	秋田県横手市
	十和田市民文化センター	青森県十和田市
空間	NY舞台芸術図書館改修オープン	米国・ニューヨーク市
体験	第一生命ホール/トリトン・アーツ・ネットワーク	東京都中央区
座談会	「市民とのパートナーシップを考える」(北海道文化財団、登米祝祭劇場、高知市文化振興事業団、延岡総合文化センター)	
SCOPE	浪花町十六番倉庫	北海道釧路市
	芸術家と子どもたち	東京都台東区・渋谷区
	国際芸術センター青森	青森県青森市
イラスト	小鹿野歌舞伎	埼玉県小鹿野町
海外	英国の地方美術館・博物館	

◎13号(2002.10) 特集「街とアート」

特集	大分市美術館「アート循環系サイト」	大分県大分市
	水戸芸術館「カフェ・イン・水戸」	茨城県水戸市
	とかち国際現代アート展	北海道帯広市
	三河・佐久島アートプラン21「七福2002展」	愛知県一色町
	菜の花里美発見展(アートユニバーシアード)	千葉市、市原市ほか
空間	国際現代美術展「ドクメンタ11」	ドイツ・カッセル市
体験	横浜能楽堂	横浜市
座談会	「スクール型事業を考える」(栃木県総合文化センター、りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館、おたあ芸術学校、浜松市アクティビティ音楽院)	
SCOPE	犬島アーツフェスティバル・維新派「カンカラ」	岡山県岡山市
	浜田市世界子ども美術館「アート・カメラ・ソウル市」	島根県浜田市、韓国・ソウル市
イラスト	早池峰神楽	岩手県大迫町
海外	カナディアン・ヘリテージ省	カナダ

◎14号(2003.3) 特集「アウトリーチ」

特集	ながさきアウトリーチフェスティバル	長崎県長崎市
	TAJIMAクラシックパーク/ゆふいんアート委員会	兵庫県和田山町・生野町/大分県湯布院町
	音更Ca-Coo	北海道音更町
	アウトリーチ整理学	
空間	現代芸術によるゲーツヘッドの勇気ある復興計画	英国・ゲーツヘッド地区
体験	長浜市、黒壁	滋賀県長浜市
座談会	「芸術文化によるまちの賑わいづくりを考える」(仙台市文化振興課、金沢市企画調整課、東京都生活文化局文化振興部)	
SCOPE	新世界アーツパーク事業	大阪市
	七ヶ浜国際村10周年記念事業	宮城県七ヶ浜町
	四季文化館(みの〜れ)開館事業	茨城県美野里町
	大阪市立高津小学校学習発表会文楽公演	大阪市
イラスト	金砂礫出大祭礼大田楽	茨城県金砂郷町ほか
海外	Museum Loan Network	米国

◎15号(2003.12) 特集「アートNPO」

特集	ふらの演劇工房	北海道富良野市
	harappa	青森県弘前市
	前島アートセンター	沖縄県那覇市
	ZEROキッズ	東京都中野区

JCDN(ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク) 京都市

	アートNPO整理学	
空間	Diaビーコン美術館	米国・ビーコン市
体験	たじみオープンキャンパス	岐阜県多治見市
座談会	「遊んで学べるホールづくり」(大井川町文化会館ミュージコ、原町市民文化会館ゆめはっと、大泉町文化むら、月見の里学遊館)	
SCOPE	アートコンプレックス1928	京都市
	鎌倉芸術館開館10周年記念市民参加ミュージカル「ぼくはピンチ!」	神奈川県鎌倉市
海外	米国NPOの最新動向	
イラスト	淡路人形浄瑠璃館〜淡路人形座	兵庫県南淡町

◎16号(2004.10) 特集「コンテンポラリーダンス」

特集	りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館	新潟県新潟市
	広島市安芸区民文化センター	広島市
	伊丹市立演劇ホール(アイホール)	兵庫県伊丹市
	コラム「コンテンポラリーダンスの動向」	
空間	ダンス・シアター・ワークショップ(DTW)	米国・ニューヨーク市
体験	BankArt1929	横浜市
座談会	「美術館に新風を吹き込む」(金沢21世紀美術館、熊本市現代美術館、青森県立美術館、下山芸術の森発電所美術館)	
SCOPE	まつもと市民芸術館	長野県松本市
	「第1回ジュニアオーケストラフェスティバル in 浜松」	静岡県浜松市
	「第30回木曾音楽祭」	長野県木曾福島町
	嘉穂劇場	福岡県飯塚市
海外	中国の舞台芸術環境の現況	
イラスト	邦楽器の製作を受け継ぐ若き匠たちの仕事	東京都、埼玉県

◎17号(2005.3) 特集「福祉とアート」

特集	ボーダレス・アートギャラリー NO-MA	滋賀県近江八幡市
	ゆだ文化創造館「銀河ホール」	岩手県湯田町
	久留米市ふるさと文化創生市民協会	福岡県久留米市
空間	「TOHU」のサーカスによるまちづくり	カナダ・モントリオール市
体験	にしすがも創造舎	東京都豊島区
座談会	「指定管理者制度を考える」(横浜市、とちぎ生涯学習文化財団、三重県文化振興事業団)	
SCOPE	「第2回八雲国際演劇祭」	島根県八雲村
	ゆめたろうプラザ(武豊町民会館)開館事業	愛知県武豊町
	小出郷文化会館運営にみる市町村合併について	新潟県魚沼市
海外	ウェスト・ヨークシャー・プレイハウス	英国
イラスト	壬生狂言	京都市

◎18号(2005.10) 特集「よみがえる廃校」

特集	篠山チルドレンズミュージアム	兵庫県篠山市
	あけぼの開明舎	札幌市
	精華小劇場	大阪市
	芸能花伝舎	東京都新宿区
空間	ウェールズ・ミレニアム・センター	英国・カーディフ市
体験	吹田市文化会館 メイシアター	大阪府吹田市
座談会	「ジュニアオーケストラの試み」(新潟市ジュニアオーケストラ教室、三重ジュニア管弦楽団、大田区オーケストラ・ワークショップ、みたかジュニア・オーケストラ)	
SCOPE	「淡路島アートフェスティバル2005」	兵庫県淡路島全域
	「喜多方発21世紀シアター」	福島県喜多方市
	まつもと市民芸術館「青少年のためのオペラ」	長野県松本市

海外	韓国の劇場事情最前線	
イラスト	知立市文化会館「文楽人形創作オペレッタ」 愛知県知立市	
◎19号(2006.3) 特集「合併のまちをゆく」		
特集	和田山ジュピターホール、あさご芸術の森美術館ほか	兵庫県朝来市
	佐渡市観光商工課、鼓童	新潟県佐渡市
	能登演劇堂、石川県立中島高校	石川県七尾市
	南城市文化センター シュガーホール	沖縄県南城市
空間	南揚州総合撮影所	韓国・南揚州
体験	水戸芸術館現代美術センター	茨城県水戸市
座談会	「指定管理者への脱皮～財団改革をめぐって」(相模原市民文化財団、多治見市文化振興事業団、北九州市芸術文化振興財団)	
SCOPE	富山県立近代美術館「トライ・アート2006」	富山県富山市
	茅ヶ崎市市民文化会館「ワークショップにおいてよ!ダンス編」	神奈川県茅ヶ崎市
	延岡総合文化センター「のべおかんシアター『スカバン!』」	宮崎県延岡市
海外	フィンランド・シアター・アカデミー舞踊学科	ヘルシンキ市
イラスト	国立能楽堂の養成システム	東京都千代田区
◎20号(2006.10) 特集「フェスティバルの行方」		
特集	第3回大地の芸術祭～越後妻有アートトリエンナーレ	新潟県十日町市
	コラム：各地の主要アートフェスティバル最新動向	
空間	アーツ・ハウジング・プログラム	シンガポール
体験	北海道文化財団「浪漫劇場」	北海道
座談会	「アウトリーチ事業における自治体の役割とは?」(名取市、山県市、熊本県、沖縄県)	
SCOPE	兵庫県立芸術文化センター管弦楽団	兵庫県西宮市
	もうひとつの美術館	栃木県那珂川町
	YOSHITOMO NARA + graf「A to Z」	青森県弘前市
	コンカリーニョ	札幌市
海外	シンガポールの文化政策	
イラスト	なら100年会館「お能に挑戦!」	奈良県奈良市
◎21号(2007.3) 特集「公立文化施設の新たな担い手たち」		
特集	京都府立堂本印象美術館(学校法人立命館)	京都市
	絵金蔵(絵金蔵運営委員会)	高知県香南市
	大阪市立芸術創造館	大阪市
	長崎歴史文化博物館	長崎県長崎市
	杉並公会堂(PFI杉並公会堂(株))	東京都杉並区
空間	ザ・プレイス	英国・ロンドン市
体験	静岡県立美術館	静岡県
座談会	「コンテンポラリーダンスに期待」(豊岡市民プラザ、文化フォーラム春日井、會津風雅堂、多治見市文化会館)	
SCOPE	神奈川県+神奈川県教育委員会+STスポット横浜	神奈川県
	「大阪・アート・カレイド・スコープ2007」	大阪市
海外	韓国の文化芸術政策	
イラスト	琉球王朝時代の「中秋宴」287年ぶりに再現	沖縄県南城市
◎22号(2007.10) 特集「文化と観光」		
特集	山梨県富士河口湖町	山梨県富士河口湖町
	長野県飯田市	長野県飯田市
	沖縄県沖縄市	沖縄県沖縄市
	香川県	香川県

空間	エスプラネード	シンガポール
体験	横浜市開港150周年・創造都市事業本部	横浜市
SCOPE	京都国際マンガミュージアム	京都市
	「とがびアート・プロジェクト」	長野県千曲市
	あさひサンライズホール「子ども芸術劇場」	北海道士別市
文化政策	「サイトウ・キネン・フェスティバル松本」	長野県松本市
海外	フランスの地方文化政策	
イラスト	土佐絵金歌舞伎、弁天座	高知県香南市
◎23号(2008.3) 特集「市民が支える直営ホール」		
特集	文化の里花咲ホール	岐阜県山形市
	たかすメロディーホール	北海道鷹栖町
	長崎ブリックホール	長崎県長崎市
	たんば田園交響ホール	兵庫県篠山市
	名護市民会館	沖縄県名護市
空間	北京798芸術区	中国・北京市
体験	東京都写真美術館	東京都目黒区
SCOPE	清和文楽人形芝居	熊本県山都町
	信州上田フィルムコミッション	長野県上田市
イラスト	天王寺楽所雅亮会	大阪市
文化政策	北九州芸術劇場	北九州市
海外	英国クリエイティブ・パートナーシップ事業	
◎24号(2008.10) 特集「コミュニティの底力」		
特集	出石永楽館	兵庫県豊岡市
	「河和田アートキャンプ2008」	福井県鯖江市
	高知県立美術館/はれんちしまんとプロジェクト	高知県土佐清水市ほか
	四季文化会館「みの〜れ」	茨城県小美玉市
空間	巨大アーティスト・ラン・スペース「NDSM」	蘭・アムステルダム市
体験	神奈川県立近代美術館	神奈川県鎌倉市、葉山町
SCOPE	こども人形劇場こぐま座・こども劇場やまびこ座	札幌市
	鳥の劇場	鳥取市鹿野町
イラスト	徳島の農村舞台	徳島県徳島市ほか
文化政策	兵庫県立芸術文化センター	兵庫県西宮市
海外	ケベック州の文化政策	
◎25号(2009.3) 特集「地域と向き合うアート」		
特集	神山アーティスト・イン・レジデンス	徳島県神山町
	熊本市現代美術館	熊本県熊本市
	「別府現代芸術フェスティバル」	大分県別府市
	「かえっこプロジェクト」	茨城県水戸市、ひたちなか市 ほか
空間	サドラーズ・ウェルズ・シアター	英国・ロンドン市
体験	武蔵野市民文化会館	東京都武蔵野市
SCOPE	福岡市文化芸術振興財団	福岡市
	川西町フレンドリープラザ・遅筆堂文庫	山形県川西町
イラスト	沖縄・伊是名島	沖縄県伊是名村
文化政策	「越後妻有アートトリエンナーレ」	新潟県十日町市ほか
海外	ミネソタ州の文化支援システム	
◎26号(2009.10) 特集「建物再生—もうひとつの場づくり」		
特集	まいづるRB	京都府舞鶴市
	「KOSHIKI ART PROJECT」	鹿児島県薩摩川内市
	紺屋2023	福岡市
	粟津演舞場	石川県小松市

空間	ヘイリ芸術村	韓国・ソウル市
体験	昭和日常博物館	愛知県北名古屋
SCOPE	ストリートワイズ・オペラ ワークショップ	横浜市
	せんだいメディアテーク	仙台市
イラスト	浅野太鼓	石川県白山市
文化政策	まつもと市民芸術館	長野県松本市
海外	米国における芸術文化活動による経済波及効果調査の現状	

◎27号(2010.3) 特集「レジデンスを考える」

特集	みしまジャンバスクール	鹿児島県三島村
	劇団ゆう	岩手県滝沢村
	東北芸術工科大学	山形県山形市
	オーケストラ・アンサンブル金沢	石川県金沢市
空間	4Culture	米国・キング郡
体験	高松丸亀町商店街	香川県高松市
座談会	邦楽アウトリーチ	島根県益田市
イラスト	狂言師・茂山あぎらの取り組み	大阪市、京都市
SCOPE	「神楽坂伝統芸能2010」	東京都新宿区
	しが文化芸術学習支援センター	滋賀県草津市
海外	韓国の新政府文化政策改革	

◎28号(2010.10) 特集「継続こそ力ー市立ホール・美術館の挑戦」

特集	シーハットおむら	長崎県大村市
	サザンクス筑後	福岡県筑後市
	足利市民会館	栃木県足利市
	尾道市立美術館	広島県尾道市
空間	「瀬戸内国際芸術祭2010」	香川県
体験	北九州芸術劇場	北九州市
座談会	「多角化するアウトリーチの現場を語る」(横浜市民ギャラリーあざみ野、あさひサンライズホール、埼玉県福祉部障害者福祉推進課)	
イラスト	おわら風の盆	富山市八尾町
SCOPE	アーツ千代田3331	東京都千代田区
	札幌市教育文化会館「フィギュア・アート・シアターワークショップ」	札幌市
海外	カーネギーホール ワイル・ミュージック・インスティテュート	米国・ニューヨーク市

◎29号(2011.3) 特集「目指せ“まちなか再生”」

特集	八戸ポータルミュージアムはっち	青森県八戸市
	「信楽まちなか芸術祭」	滋賀県甲賀市
	リナシティかのや	鹿児島県鹿屋市
	前橋まちなか再生事業	群馬県前橋市
空間	ルール工業地帯の文化による都市再生の取り組み	ドイツ・ルール地方
体験	京都市の文化政策/京都芸術センター	京都市
イラスト	石見神楽	島根県益田市
SCOPE	月見の里学遊館	静岡県袋井市
	きむたかホール/あまわり浪漫の会	沖縄県うるま市
海外	英国アーツカウンシル	

◎30号(2011.10) 特集「小さな町の挑戦はつづく」

特集	久世エスパスランド	岡山県真庭市
	飛生アートコミュニティ	北海道白老町
	財団法人星のふるさと	福岡県八女市
	「中之条ピエンナーレ」	群馬県中之条町

	新普代村総合発展計画	岩手県普代村
空間	BankART1929「新・港村」	横浜市
体験	「イザ!カエルキャラバン」	神戸市
座談会	「地元演奏家によるアウトリーチのいま」(熊本県立劇場、春日市ふれあい文化センター、幸田町民会館、長崎ブリックホール)	
イラスト	雄勝法印神楽	宮城県石巻市
SCOPE	「静岡コミュニティダンス・プロジェクト」	静岡市
	「南砺市いなみ国際木彫刻キャンプ」	富山県南砺市
海外	フランスの舞踊環境の変遷	

◎31号(2012.3) 特集「支えるアート」

特集	高松市芸術士派遣事業	香川県高松市
	NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター	横浜市
	桜川芸術祭Ⅲ「晴れどきどき、お散歩アート。」	茨城県桜川市
	福島県立いわき総合高等学校	福島県いわき市
	リアス・アーク美術館	宮城県気仙沼市
空間	仁川広域市	韓国
体験	奈良県立図書館情報館	奈良県奈良市
イラスト	八戸えんぶり	青森県八戸市
SCOPE	北方町生涯学習センター「きらり」	岐阜県北方町
	「おとどけアート:転校生はアーティスト」	札幌市
調査研究報告	東日本大震災以降の被災県における公立文化施設及び文化行政に関する実態調査	
海外	ビーレフェルト市の文化行政	ドイツ・ビーレフェルト市

◎32号(2012.10) 特集「ホール事業20年の展望」

特集	福野文化創造センター「ヘリオス」	富山県南砺市
	札幌芸術の森	札幌市
	浄るりシアター	大阪府能勢町
	北島町立図書館・創世ホール	徳島県北島町
空間	ウーファースタジオ	ドイツ・ベルリン市
体験	世田谷美術館	奈良県奈良市
座談会	「公立ホールのあるべき運営とは?」(りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館、四季文化館みの〜れ、シティホールプラザ「アオーレ長岡」)	
イラスト	鬼剣舞	岩手県北上市
SCOPE	文化創造アトリエ「アミーゴ」	埼玉県入間市
	一般社団法人ISHINOMAKI 2.0	宮城県石巻市
海外	ソウル文化財団	韓国・ソウル市

◎33号(2013.3) 特集「つながる力〜プラットフォームを考える」

特集	アトラボはしもと	相模原市
	せんだい演劇工房10-BOX	仙台市
	鞆の津ミュージアム	広島県福山市
	STスポット/横浜市芸術文化教育プラットフォーム	横浜市
空間	別府現代芸術フェスティバル2012「混浴温泉世界」	大分県別府市
体験	豊島区文化デザイン課	東京都豊島区
座談会	小さな美術館の冒険(つなぎ美術館、川口市立アートギャラリー・アトリア、直方谷尾美術館)	
SCOPE	「あきたアートプロジェクト」	秋田県秋田市
	「知多半島春の音楽祭2013」	愛知県武豊町ほか
イラスト	沖縄県立芸術大学	沖縄県那覇市
海外	カリフォルニア芸術大学 コミュニティー・アーツ・パートナーシップ(CAP)	米国・サンタクラリタ市

◎34号(2013.10) 特集「これからのアートセンター」

特集	山口情報芸術センター [YCAM]	山口県山口市
	アーツ前橋	群馬県前橋市
	市原湖畔美術館	千葉県市原市
	静岡市クリエイター支援センター	静岡市
空間	ナショナル・シアター・ウェールズ [NTW]	英国・カーディフ市
体験	静岡県舞台芸術センター (SPAC)	静岡県
座談会	「ワンコインコンサートの可能性」(りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館、三重県総合文化センター、ハッピーネス・ヒル・幸田)	
SCOPE	公益財団法人名古屋市民文化振興事業団	名古屋市
	宜野座村文化センター・がらまんホール	沖縄県宜野座村
イラスト	檜枝岐歌舞伎	福島県檜枝岐村
海外	欧州連合の文化政策	

◎35号(2014.3) 特集「大学と地域連携」

特集	昭和音楽大学×しんゆり・芸術のまち	川崎市
	東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」	東京都台東区
	北海道教育大学岩見沢校	北海道岩見沢市
	学生のまち推進条例×金沢学生のまち市民交流館	石川県金沢市
空間	文来創作村	韓国・ソウル市
体験	東京都現代美術館	東京都江東区
イラスト	農村舞台アートプロジェクト	愛知県豊田市
座談会	「吹奏楽のまちづくりに挑む」(河口湖ステラシアター、浜松市文化振興財団、鯖江市秘書企画課(吹奏楽フェスティバル))	
SCOPE	三重県総合文化センター	三重県
	「Dance 4 all 2013 コミュニティダンス・フェスティバル」	京都市
海外	ユネスコの文化政策—無形文化遺産事業を中心に	

◎36号(2014.10) 特集「地域のストックを再利用する」

特集	太陽の森 デイマシオ美術館	北海道新冠町
	城崎国際アートセンター	兵庫県豊岡市
	もりおか町家物語館	岩手県盛岡市
	鶴岡まちなかキネマ	山形県鶴岡市
空間	ギルマン・バラックス	シンガポール
体験	京都造形芸大ウルトラファクトリー	京都市
座談会	「オーケストラを社会に生かす」(神奈川県立音楽堂、八尾市文化会館ブリズムホール、日本センチュリー交響楽団)	
イラスト	相模人形芝居「下中座」	神奈川県小田原市
SCOPE	「仙台クラシックフェスティバル2014」	仙台市
	金沢21世紀美術館10周年	石川県金沢市
海外	刑務所演劇—アウフブッフ	ドイツ・ベルリン市

別冊

伝承のとらえ

雑誌「地域創造」に1998年から2003年まで掲載された「イラストSCOPE」をまとめたもの。[発行日]2004年3月31日

公立文化施設職員のための制作基礎知識

「地域創造レター」の連載として1997年からスタートした「制作基礎知識シリーズ」を中心にまとめた芸術文化領域と制作実務についての入門書。[発行日]2004年3月31日

海外ケーススタディ 芸術文化の非営利活動/地域振興/制度

雑誌「地域創造」に1997年から2005年まで掲載された海外事例をまとめたもの。[発行日]2005年3月31日

●調査研究[平成6年度～]

[年度]	[調査研究名]
6年度	地域におけるアーツ共感促進のための調査研究 地域におけるアーツ創造拠点づくり調査研究
7年度	地域における芸術環境づくりの状況調査
8年度	地域の芸術環境づくりのための基礎調査 公共ホール・劇場とボランティアに関する調査 美術館系文化施設の情報システムに関する調査
9年度	公立ホールにおけるネットワーク活動に関する調査研究 ホール文化形成のために～ホール文化形成のための調査研究～ 地域文化施設に関する調査
10年度	公共ホールの舞台技術に関する調査研究 ホールにおける市民参加型事業に関する調査研究 公立文化施設の建築等に関する調査研究
11年度	公共ホールの計画づくりに関する調査研究
12年度	地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究 地域の公立文化施設に関する調査
13年度	地域文化施設における芸術普及活動に関する調査研究「アウトリーチ活動のすすめ」
13・14年度	地域文化施設における財団運営に関する調査研究
15年度	地域文化施設に活力を—これからの運営のあり方を考える—
16年度	公立文化施設における政策評価のあり方等に関する調査研究—指定管理者制度を中心に—
18年度	公立文化施設における政策評価等のあり方に関する調査研究—公立ホール・公立劇場の評価指針— 指定管理者制度導入状況等調査
19年度	指定管理者制度における公立文化施設の運営と財団のあり方に関する調査研究—地方公共団体における文化政策のあるべき姿を考える— 地域の公立文化施設実態調査
19・20年度	これからの公立美術館のあり方についての調査研究
20・21年度	文化・芸術による地域政策に関する調査研究「新「アウトリーチのすすめ」～文化・芸術が地域に活力をもたらすために～」
21・22年度	「公立美術館の公益性に関する指針」についての調査研究
22年度	公立ホール・公立劇場の評価指針の活用に関する調査研究「『公立ホール・公立劇場の評価指針』活用のすすめ—運営・事業レベルアップの第一歩」 地域の公立文化施設等に関する実態調査 市町村合併と公立文化施設に関する調査
22・23年度	文化・芸術を活用した地域活性化に関する調査研究「地域における文化・芸術活動の行政効果」
23年度	東日本大震災以降の被災地における公立文化施設及び文化行政に関する実態調査
24・25年度	災後における地域の公立文化施設の役割に関する調査研究—文化的コモンスの形成に向けて—
26年度	地域の公立文化施設実態調査
26・27年度	地域における文化・芸術活動を担う人材の育成に関する調査研究

●地域創造大賞(総務大臣賞)受賞施設

[平成16～26年度]

地域創造では、文化・芸術による地域づくりに特に功績のあった公立文化施設を顕彰しています。これまで11年間で88施設が受賞し、その活動を広く全国に紹介しました。

(*平成16～20年はJAFRAアワード)

(*施設名は受賞時のもの)

◎第1回[平成16年度]



●富良野演劇工場

NPO法人に公立文化施設の運営を委託した公設民営の先駆け。演劇の創造拠点づくりを標榜する市民が主体となり日本初のNPO法人ふらの演劇工房を設立。富良野を愛する演劇人との連携によりコミュニティに新たな求心力を生みだし、「演劇のまち富良野」のイメージの発信に多大な貢献を行った。[開館]2000年



●盛岡劇場

「演劇によるまちづくり」という旗印を掲げて活動。民間劇場の草分けとして市民に親しまれた旧盛岡劇場(大正2年開館)の育んだ土壌を活かし、その跡地に建設した新劇場で演劇愛好家を育成。多彩な事業を展開し、地域の人材育成に多大な貢献を行った。[開館]1990年



●世田谷文化生活情報センター(世田谷パブリックシアター)

東京に立地した都市型公立文化施設の代表。高度な専門施設として学芸的な取り組みを行い、ドラマリーディング、ワークショップなどの手法を定着させた。また、コンテンポラリーダンスの新しい情報を発信し、演劇において海外のアーティストとコラボレーションを行うなど、国際的にも注目されている。[開館]1997年



●小出郷文化会館

広域行政として公立文化施設の設置と運営に取り組む。音楽大学等高等教育機関と連携を図り、ホールを拠点に活動する子どもから大人までの幅広い文化団体の育成を行い、地域の人材育成に尽力。特に、広域をカバーするアウトリーチ事業によりクラシック音楽を普及し、多大な成果を上げている。[開館]1996年



●岡谷市文化会館(カノラホール)

地元諏訪に伝わる「御柱祭」を題材にした創作オペラ「御柱」をプロと市民の交流によりプロデュースし、著しい舞台成果を収める。また、市民オーケストラや合唱団の育成など、オペラの担い手の育成にも尽力。地域の資源を活かした芸術文化の創造を市民とともに推進し、誇りある地域づくりを実践している。[開館]1989年



●京都芸術センター

中心市街地の廃校をアートセンターとして活用。行政、地元住民、アーティストの参加により、アーティストの創造環境の支援と地元住民との交流の両立を図るルールづくりを実現。伝統芸能、演劇、ダンス、美術などに関わる人々のネットワーク拠点となり、近代建築の資源を残した、遊休施設の新しい活用モデルとして全国に刺激を与えた。[開館]2004年



●兵庫県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)

演劇による青少年の健全育成を掲げ、日本初の付属「県立ピッコロ劇団」を設立して長年にわたって活動。また、「ピッコロ演劇学校」「ピッコロ舞台技術学校」により人材育成に努め、阪神・淡路大震災では心の支援活動を行うなど、公共劇団として地域に多大な貢献を行った。[開館]1978年



●伊丹市立演劇ホール(アイホール)

都市近郊の演劇専門ホールとして、アーティストの育成を標榜し、実践した先駆け。関西の小劇場演劇、コンテンポラリーダンスの拠点となるとともに、小・中・高校生を対象にした演劇活動にも尽力するなど、地元をはじめ関西地域全体の芸術文化振興に多大な貢献を行った。[開館]1988年



●佐敷町文化センター・シュガーホール

町立のクラシック専用ホールとして、クラシック音楽を活かした地域づくりのあり方を総合的に提案。行政、教育委員会、専門家が一体となり、学校教育、生涯学習、芸術文化、コミュニティ活動を音楽を軸にして連携させた不断の努力は、町立文化施設の範となるもの。[開館]1994年

◎第2回[平成17年度]



●あさひサンライズホール

北海道の広域ネットワークに積極的に参加し、直営の会館として住民や学校と緊密な連携を図り、アウトリーチや住民参加などの開かれた運営によりコミュニティ・ホールとして地域を活性化した。[開館]1994年



●水戸芸術館

開館にあたり「市予算の1%ルール」を掲げ、芸術監督制を導入した総合芸術文化センターの先駆け。水戸室内管弦楽団の創設、現代美術センターの先進的な企画展など、長年にわたり芸術文化の振興に貢献した。[開館]1990年



●横浜能楽堂

一流の演者と連携し、流派を横断した独創的・学芸的な企画公演を実現。また、子どものための狂言ワークショップ、バリアフリーなどにより古典芸能の普及に尽力した。[開館]1996年



●新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)

長年にわたるジュニアオーケストラ教室の運営をはじめ、充実した鑑賞事業、新潟発を標榜するレジデンシャル・コンテンポラリーダンス・カンパニーの創設など、全国ネットの拠点施設としての重責を担う。[開館]1998年



●金沢市民芸術村

煉瓦づくりの旧紡績工場を再生した先駆的な市民創作支援施設(練習場)。市民ディレクターを登用した市民の自主運営により、「24時間365日利用」「自主企画事業」を実現し、全国に多大な影響を与えた。[開館]1996年



●岡山県立美術館

「岡山の美術」をテーマに個性的な展覧を企画。市民ボランティアや学校と連携した教育普及活動に力を注ぐとともに、県下75施設を束ねる博物館ネットワークの中心として県域の文化向上に貢献した。[開館]1988年



●沖縄市民小劇場 あしびなー

あしびなーとは「遊びの庭」の意味。沖縄のアーティストと連携し、国際文化観光都市としての再生を目指す沖縄市の文化拠点として、多彩な文化・芸能事業を展開した。[開館]1998年

◎第3回 [平成18年度]



●喜多方市喜多方プラザ

舞台技術ボランティア「うらかた」など市民参加によるホール運営の先駆け。また、市民とともに街中を使った総合芸術祭「喜多方発21世紀シアター」を新たに立ち上げるなど、地域振興の旗振り役として尽力した。[開館]1983年



●世田谷美術館

1986年の開館当初から、生活の中に美術を取り入れる普及事業に取り組み、年間8000人のこどもたちを招く美術鑑賞教室、学生インターンによる出張授業などを実施。地域に立脚した公立美術館の範として全国をリードした。[開館]1986年



●すみだトリフォニーホール

墨田区の「音楽都市づくり」の拠点として、新日本フィルハーモニー交響楽団のフランチャイズを実現。全国に先駆けたアウトリーチ事業や地方都市オーケストラフェスティバルなどにより、音楽による地域づくりに貢献した。[開館]1997年



●南砺市福野文化創造センター

ボランティアの手づくりによるワールドミュージック・フェスティバル「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」を毎年開催。市民らによるスティール・ドラム・オーケストラが誕生するなど、異文化交流により地域の活性化に貢献した。[開館]1991年



●静岡県舞台芸術公園・静岡芸術劇場

劇場、稽古場、研修交流センター、宿舎を備えた日本有数の舞台芸術創作施設。静岡県舞台芸術センター (SPAC) を設立し、芸術監督と専属劇団による運営を実践。国際的な取り組みによる地域の新たな展望を拓いた。[開館]1997年



●長久手町文化の家

開館にあわせて文化振興の基本理念をまとめた「長久手町文化マスタープラン」を策定した先駆け。町劇団、町合唱団を旗揚げし、地元芸術大学との連携によるオペラ事業などにより地域文化の向上に貢献した。[開館]1998年



●浄るりシアター

伝統芸能の素浄瑠璃に人形と囃子を付けた「能勢人形浄瑠璃」をプロデュース。地域資源を活かした創造活動と人材育成を推進し、「浄瑠璃の里文化振興条例」を策定するなど、芸術文化による地域づくりを牽引した。[開館]1993年



●**浜田市世界こども美術館創作活動館**
世界の子どもの作品を無審査で展覧する「アンデパンダン展」や1日かけて鑑賞と創作を体験するミュージアム・スクールなど、「みること、つくること」を通して子どもたちの創造的な環境づくりに尽力した。
[開館]1996年



●**多治見市文化会館**
マルチ財団が運営する文化会館として、生涯学習と文化・芸術を組み合わせた新しい事業領域を開拓。市民の教えたい人・教わりたい人をマッチングする体験型講座「たじみオープンキャンパス」を入口に多彩な事業を展開し、生活と共にある文化・芸術を推進した。
[開館]1981年



●**高知県立美術館**
県内唯一の本格的美術館として意欲的な企画展と普及事業を実施。併設されたホールにおいてダンス・現代演劇・映画・音楽などの新しい表現に触れる機会を提供し、総合アートセンターとして県域の文化の向上に貢献した。
[開館]1993年



●**幸田町民会館**
開館以来毎月開催しているお茶・お話付きの低料金コンサートや、地元演奏家による全小中学校へのアウトリーチ、少年少女合唱団、ユース・ウィンドオーケストラ、大人のヴァイオリン教室など、幅広い世代に向けた普及事業を展開。スタッフ力により住民の目線に合わせた運営を実現した。
[開館]1996年

◎第4回 [平成19年度]



●**仙南芸術文化センター(えずこホール)**
「住民が創り、住民が支える」をコンセプトに、ヴァイオリンアカデミー、ギターアンサンブル、ウィンドアンサンブル、男声合唱団、住民劇団などの文化団体を結成。参加者総数約3,000人という開館10周年記念事業として総合音楽劇を実現するなど、住民の文化リテラシーの向上に貢献した。
[開館]1996年



●**朝来市文化会館(和田山ジュピターホール)**
旧和田山町時代から少年少女オーケストラの拠点としてクラシック音楽の普及に力を入れ、学校などへのアウトリーチ事業を精力的に展開。但馬地域の広域連携にも努め、合併後も年間30回～40回の事業を行うなど、アウトリーチ事業の旗手として尽力した。
[開館]1992年



●**富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ**
若手演出家を公募する「キラリ☆ふじみで創る芝居」や多彩な市民参加ワークショップなど、アーティストの多い東京近郊の立地を活かした芸術監督制によるホールの運営モデルを提案。アーティストと市民の橋渡しによる地域の活性化に貢献した。
[開館]2002年



●**熊本市現代美術館**
「生人形」「いけばな」など地域文化に着目したユニークな企画展で熊本の文化力を発信。また、ボランティアによるロビーコンサートや映画上映会を催し、夜間開館を実践するなど「まちなか美術館」として賑わいづくりに貢献した。
[開館]2002年



●**江東公会堂(ティアラこうとう)**
東京シティ・バレエ団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の本拠地として、ジュニアバレエ教室、ジュニアオーケストラなど人材育成に尽力。子どもたちと芸術団体の共演による『くるみ割り人形』が22回を数え、「江東区のくるみ」として定着するなど、ホールを拠点にした文化活動の活性化に貢献した。
[開館]1994年

◎第5回 [平成20年度]



●**国際芸術センター青森(ACAC)**
宿泊棟を有するユニークな芸術センターとして、国内外のアーティストが地域に滞在するアーティスト・イン・レジデンス事業を推進。展覧会、ワークショップ、セミナーなどを開催するとともに、青森におけるコンテンポラリー・アートの拠点としてネットワークづくりに尽力した。
[開館]2002年



●**河口湖ステラシアター**
町の観光施策として富士山が借景できる野外音楽堂を建設。ポップスコンサートの誘致を皮切りに、ボランティアなどの人材育成にも取り組み、2002年には佐渡裕監督による「富士山河口湖音楽祭」を立ち上げるなど、ホールを拠点にした観光振興と人材育成への道をひらいた。
[開館]1995年



●**セブ浜国際村**
地域の交流拠点として国際交流イベントを実施するとともに、音楽家や演出家などのアーティストと長年にわたる交流を推進。子どもを中心としたミュージカルやパーカッションアンサンブルのグループを育成するほか、アーティストと共にさまざまな企画を実現し、感性豊かな地域づくりに貢献した。
[開館]1993年



●東京都写真美術館

スタッフが共有できる年間目標の設定や多数の企業・団体に呼びかけた維持会員による外部資金の調達など、民間発想を活かした運営改革を推進。異なる企画展を同時開催する「ミュージアム・コンプレックス」により年間約25本の多彩な展覧会を開催するなど、賑わいのある美術館を実現した。【開館】1995年



●武蔵野市民文化会館

クラシックの音楽会を中心に年間100本に及ぶ主催公演を実現。アンケート調査により会員が希望する音楽会を手頃なチケット価格で提供。独自招聘による海外アーティストや新進演奏家の紹介も行うなど、都市近郊の立地を活かした音楽会が身近に楽しめる環境づくりに尽力した。【開館】1984年



●黒部市国際文化センター コラーレ

「市民みずからの意志(企画)と手(ボランティア)による運営」を掲げ、準備段階から市民参画によるホールづくりを推進。実行委員会による「コラーレ・ワールド・フェスティバル」[24時間ぶっとおしライブ]や子どもを対象とした「リトルカルチャークラブ」など、市民の文化活動の活性化に貢献した。【開館】1995年



●松江市八雲林間劇場(しいの実シアター)

劇団あしぶえと旧八雲村の協働により建設された公設民営劇場の草分け。諸外国からアマチュア劇団を招聘する「八雲国際演劇祭」を3年に1度開催し、小学生から大人まで多くの住民がボランティアとして支えるなど、演劇を通じた多文化理解により地域の国際化に貢献した。【開館】1995年



●山口情報芸術センター[YCAM]

日本では珍しいメディア・アートの拠点。コンピューター、映像などの専門スタッフを擁し、国内外のアーティストの滞在制作によるメディア・アートやパフォーマンスなどの作品を発表。教育普及にも力を入れ、先進的な表現に対する市民の文化リテラシーの向上に貢献した。【開館】2003年



●北九州芸術劇場

「創る」「育つ」「観る」をコンセプトに演劇事業を展開。オリジナル作品のプロデュース、地域文化リーダーとなる若手演劇人の育成、小中学校での表現教育プログラム、多彩な鑑賞事業など、総合的なプログラムを展開し、地域に立脚した公立劇場のあり方を提示した。【開館】2003年



●名護市民会館

ジュニアオーケストラ、児童劇団、少年少女合唱団の育成を行うほか、「こども1万人の個展」や小中学校への積極的なアウトリーチなど、芸術文化による子どもたちの人材育成に尽力。沖縄本島北部の中核施設としてそのスキルとスタッフ力を幅広く活かし、地域づくりに貢献した。【開館】1985年

◎第6回[平成21年度]



●西和賀町文化創造館 銀河ホール

高齢者の社会参加と生きがいづくりを目的とした高齢者演劇や、地域間交流を目的とした地域演劇祭など、特色ある事業を展開。人口約7,000人というきわめて小規模な町の演劇専用ホールとして、演劇を通じた町民福祉の向上に貢献した。【開館】1993年



●小美玉市四季文化館(みの〜れ)

徹底した市民参画によるホール運営を推進。約200名の市民実行委員会が毎年、各種事業計画に携わり、市民劇団・楽団を含むボランティア組織の「みの〜れ支援隊」約160名がホールを支えるなど、ホール事業を通じたまちづくりの新たな人材育成のあり方を提示した。【開館】2002年



●足利市民会館

1966年に開館して以来、小学生、中学生等を市民会館に招いた質の高い芸術鑑賞教室を開くなど、40年以上にわたり鑑賞者の育成に尽力。2007年からは現代版「足利学校」の創設プロジェクトを発足し、市民ミュージカルやユースオーケストラへの取り組み、さらには伝統芸能の継承・普及など、市民の生涯学習に長年にわたって貢献した。【開館】1966年



●彩の国さいたま芸術劇場

芸術監督を擁する首都近郊の大型複合文化施設として、開館以来、クラシック音楽・コンテンポラリーダンス・現代演劇の国際的なプロダクションを精力的に展開。また、蜷川幸雄が立ち上げた二つの演劇集団、55歳以上のメンバーからなる「さいたまゴールド・シアター」および若手俳優による「さいたまネクスト・シアター」への支援に取り組み、公立劇場の新たな道と演劇の可能性を拓いた。【開館】1994年



●石川県立音楽堂

公立ホールと地域オーケストラの一体運営を実現。オーケストラ・アンサンブル金沢のノウハウを活かし、邦楽・ポピュラーなどのコラボレーション、地域間連携と市民協力によるオペラ、アウトリーチなどを定期的に行い、地域オーケストラによるホール運営と地域活性化への新たな道を拓いた。【開館】2001年



●静岡音楽館 AOI

高い理念を掲げ、芸術監督と専門家の企画会議委員などによりクラシック音楽を中心とした事業を推進。1995年に開館して以来、若い音楽家を積極的に登用し、現代音楽の新作委嘱を続けるとともに、特色ある「子どものための音楽ひろば」を運営するなど、音楽文化の発展と普及の両方に尽力した。[開館]1995年



●可児市文化創造センター(ala)

地域課題と向き合い体系的に位置づけたアウトリーチや市民参加事業、準フランチャイズ契約を結んだ職業芸術団体による鑑賞事業などを実施。劇場監督制により地域劇場のマネジメントに取り組み、まちづくりの拠点として市民生活の質の向上に貢献した。[開館]2002年



●福岡アジア美術館

アジアの近現代美術作品を系統的に収集・展示する専門館として、日本におけるアジア美術の評価を高めた旗手。「福岡アジア美術トリエンナーレ」やアジアの美術作家・研究者の招聘事業を通じて、アジアと地域を結ぶ多文化交流を実現した。[開館]1999年



●兵庫県立芸術文化センター

芸術監督のもと創設された専属楽団を柱に、プロデュースオペラ公演、定期演奏会、青少年芸術体験事業、県内各地でのアウトリーチ事業を精力的に展開。併せてプロデューサー制による劇場経営を行い、多彩なジャンルで年間公演入場者数50万人を達成するなど、阪神・淡路大震災の復興のシンボルとして地域の発展に貢献した。[開館]2005年



●熊本県立劇場

県立劇場としてのノウハウを活かし、市町村ホールに対するソフト事業の提供、職員の研修受け入れ、舞台制作スタッフの育成、市町村との共催によるアウトリーチ事業などに尽力。リーダー館として地域の文化力向上に貢献した。[開館]1982年



●サザンクス筑後

「市民の参加・育成・創造の場」を目指して、地元大学との連携により幅広いジャンルで市民・学生・子どもの育成事業を継続的に展開。創作ミュージカルのレパートリー「彼方へ、流れの彼方へ」を生み出すなど、地域に根ざした活動の蓄積により文化力の向上に貢献した。[開館]1995年

◎第7回 [平成22年度]



●せんだいメディアテーク

オープンスペースのフロアをチューブ状の透明な柱で支えた先鋭的な建物を活かし、あらゆるバリアから自由であることなどを表明したメディアテーク憲章により、市民、アーティスト、学生、スタッフなどが繋がった多彩な活動を展開。新たな文化発信拠点として地域の活性化に貢献した。[開館]2001年



●大村市体育文化センター(シーハットおおむら)

県内在住・出身演奏家によるOMURA室内合奏団を育成し、県内初のプロ合奏団を目指してその人材力を活かした出張演奏、クリニック、アウトリーチ事業などを広域で展開。市民ミュージカルなどの参加型事業にも取り組み、音楽による地域の文化力の向上に貢献した。[開館]1998年



●日立シビックセンター

市民による「ひたち市民オペラによるまちづくりの会」との協働により、長年にわたりオペラ事業を展開。市民オペラのネットワーク会議「全国オペラフォーラム」を主催するほか、子どもオペラ学校、地域でのオペラサロンなど、オペラによるまちづくりの拠点として貢献した。[開館]1990年



●霧島国際音楽ホール(みやまコン서트)

「技術的にも、人間的にも自立できる音楽家の育成」を目指し、1980年にスタートしたアジアを代表する霧島国際音楽祭の拠点施設。30年にわたり、多くの地元ボランティアによって支えられるなど、「音楽のまち霧島」のシンボルとして音楽文化の発展と普及に貢献した。[開館]1994年



●入善町下山芸術の森発電所美術館

大正15年建設の煉瓦造りの水力発電所を美術館として活用。天井高10メートルという歴史的建造物の魅力的な大空間での滞在制作を実現し、その場所できしかできない先鋭的な展覧会により、現代アートの可能性を拓くとともに入善町の名前を全国に発信した。[開館]1995年



●福岡県立博物館

博物館がコーディネートを行い、地域の貴重な文化資源である「漆(うるし)文化」を伝えるとともに、現代アートと地場産業である漆工芸をつなぐまちなか芸術祭「会津・漆の芸術祭」を開催。歴史と現代をリンクした博物館による地域づくりの新境地を開拓した。[開館]1986年



●三鷹市芸術文化センター

音楽企画員・演劇企画員による充実したオリジナル事業を展開。みたかジュニア・オーケストラの育成や地元ゆかりの演奏家による市内の全小学校へのアウトリーチ、若手劇団の登竜門「MITAKA Next Selection」など、芸術振興と普及を両立させた運営を実現し、「文化の薫り高い三鷹」の推進に貢献した。[開館]1995年



●北方町生涯学習センター きらり

岐阜県一面積の小さな町に誕生した“住民主役のまちづくり”の拠点施設として多彩な事業を展開。北方第九コンサート、ふれあい合唱集会、文化祭、音楽芸能の集いなど、世代を越えた文化による生涯学習を推進し、活力ある地域づくりに貢献した。[開館]2006年



●春日井市民会館／春日井市芸文館

隣接する市民会館と芸文館を一体運営し、文芸・美術・舞台・宣伝・総務の5グループ制によりジャンルを横断した事業を展開。専門スタッフの発意を活かし、全国ツアーを実現した「のだめ音楽会」をはじめ、交流スペースを活用した無料のコンサート・展示などを多数開催し、活力ある運営を実現した。[開館]1966年／1999年



●滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール

西日本に初めて誕生した本格的なオペラ劇場として、開館当初から芸術監督によるプロデュースオペラや子どものためのオペラを制作。日本で唯一の専属声楽アンサンブルを有し、アウトリーチや地域の演奏団体・ホールとの協働事業を行うなど、“関西オペラの拠点”として音楽文化の振興と普及に貢献した。[開館]1998年



●豊岡市民プラザ

再開発ビルの空き店舗をコミュニティーホールに再生し、まちの賑わいづくり、市民の文化活動支援、子育て支援を目的に市民参加型事業を精力的に推進。市民参加演劇の創作、人材育成のためのアートスクール、学校へのアウトリーチ、地元演奏家による月例サロンコンサート、高校生バンドのフェスティバルなど、文化で市民が育つ環境づくりに尽力した。[開館]2004年



●浜田市立石正美術館

人口6,000人余りの旧・三隅町に誕生した日本画家・石本正の個人美術館を核に地域づくりを推進。500回を超えた週末のミュージアムパフォーマンス、桜・桐田・和紙など地元の宝を発信する取り組み、子どもたちも参加してつくりあげた塔天井画など、約40名のミュージアムサポーターとともに開かれた運営を実現し、地域の豊かな生活の実現に貢献した。[開館]2001年

◎第9回 [平成24年度]



●札幌芸術の森

広大な森に、野外美術館、札幌芸術の森美術館、各種クラブ体験工房、アートホール、野外ステージ、アトリエなどが点在した、鑑賞・発表・体験・滞在制作の機能を備えた日本屈指の総合アートセンター。市民に親しまれる工房運営、子どものための育成事業、街中と連携したサッポロ・シティ・ジャズなど、長年にわたる活動により市民の文化力の向上に貢献した。[開館]1986年



●ひたちなか市文化会館

保育所・幼稚園・小学校・中学校の全学年を対象にした芸術鑑賞事業を実施。昭和60年度から平成23年度までの27年間で、計508公演、38万3千人が鑑賞。また、音楽のアウトリーチ事業にも力を入れるなど、地道で継続的な取り組みにより、子どもたちの育成に尽力した。[開館]1984年



●飯田文化会館

人形劇人・市民・行政が三位一体となり、1979年から人形劇フェスティバルを開催。プロ・アマチュア併せて約400団体が参加する国内最大規模の祭典を、事務局として全面的にサポート。また、人形劇定期公演や学校への出前公演を実施するなど、飯田市が推進する人形劇のまちづくりの拠点として、地域ブランドの確立に貢献した。[開館]1972年



●島根県芸術文化センター グラントワ

島根県立いわみ芸術劇場と島根県立石見美術館の複合施設。島根邦楽集団、グラントワ合唱団、グラントワ弦楽合奏団、グラントワ・ユース・コールのフランチャイズ楽団を育成。また、毎週日曜日の石見夜神楽定期公演、年4回の益田糸繰り人形定期公演を企画するなど地元の民俗芸能をホール事業として積極的に発信し、圏域の文化力の向上に貢献した。[開館]2005年



●真庭市久世エスパスセンター

旧久世町の「文化のまちづくり宣言」によって誕生したシンボル施設。少年少女合唱団、混声合唱団、管弦楽団、和太鼓クラブのフランチャイズ団体を育成。開館15年で500回を超える多彩な鑑賞事業、プロと市民が競演するエスパス第九演奏会など、稼働率90%を誇る活発な活動により活力ある地域づくりに貢献した。[開館]1997年



●とぎつカナリーホール

文化の森公園内にあるホール・練習室・児童館・民俗資料館の複合施設。小学校・中学校の全学年を対象にした芸術鑑賞事業「カナリー・ステージ・ナイン」、大学や文化団体と連携した「カナリー音の博物館」など、子どもを対象にした無料プログラムを充実。町民の文化活動支援と子どもたちの育成事業により、潤いある地域づくりに貢献した。[開館]2002年



●三股町立文化会館

地元の劇団こぶく劇場と連携し、戯曲講座、小・中・高校生を対象にした演劇ワークショップ、小学校への巡回公演、駅舎や遊休施設を活用したまちなか演劇フェスティバル等を実施。2011年には開館10周年記念として町民による「おはよう、わが町」をプロデュースするなど、町民参加型演劇により活力ある地域づくりに貢献した。[開館]2001年



●武豊町民会館(ゆめたろうプラザ)

施設構想段階から町民参画を推進。特定非営利活動法人武豊文化創造協会(NPO たいとよ)を設立し、多彩な自主事業を実施。春の音楽祭、ゆめプラザサロンコンサート・モーニングコンサート、武豊町民劇団、各種講座などに加え、ネットワークにも積極的に取り組み、近隣5市5町とともに「知多半島春の音楽祭2013」を実現。町民参画により文化力の向上に貢献した。[開館]2004年

◎第10回 [平成25年度]



●十和田市現代美術館

十和田市の新たなまちづくり「Arts Towada」計画の中核施設。国内外で活躍する現代アーティストの親しみやすいコミッションワークを常設展示するユニークなコンセプトにより観光施設としても定着。屋外のアート広場、商店街との交流事業、十和田奥入瀬芸術祭、多彩なイベントなどにより地域の活性化に貢献し、美術館の新たなあり方を提示した。[開館]2008年



●つなぎ美術館

「緑と彫刻のあるまちづくり」のシンボル施設。「人間の創造力による美と自然の美は一体」との考えから重盤岩(熊本百景)に登るモノレールを併設。人口約5000人の町の小さな美術館として、婦人会有志と協力した運営、1年かけて町民やアーティストとともにつくりあげるアートプロジェクトを実施。アートによる新しい経験を提供し、心豊かな生活の実現に貢献した。[開館]2001年

◎第11回 [平成26年度]



●いわき芸術文化交流館アリオス

PFI方式を活用した大規模複合文化施設。市嘱託職員として専門職員を雇用し、クラシック音楽を中心とした鑑賞事業、ダンス・演劇の市民参加事業などを実施。学校にアウトリーチする「おでかけアリオス」、地域住民と協働する「アリオス・プランツ!」、共有スペースでの「あそび工房」など、地域に向き合うプラットフォームとして文化施設の新たなあり方を提示した。[開館]2008年



●遠野市民センター

舞台芸術による豊かな生活を推進する拠点施設。すべてを市民の手づくりで行い、1976年から継続している「遠野物語ファンタジー」には中・高等学校や市民の合唱隊、吹奏楽団が生演奏で参加。また、公設の遠野市民センターパレエスタジオ、遠野少年少女合唱隊を運営するなど、長年にわたる活動により市民の心豊かな生活に貢献した。[開館]1971年



●世田谷区立世田谷文学館

「文学のまち 世田谷」の拠点施設。世田谷ゆかりの文学者の資料約10万点を収集・展示する他、文学と美術、映像、音楽、演劇を横断するユニークな体験型企画展を実施。また、教育普及事業として自然と芸術を野外で学ぶ「子ども文学さんぽ」や連続ワークショップ「ことのはくづかん」を実施するなど、文学を体験するミュージアムの新たなあり方を提示した。[開館]1995年



●リアス・アーク美術館

リアス式海岸を有する地域特有の文化資源を継承するアーク(方舟)として民俗資料と美術作品を展示する美術博物館。食文化を切り口にした資料展、東北地域の若手アーティストを紹介する企画展、幅広い芸術の発表機会を提供する「方舟祭」に加え、3.11後には津波文化史教育の拠点として資料の収集・展示を行い、地域のアーカイブとして新たなあり方を提示した。[開館]1994年



●神奈川県立音楽堂

公立施設としては日本初の本格的音楽ホール。戦後モダニズム建築の祖である前川國男が設計し、「木のホール」として知られる。オーケストラ、室内楽、古楽、日本の伝統音楽など多彩なジャンルで独自企画を実施するとともに、アマチュアの合唱団など市民の音楽活動の場としても定着。素晴らしい音響を誇る施設として60年にわたり愛され、戦後の音楽文化の振興に貢献した。[開館]1954年



●座・高円寺(杉並区立杉並芸術会館)

演劇人が多く居住し、阿波踊りが盛んな杉並区の文化活動拠点。日本劇作家協会および東京高円寺阿波おどり振興協会と連携するとともに、芸術監督の基本方針のもと、区内の演劇人が中心になったNPO法人が運営。市民、子ども、地域のためのさまざまな事業に加え、2年制の「劇場創造アカデミー」を開講して人材育成を行うなど、劇場文化の発展に貢献した。[開館]2009年

◎三輪晃士



●みのかも文化の森 美濃加茂市民ミュージアム
歴史・民俗・自然・美術を対象とした総合博物館。広大な森に立地し、自然と芸術をテーマに滞在制作を行う現代美術の企画展や地元作家の野外展「文化の森ギャラリー」を実施。また、自然観察、地域の行事体験、朗読、アート・ワークショップなど様々な体験講座を催し、学校教育と連携した学習活動の場となるなど、複合型体験施設として文化力の向上に貢献した。[開館]2000年



●金沢21世紀美術館

金沢市中心部活性化のシンボル施設。「まちに開かれた公園のような美術館」をコンセプトにした円形ガラス張りの建築(妹島和世・西沢立衛/SANAA設計)と、現代アーティストによる親しみやすいコミッションワークによりランドマークとして定着。国際的な企画展と子どもや市民に向けた普及事業を両立し、観光客を含め年間150万人を誘客し、美術館の新たなあり方を提示した。[開館]2004年



●福井県立音楽堂 ハーモニーホールふくい
パイプオルガンを備えた大ホール、室内楽向きの小ホールからなる本格的な音楽堂。「県民のためのマイホール」をスローガンに、国内外の一流演奏家・楽団による質の高いコンサートや録の演奏家が音楽帰省する「越のルビー音楽祭」を開催。また、子どもを対象に地場産業のハーブ、マリimbaを学ぶ普及事業を行うなど、音楽による心豊かな生活に貢献した。[開館]1997年



●三重県総合文化センター
文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センター、図書館からなる複合施設。大胆な組織改革によりサービスや事業を改善。三重ジュニア管弦楽団、ワンコイン・コンサート、注目の若手劇団の滞在制作公演「Mゲキ!!!!セレクション」、U25を対象にした「ミエ・ユース演劇ラボ」、アートと教育をつなぐ研修会「ミエ・アート・ラボ」など、活力ある運営を実現した。[開館]1994年



●東かがわ市とらまるパペットランド
日本で唯一の人形劇をテーマにした公設テーマパーク。年間100回以上の人形劇公演を行う「とらまる座」(92年開館)、人形操作や工作ができる体験型施設「とらまる人形劇ミュージアム」(2003年開館)を拠点に、30周年を迎えた「とらまる人形劇カーニバル」や市内幼稚園などへのアウトリーチにも取り組み、人形劇による子どもたちの情操教育に貢献した。[開館]2003年



©山本 紉

●丸亀市猪熊弦一郎現代美術館(MIMOCA)
丸亀市ゆかりの猪熊弦一郎から寄贈された2万点を超えるコレクションによる駅前美術館。遊び心溢れる猪熊の世界をテーマにした常設展をはじめ、「美術館は心の病院」という作家の理念を普及する子どもを対象にしたワークショップやアウトリーチを積極的に展開。新しい感性と出会う現代美術の企画展にも力を入れ、アートによる豊かな感性の育成に尽力した。[開館]1991年



●直方市美術館(直方谷尾美術館)
地元実業家の谷尾欽也が地域文化支援を目的に開設した私設美術館(昭和初期の元医院)を市が受贈。公募で集まった子どもスタッフが7ヶ月かけて準備するユニークな展覧会「子どものための美術館」や商店街のバナー製作など、子どもたちによる美術を通じた地域活動を推進。また、筑豊ゆかりの若手作家に発表の機会を提供するなど、美術による人づくりに尽力した。[開館]2001年

年表 | 戦後の社会経済情勢の変化と文化政策・文化行政、公立文化施設の変遷

調査報告書(平成24・25年度)「災後における地域の公立文化施設の役割に関する調査研究—文化的commonsの形成に向けて—」より作成

◎1946～59年 | 戦災からの復興と文化国家としての再出発

社会・経済

- 第二次世界大戦は日本各地に甚大な傷跡を残したが、戦後の混乱が続く中、戦災からの復興に向けた日本の新しい歴史が始まった。
- 都市基盤や社会資本の再整備が進み、終戦から10年後の56年には、東海道本線の全線直流電化が完成、58年には東京タワーが竣工している。
- 56年に発表された経済白書には「もはや戦後ではない」と記述され、政府は太平洋戦争後の日本の復興が終了したことを宣言した。

文化政策、文化行政、公立文化施設

- 当時の文化政策に関連した動きとしては、終戦の翌46年に公布された新しい日本国憲法の下で、社会教育法(49年)、文化財保護法(50年)、博物館法(51年)が制定された他、59年には文部省が「公民館の設置及び運営に関する基準」を告示して公民館の水準の向上が図られ、その後、ホールを併設する公民館が各地に誕生することとなった。
- 公立文化施設については、設置法がない中、集会を主目的とした公会堂や文化会館が整備された。そんな中、日本最初の公立近代美術館である神奈川県立近代美術館(51年)、音楽専用ホールとして今も現役の神奈川県立音楽堂(54年)が開場した。
- これら両施設はそれぞれ、20世紀を代表する建築家・コルビュジエの愛弟子、坂倉準三、前川國男という2人の建築家によって設計されたもので、戦後の混乱の中でも、文化・芸術に対する国民の希求が強かったことが窺える。

民間の動き

- 48年に東京勤労者演劇協同組合が設立された。その後、各地で勤労者演劇組織(通称「労演」)や市民劇場等の演劇鑑賞団体が設立され、49年11月には勤労者音楽協議会(通称「労音」)が大坂で結成された。

◎1960年代 | 高度経済成長の到来と国による文化行政の開始

社会・経済

- 60年12月、池田勇人首相は「高度成長」「国民所得倍増計画」を発表、日本は本格的な高度経済成長の時代に入る。大都市への人口移動が始まり、62年に東京都の人口は1,000万人を突破した。
- 64年には東京オリンピックが開催され、開会式直前の10月1日に東海道新幹線が開通、首都高速道路も60年代に整備が進んだ。65年には名神高速道路、69年には東名高速道路が全線開通し、東海道新幹線とあわせて日本の大動脈が整備された。
- 日本の経済成長率は55年から73年まで年平均10%を超え、68年には国民総生産(GNP)が当時の西ドイツを抜いて世界第2位となるなど、戦後復興から続く一連の経済成長は「東洋の奇跡」と呼ばれた。
- この時代、テレビ、洗濯機、冷蔵庫の家電製品が「三種の神器」と呼ばれて急速に家庭に普及し、日本人のライフスタイルが変わって女性の社会進出を徐々に促すことにも繋がった。「大きいことはいいことだ」が流行語となって大量消費社会に突入、「巨人・大鵬・卵焼き」が子どもや大衆の人気の代名詞となった。

文化政策、文化行政、公立文化施設

- 60年以前に整備された国立の文化施設は博物館、美術館のみだったが、67年に国立劇場が開場し、68年には文部省文化局と文化財保護委員会を併せて文化庁が設置され、国の文化行政が本格的にスタートした。
- 60年代には、各地に公会堂や文化会館、ホールを併設した公民館が整備されると同時に、本格的な上演機能を有する文化施設が開館した。現在でも日本を代表する劇場・ホール施設である東京文化会館が開場したのは61年、2006年に全面改装された渋谷公会堂は64年に東京オリンピックの重量挙げ会場として整備され、翌65年にホールとして開場した。

民間の動き

- 60年代半ば、「労演」は53団体、会員数10万人となり、「労音」は192の地域組織が存在し、60万人を超える組織となったが、その後、徐々に衰退傾向となった。
- 60年代頃から、唐十郎率いる状況劇場、寺山修司率いる天井棧敷、鈴木忠志率いる早稲田小劇場などの前衛演劇(通称「アングラ演劇」)が台頭した。
- 63年に日本生命保険相互会社創業70周年を記念して建設された日生劇場(村野藤吾設計)がこけら落としにベルリンドイツオペラを招へいし、日本初となるオペラの本格的な公演が話題になった。

◎1970年代 | 安定成長期への移行と文化行政の開始

社会・経済

- 70年、アジアで初めての国際博覧会である日本万国博覧会(大阪万博)が開催された。77ヶ国が参加するなど、それまでの万博の中で最大規模を誇り、高度経済成長を遂げて米国に次ぐ世界第2位の経済大国となった日本を象徴する国家プロジェクトとなった。テーマは「人類の進歩と調和」で、多くの建築家や芸術家がパビリオンの建設や展示、公演などに起用された。
- 72年6月、当時通産大臣だった田中角栄が「日本列島改造論」を発表し、翌7月に首相に就任。日本列島改造ブームによって開発候補地の土地が買い占められ地価が急上昇、それが物価上昇に波及してインフレが発生した。
- 73年10月の第四次中東戦争をきっかけに原油価格が上昇し、オイルショックが発生して物価と経済に決定的な打撃を与えた。同年日本は戦後初めてのマイナス成長となり、高度経済成長時代は終焉して安定成長期へと移行した。
- 内閣府の「国民生活に関する世論調査」では、76年に初めて「物質的な豊かさ」より「心の豊かさ」を重視する国民の割合が上回り、以後79年までは拮抗するが、80年の調査以降は、「心の豊かさ」が「物質的な豊かさ」を常に上回るようになる。[P71参照]

文化政策、文化行政、公立文化施設

- 72年に国際交流基金が設立された。
- 73年に大阪府が企画部に文化振興室を設置、77年に神奈川県が県民部に文化室を設置した。また、74年に釧路市が全国で初めて文化振興条例を制定した。
- 77年に第1回全国府県文化行政連絡会議が、79年に第1回全国文化行政シンポジウムが開催されるなど、地方公共団体の「文化行政」や「行政の文化化」に関する議論が活発に行われた。
- 70年代に設置された公立のホール施設は473館、美術館は54館など、全国各地で公立文化施設が整備されたが、ホール施設の多くは多目的ホールと呼ばれるものだった。一方で、この頃から公会堂や文化会館で、音楽や演劇、舞踊などの公演が行われることが増え、多目的ホールは専門的な公演に不向きな面が多いことから、「多目的=無目的」という批判の対象ともなった。

民間の動き

- 72年には映画・演劇・コンサート情報をまとめた情報誌「ぴあ」が首都圏で創刊された。

◎1980年代 | 東京への一極集中、「文化の時代」「地方の時代」

社会・経済

- 78年、長洲一二神奈川県知事(当時)が首都圏地方自治研究会(東京都・埼玉県・神奈川県・横浜市・川崎市)主催の「『地方の時代』シンポジウム」で基調報告を行い、80年代になって「地方の時代」が叫ばれるようになった。
- 79年、大平正芳首相が施政方針演説における時代認識として「近代化の時代から近代を超える時代に、経済中心の時代から文化の時代に至ったものと見るべきであります」と述べ、翌80年に政策研究会の成果として「文化の時代」、「田園都市国家の構想」を発表した。
- 82年には東北新幹線、上越新幹線が開通、88年には青函トンネル、瀬戸大橋、北陸自動車道が開通するなど、全国をカバーする高速交通網の整備が進んだが、地方都市から大都市へのストロー現象を招く結果となった。
- 82年に誕生した中曽根内閣は、日本専売公社(85年)、日本電信電話公社(85年)の民営化、日本国有鉄道(87年)の分割・民営化など、公共企業体の民営化に取り組むとともに、86年に「民間事業者の能力の活用による特定施設の整備の促進に関する随時措置法(民法活法)」を制定し、公共事業の分野に民間活力の導入を図った。
- 83年に東京ディズニーランドがオープンした。

文化政策、文化行政、公立文化施設

- 80年代には795のホール、140の美術館が整備され、東京都(83年)、熊本県(88年)などで文化振興条例が制定された。
- 霧島国際音楽祭(80年)など地域で国際音楽祭が開催されるようになり、札幌のPMF(90年)やサイトウ・キネン・フェスティバル松本(92年)が全国的なイベントになった。また、過疎村を一躍有名にした利賀フェスティバルがスタートし(82年)、文化・芸術による過疎地域活性化モデルとして注目された。
- 多目的ホールへの反省から、中新田町バツハホール(81年)などクラシック音楽専用ホール、演劇専用劇場とコンサートホールを複合した熊本県立劇場(82年)などハード面での専門化が始まった。また、伊丹市立演劇ホール・アイホール(88年)が民間プロデューサーを登用するなど事業の活性化が始まった。
- 教育普及に力を入れる宮城県美術館(81年開館)、世田谷美術館(86年)など、地域に立脚した公立美術館が開場した。

民間の動き

- 83年には劇団四季が創立30周年で西新宿にキャッツシアターを建設し、初の無期限ロングラン公演『キャッツ』をスタート。それに伴い「チケットぴあ」によるコンピュータチケット販売が始動した。
- スパイラル(ワコール/85年)、サントリーホール(86年)、カザルスホール(主婦の友社/87年)、東京グローブ座(新宿西戸山開発、中曽根民活第1号/88年)、Bunkamura(東急グループ/89年)など、民間企業による文化施設が相次いで開館し、民間企業の協賛する冠文化イベントが盛んに行われた。
- 87年にセゾン文化財団が設立された。

社会・経済

- 89年12月に日経平均株価は3万8,915円の最高値を記録した後、急落。86年12月から91年2月まで続いた株式や土地などの資産価格の上昇と好景気は終わりを告げ、バブル経済が崩壊した。その後の景気低迷は、失われた10年、20年と言われるように長期化した。
- 大都市への人口集中が続き、地方都市では中心市街地の空洞化、郊外の大型ショッピングセンターの開業などが進んだ。
- 92年9月から公立学校で第2土曜日が休日となる月1回の週5日制がスタート、96年には文部省・中教審において「ゆとり」を重視した学習指導要領が導入された。
- 93年にはJリーグが開幕し、地方都市を拠点にした10のクラブチームによってスタートした。
- 95年1月17日、阪神・淡路大震災が発生。兵庫県を中心に大阪府、京都府など被害は広範囲に及び、震源に近い神戸市市街地の被害は甚大で、死者の数は6,000人を超えた。

国の文化政策

- 90年、海部内閣は国の補正予算約500億円と民間からの出捐金約100億円によって、芸術文化振興基金を創設、芸術文化に対する本格的な公的助成制度が整備された。それに伴い、国は同年国立劇場法を一部改正し、特殊法人国立劇場は特殊法人日本芸術文化振興会(英名: Japan Arts Council)に改称された。
- 文化庁は90年に文化政策国際会議を開催、翌91年には同庁に設置された文化政策推進会議(89年に文化庁長官の私的諮問機関として設置)が緊急提言「『文化の時代』に対処する我が国文化振興の当面の重点施策」を発表し、先進諸国に比して遅れの目立った国の文化政策の拡充に着手した。
- 96年、文化庁は約32億円で「芸術創造推進事業(アーツプラン21)」を創設、日本を代表する芸術団体を重点的に支援する「芸術創造特別支援」をスタートさせた。アーツプラン21の予算は翌年以降、増加され、芸術文化に対する国の助成制度は大幅に拡充された。
- 97年には新国立劇場が開館、98年には文化庁が「文化振興マスタープラン—文化立国の実現に向けて—」を発表した。
- 阪神・淡路大震災における救援や復旧、復興で市民ボランティアが活躍したことがひとつの契機となって、98年に特定非営利活動促進法(NPO法)が施行され、アートNPOが活動をスタート。北海道の「ふらの演劇工房」が第1号認証を受けた。

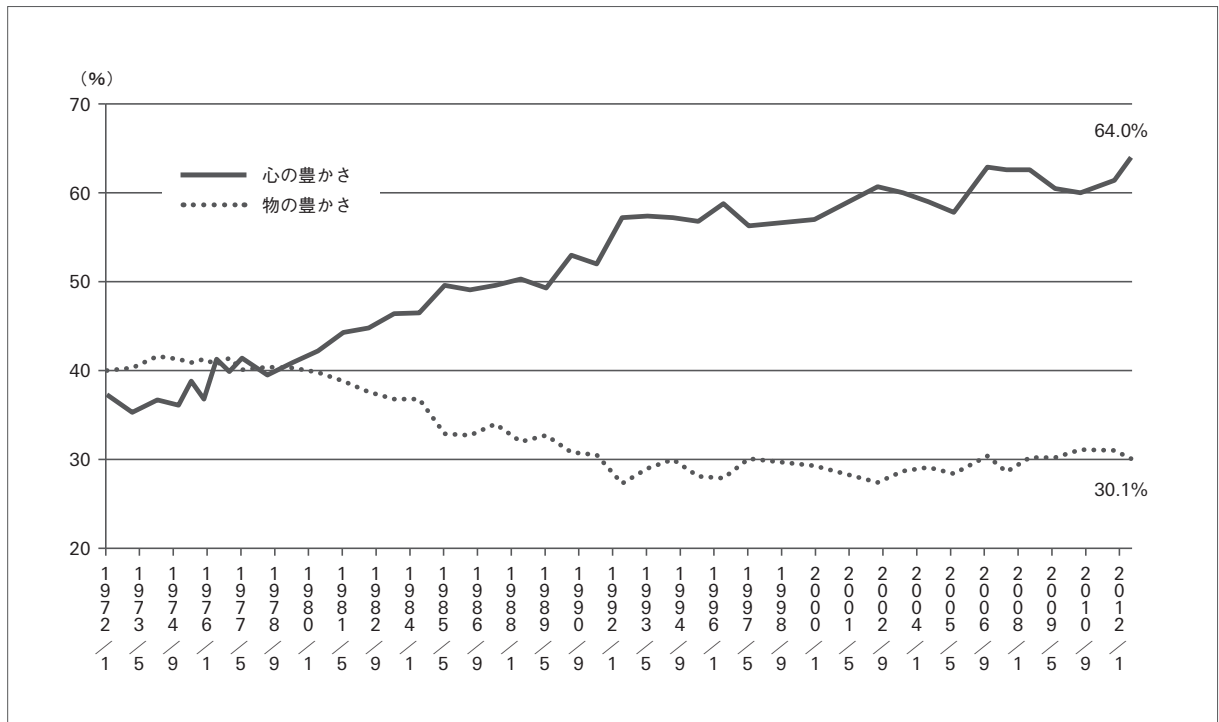
地方の文化政策・文化施設

- 地方公共団体の文化予算はバブル経済崩壊後も増加を続け、93年には文化財を含む都道府県、市区町村の文化予算の総額は9,533億円とピークに達した。ただし、そのうち5,879億円が文化施設の建設費で、90年代の地方公共団体の文化予算の大部分はハード整備に費やされた。
- 90年代に整備されたホール施設は1,122(毎週2館の新設)、美術館は257(毎月2館の新設)に上り、中にはハコモロ批判の対象となる施設も少なくなかった。[P71参照]
- そうしたことを背景に、94年には、文化・芸術の振興による創造性豊かな地域づくりを目的として、全国の地方団体等の出捐により財団法人地域創造が設立された。
- 公立ホール・劇場の運営は、80年代まで買い取り公演と貸館が中心だったが、90年代には自ら企画・制作する「創造型」劇場が登場し、ハードだけではなくソフト面でも高度化・専門化が進んだ。
- 一方で人口規模の小さな地方都市では、独自に地域密着型の事業や運営を模索する公立ホール・劇場が各地に開館した。
- 90年代、こうした地方都市の公立ホール・劇場を中心に、市民オペラ、市民ミュージカルなどの「市民参加型事業」、音楽、演劇、ダンスなどの「ワークショップ」、文化施設の運営をサポートする「文化ボランティア」が導入され、全国に広がった。
- 日本で初めて芸術監督を登用し、文化予算1%を打ち出して話題となった水戸芸術館(90年)、芸術監督と専門家集団による運営を行う静岡県舞台芸術センター(97年)、専属舞踊団を有するりゅーとびあ新潟市民芸術文化会館(98年)が開場した。
- 本格的なオペラ上演ができる大ホールと美術館を複合した愛知芸術文化センター(92年)、彩の国さいたま芸術劇場(94年)、新国立劇場(97年)、滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール(98年)などの大規模施設が開場した。また、札幌コンサートホールKitara(97年)、横浜みなとみらいホール(98年)などクラシック専用ホールが開場した。
- 東京にも東京芸術劇場(90年)、三鷹市芸術文化センター(95年)、東京都現代美術館(95年)、世田谷パブリックシアター(97年)、オーケストラとフランチャイズ契約を結んだすみだトリフォニーホール(97年)など拠点となる公立文化施設が次々に開場した。

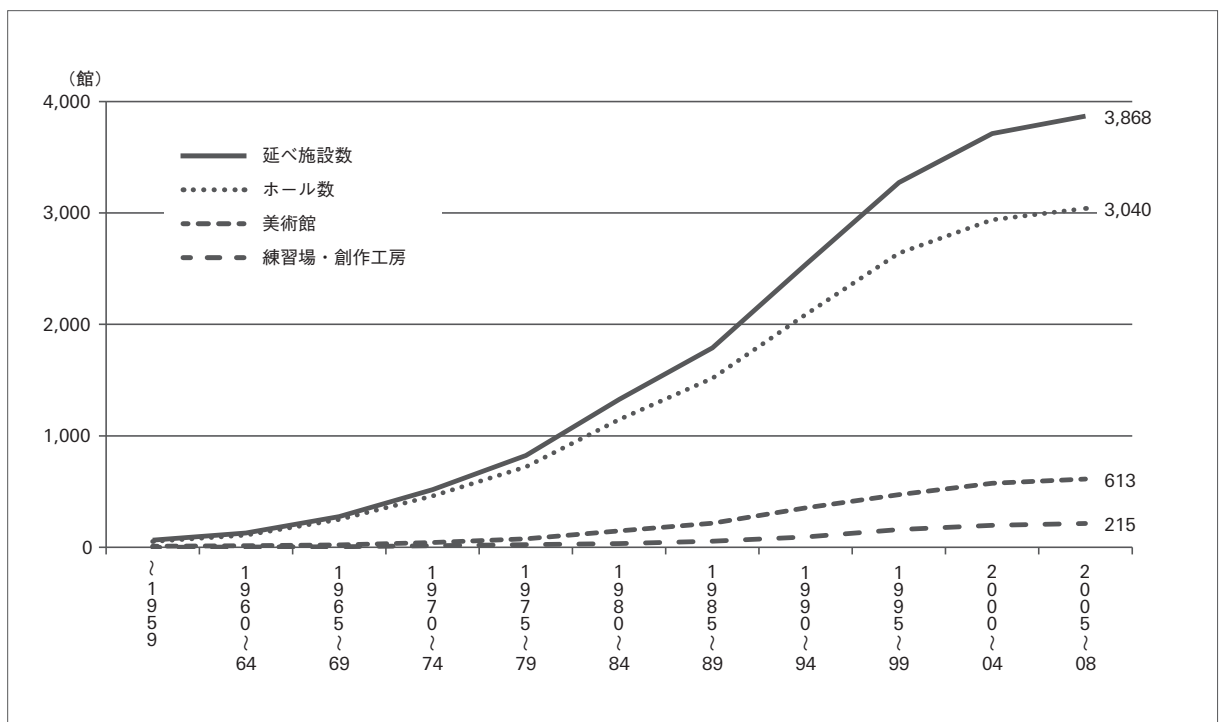
- 創作支援施設の必要が認識され、24時間365日利用できる金沢市民芸術村(96年)などの練習場が開場した。
- 91年から慶応義塾大学がアートマネジメント講座を開設し、94年に昭和音楽大学が音楽芸術運営学科を創設するなど、大学においてアートマネジメント教育の機運が高まった。また、文化経済学会(92年)、日本アートマネジメント学会(98年)が設立された。
- 90年代後半になって、アーティストを学校や福祉施設に派遣する「アウトリーチ」も各地で実施されるようになり、財団法人地域創造が98年にスタートさせた「公共ホール音楽活性化事業」などが後押しする形で、アウトリーチ事業が全国に広がっていった。

民間の動き

- 90年に社団法人企業メセナ協議会が設立され、企業による芸術文化支援の促進と普及が始まった。80年代の冠イベントに代表されるように、企業の広告・宣伝を目的にした文化イベントへの協賛ではなく、見返りを求めない芸術文化支援を標榜して、日本人には耳慣れない仏語の「メセナ」が団体名として採用された。
- 芸術文化助成財団協議会に所属する23の民間の芸術文化助成財団のうち、過半の12団体は90年代に創設された。社団法人企業メセナ協議会は特定公益増進法人の資格を取得し、94年に助成認定制度を創設して、同協議会を経由する芸術文化への寄付金が税制上の優遇措置を受けられるようになるなど、バブル経済崩壊後も、90年代には民間企業による芸術文化支援の基盤が拡充された。
- 99年にはセゾン美術館が、翌2000年にはセゾン劇場が開館するなど、民間企業の文化施設は長引く景気低迷の影響を受けて曲がり角を迎えた。



図表1：これからは、心の豊かさか、まだ物の豊かさか
(内閣府「国民生活に関する世論調査」)



図表2：施設の開館年(施設の内容別)(延べ施設数)
財団法人地域創造「平成19年度 地域の公立文化施設実態調査」報告書、平成20年3月

社会・経済

- 01年9月11日、米国で同時多発テロが発生し、全世界に衝撃を与えた。この無差別テロによる犠牲者の数は約3,000名、アメリカ軍はその後、報復として、アフガニスタン紛争、イラク戦争を行った。
- 01年に誕生した小泉内閣は、「構造改革なくして景気回復なし」をスローガンに、特殊法人の民営化に着手。「官から民へ」という言葉に象徴される小さな政府を目指す改革を進めた。06年には「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律(市場化テスト法)」が施行され、国立博物館・美術館でも導入が検討された。
- 明治29(1886)年以降110年ぶりの民法改正となる公益法人制度改革が進められ、06年6月に関連3法案が公布、08年12月に施行された。元々は行政改革の一環として始まったものだが、「広く民間非営利部門の活動の健全な発展を促進する」ことを趣旨に実施されることとなり、公益財団法人・公益社団法人に認定されると、税制上の優遇措置が受けられるようになった。
- 少子高齢化が進む中、05年には日本の人口が減少に転じ、10月時点の前年比で約2万人の減少となった。
- 08年9月15日、サブプライムローン問題に端を発してリーマン・ブラザーズが破綻、翌09年には世界金融危機が発生、経済不況は全世界に広がって「世界同時不況」を引き起こした。
- 09年9月、民主党政権が誕生。

国の文化政策

- 01年12月に文化芸術振興基本法が公布・施行。国民の文化権など8項目の基本理念が定められ、芸術文化の振興に関して、国や地方公共団体の責務が明記された。この基本法の規定に基づき、翌02年2月には「文化芸術の振興に関する基本的な方針」が閣議決定された。
- 基本法を受け、00年度に808億円だった文化庁の予算は翌年以降2年連続で100億円近い伸びを示し、03年度に1,003億円と初めて1,000億円を突破した。しかし、その後は微増にとどまり、13年度は1,033億円となっている。
- 90年代後半に橋本内閣の行政改革の一環として始まった特殊法人の独立行政法人化が本格化し、文化関係では01年4月に国立美術館、国立博物館、文化財研究所の3法人が、翌02年12月に日本芸術文化振興会と国際交流基金の2法人が独立行政法人となり、07年4月には国立博物館と文化財研究所が統合され、国立文化財研究機構となった。
- 独立行政法人化によって、これらの団体は中期目標、中期計画に基づいて評価が行われることとなり、サービスの向上と経営の効率化が厳しく問われることとなった。
- 04年には国立劇場おきなわ、05年には九州国立博物館、07年には国立新美術館が開場した。
- 09年の民主党政権の誕生に伴い、行政刷新会議による事業仕分けが行われ、文化庁や芸術文化振興基金の予算について「圧倒的な縮減」という結果が出たが、その後文科省の行った意見募集に国民から11万件近い反対意見が寄せられたことなどを背景に、翌年度の文化予算は逆に微増となった。

民間の動き

- 07年に文化・芸術による福武地域振興財団が設立された(12年公益財団法人福武財団に統合)。

地方の文化政策・文化施設

- 地方分権をにらんだ地方公共団体の財政力強化などを目的に、平成の大合併が進められ、市町村数は99年3月末の3,232団体から大幅に減少、10年3月末には1,727団体となった。
- 01年の文化芸術振興基本法を受け、全国各地の地方公共団体で文化振興条例を制定する動きが広がった。
- 地方公共団体においても行財政改革が進められ、03年には地方自治法が改正されて指定管理者制度が導入された。この制度は、住民サービスの向上と経費の縮減を目的に導入されたもので、民間企業やNPOなどが公の施設を運営する道を拓いた。04年にはNPO法人ふらの演劇工房が富良野演劇工場(00年)の指定管理者となった。しかし、厳しい財政状況に直面する地方公共団体は、この制度により文化予算の削減を求める結果となった。
- 90年代と比較して公立文化施設の新設ペースは大幅に落ちたが、00年から08年までの9年間で、401のホール施設、139の美術館が開館した。
- 広大な里山を舞台にした大地の芸術祭・越後妻有アートトリエンナーレ(00年)がはじまり、アートプロジェクト・ブームの火付け役となった。
- 京都芸術センター(00年)が開場し、全国に急増していた廃校活用のモデルとして注目された。
- 京都造形大学(01年)、桜美林大学(05年)、大阪芸術大学(06年)など大学附属劇場が相次いで開場した。
- 全国のアートNPOや市民のアート・プロジェクトを支援するアサヒ・アート・フェスティバルがスタートした(02年)。また、03年には第1回全国アートNPOフォーラムが開催されるなど、アートNPOによる活動が本格化した。
- 地域オーケストラとの一体運営を実現した石川県立音楽堂(01年)、可児市文化創造センターala(02年)、メディアアートに特化した山口情報芸術センター・YCAM(03年)、北九州芸術劇場(03年)、芸術監督制によるまつもと市民芸術館(04年)と兵庫県立芸術文化センター(05年)、中心市街地活性化を掲げた金沢21世紀美術館(04年)、島根県芸術文化センター・グラントワ(08年)、施設建設に民間の資金を用いるPFI方式を導入したいわき芸術文化交流館アリオス(09年)などが開場した。
- 横浜市が創造都市施策に繋がる実験事業として歴史的建造物を活用した「Bank ART1929」(03年)を開場した。

◎2010年代 | 東日本大震災の発生、文化施設の社会的役割の再考

社会・経済

- 11年3月11日、東日本大震災、福島第一原子力発電所事故が発生し、東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした。
- 12年12月、自民党・公明党連立政権が誕生、安倍首相はアベノミクスという独自の経済政策を打ち出した。
- 長引く景気低迷と東日本大震災による甚大な被害によって、日本全国に閉塞感が漂う中、12年5月には全高634mで世界一高いタワーとなる東京スカイツリーが開業して話題となり、翌13年9月には20年の東京でオリンピック・パラリンピックの開催が決定した。

文化政策、文化行政、公立文化施設

- 3年に1度、瀬戸内海の島々などを舞台に開催する瀬戸内国際芸術祭(10年)がスタートし、約94万人の観客動員により社会現象になった。
- 11年2月、民主党政権によって「文化芸術の振興に関する第3次基本方針」が閣議決定され、アーツカウンシル、劇場法(通称)が重点事項として明記された。
- 11年には、芸術文化振興基金にプログラム・ディレクター、プログラム・オフィサーが採用され、本格的なアーツカウンシルの試行がスタート。地方公共団体でも東京都(アーツカウンシル東京、2012年)、沖縄県(沖縄県文化振興協会におけるアーツカウンシル機能の整備、12年)、大阪府・市(大阪アーツカウンシル、13年)などでアーツカウンシルの設置が進んでいる。
- 12年6月には、劇場・音楽堂の活性化に関する法律(通称「劇場法」)が公布・施行され、文化庁は13年度からこの法律に基づいて「劇場・音楽堂活性化事業」をスタートさせた。
- 13年8月には、下村文科大臣のイニシアティブによって「文化芸術立国中期プラン」が策定された。

*1 平成25年8月に公布された国土交通省の告示第771号の建築基準法施行令(昭和25年政令第338号)第39条第3項の規定では、地震等の発生時に「脱落によって重大な危害を生ずるおそれがある天井」が、適合すべき「構造耐力上安全な構造方法」を定めている。

*2 「労働契約法の一部を改正する法律」は、有期労働契約について「無期労働契約への転換」、「雇止め法理」の法定化、「不合理な労働条件の禁止」を定めたものである。有期労働契約とは、1年契約、6か月契約など期間の定めのある労働契約で、パート、アルバイト、派遣社員、契約社員、嘱託など、有期労働契約で働くすべての人が、規定の対象となる。

◎今後の社会環境の変化と公立文化施設の課題

中長期の自治体財政の変化

- 国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」(12年1月推計)によると、今後、我が国の人口は減少する見通しであり、10年に1億2,806万人であった日本の総人口は、30年には1億1,662万人、60年には8,674万人になると推計されている。また、高齢化の進行も顕著で、人口に対する老年人口(65歳以上)の割合は、10年の23.0%から、35年に33.4%で3人に1人を上回り、50年後の60年には39.9%、2.5人に一人が老年人口になるとされている。
- こうした人口減少、急速な高齢化は、地域経済に大きな変化を与えることが予測される。税収の減少だけでなく、公的サービスへのニーズの変化など、中長期にわたる自治体の財政面に大きく影響すると考えられる。廃止や統合といった波に晒される公共サービスも少なくないだろう。公立文化施設も例外ではなく、事業運営にかかる予算の縮小や施設の統廃合といった課題は、今後、加速していくことが予測される。

公立文化施設の大規模改修

- 現在の我が国に設置されている公立の劇場やホールは3,000を超えると言われている。そのうちの76.3%、4つのうち3つの劇場・ホールは、80年代以降に開館したものである。通常、施設や設備の老朽化に伴う劇場・ホールの改修や更新の周期は、約30年程度と想定されている。また、鉄骨鉄筋または鉄筋コンクリート造の劇場建築の法定耐用年数は41年である。よって、80年代以降に開館した公立の劇場・ホールは、既に現在進行形で大規模改修に直面しており、6年後の20年を境に、90年代に毎週2館のペースで設置された1,000館を越える施設が大規模改修の時期を迎える。
- 13年に公布された「建築基準法施行令の一部を改正する政令」(*1)を受けて、建築物の構造に関わる大規模改修を行う劇場・ホールには、地震の振動や衝撃による建築物の天井の脱落への対策強化が必要となり、さらなる改修予算の増大が懸念される。
- 大規模改修にかかる予算の規模は、通年の維持管理や事業運営にかかる予算よりもはるかに大きいことが予測される。多くの自治体財政が、人口減少や高齢化に伴って縮小を余儀なくされることを考慮すると、公立文化施設の大規模改修に対する行政、議会、市民の理解を得ることは、決して容易なことではないだろう。

職員の加齢と世代バランスの変化

- 80年代以降に開館した公立文化施設では、設立当初から財団法人によって管理運営されている劇場・ホールが少なくない。開館当初に採用された職員のうち、事業企画や舞台技術等に必要の専門職員、いわゆる「プロパー職員」は、キャリアチェンジがないまま加齢している事例もある。また、管理運営にかかる予算が頭打ちの状態が続いているため、職員の専門性や世代のバランスに配慮しながら人材の新陳代謝を促進することは容易ではない。
- さらに、12年に公布された「労働契約法の一部を改正する法律」(*2)によって、有期労働契約が繰り返し更新されて通算5年を超えると無期労働契約に転換できることとなった。しかし、この改正が、逆に有期労働契約者の5年以内での雇止めを促してしまうという見方もある。
- そのため、事業企画等を担当する専門職員を有期労働契約によって採用してきた公立文化施設では、今まで以上に事業運営に必要なノウハウを蓄積していくことが難しくなることが予測される。

年度別事業実績

[平成6～26年度]

◎平成6年度

総事業費：188百万円

[事業名]	[主な事業内容]
表現創造分野バイオニア地域支援事業	助成事業
表現創造分野情報収集・提供事業	ニューズレター発行準備/ネットワーク・データベース構築準備
表現創造関係者研修交流事業	ステージラボ
表現創造振興調査・研究事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究

◎平成7年度

総事業費：595百万円

アーツサポート・プログラム	助成事業(バイオニアプログラム、ネットワークプログラム、パーティシペーションプログラム)
アーツスタッフ・プログラム	ステージラボ/フォローアップ研修/芸術見本市
アーツメディア・プログラム	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
アーツリサーチ・プログラム	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
アーツプレゼンテーション・プログラム	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施

◎平成8年度

総事業費：623百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム)
アーツスタッフ研修・交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/芸術見本市
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
公立美術館等ハイビジョン・ソフト購入助成事業	公立美術館の美術視聴覚ソフトの整備に係る助成

◎平成9年度

総事業費：642百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
アーツスタッフ研修・交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/ステージクラフト
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
公立美術館等ハイビジョン・ソフト購入助成事業	公立美術館の美術視聴覚ソフトの整備に係る助成

◎平成10年度

総事業費：697百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/ステージクラフト/芸術見本市
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
公立美術館等ハイビジョン・ソフト購入助成事業	公立美術館の美術視聴覚ソフトの整備に係る助成
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施

◎平成11年度

総事業費：950百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/ステージクラフト/芸術見本市
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
公立美術館等ハイビジョン・ソフト購入助成事業	公立美術館の美術視聴覚ソフトの整備に係る助成
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施

地域舞台芸術情報発信事業	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
市町村立美術館等活性化モデル事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
公共ホール演劇製作ネットワークモデル事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
シアター・オリンピックス助成事業	第2回シアター・オリンピックスへの助成
地域伝統芸術保存事業	映像記録保存事業/都道府県事業/映像ライブラリーの設置

◎平成12年度
総事業費:1,317百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
地域舞台芸術情報発信事業	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/映像ライブラリー
日韓・日中自治体国際文化交流支援事業	市町村等が行う日韓中文化交流事業への助成
公立美術館等デジタルアーカイブ整備事業	公立美術館における収蔵品記録のデジタル化・ネットワーク化推進に係る調査研究

◎平成13年度
総事業費:1,354百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/フォローアップ研修/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
地域舞台芸術情報発信事業	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/映像ライブラリー
日韓・日中自治体国際文化交流支援事業	市町村等が行う日韓中文化交流事業への助成

◎平成14年度
総事業費:1,273百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/マスターコース/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
地域舞台芸術情報発信事業	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/映像ライブラリー
日韓・日中自治体国際文化交流支援事業	市町村等が行う日韓中文化交流事業への助成

◎平成15年度

総事業費：1,347百万円

地域の芸術環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
研修交流事業	ステージラボ/マスターコース/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー/ブロックラボ
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
リージョナルシアター・シリーズ	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/映像ライブラリー

◎平成16年度

総事業費：2,020百万円

地域の芸術文化環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
公立文化施設活性化支援事業	公立文化施設の中・長期的な活性化計画の策定に対する支援
研修企画支援事業	ステージラボ・マスターコース参加者が所属団体において行う企画公演事業への支援
芸術文化国際化推進事業	都道府県・政令指定都市等が行う国際的な芸術文化事業について共催又は支援を実施
地域芸術文化海外交流支援事業	市区町村等が実施する芸術・文化に関する国際交流事業への支援
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/映像ライブラリー
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
都道府県立美術館等共同巡回展支援事業	都道府県立美術館等が行う共同巡回展への助成
市町村立美術館等共同巡回展支援事業	市町村立美術館等活性化事業実施施設が自主的に行う共同巡回展への助成
地域の公立美術館等ネットワーク事業	都道府県立美術館及び当該都道府県内市町村立美術館が行う共同巡回展への助成
研修交流事業	ステージラボ/マスターコース/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー/ブロックラボ
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業/人材ネットバンクの開発/公立文化施設の表彰
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業	都道府県、政令指定都市との共催によるクラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラム等の実施
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
公共ホール現代ダンス活性化事業	コンテンポラリーダンスを用いた公演、地域交流プログラムの実施に係る準備
リージョナルシアター・シリーズ	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
調査研究専門職員派遣事業	公共ホールの評価手法、評価に関する課題等の検討

◎平成17年度

総事業費：2,333百万円

地域の芸術文化環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)
公立文化施設活性化支援事業	公立文化施設の中・長期的な活性化計画の策定に対する支援
研修企画支援事業	ステージラボ・マスターコース参加者が所属団体において行う企画公演事業への支援
芸術文化国際化推進事業	都道府県・政令指定都市等が行う国際的な芸術文化事業について共催又は支援を実施
地域芸術文化海外交流支援事業	市区町村等が実施する芸術・文化に関する国際交流事業への支援
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業
市町村立美術館等活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成
都道府県立美術館等共同巡回展支援事業	都道府県立美術館等が行う共同巡回展への助成

市町村立美術館等共同巡回展支援事業	市町村立美術館等活性化事業実施施設が自主的に行う共同巡回展への助成
地域の公立美術館等ネットワーク事業	都道府県立美術館及び当該都道府県内市町村立美術館が行う共同巡回展への助成
公共ホール音楽活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施
公共ホール音楽活性化支援事業	公共ホール音楽活性化事業実施市町村等が継続実施する、クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムへの支援
公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業	都道府県、政令指定都市との共催によるクラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラム等の実施
公共ホール演劇製作ネットワーク事業	公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施
公共ホール現代ダンス活性化事業	コンテンポラリーダンスを用いた公演、地域交流プログラムの実施
地方都市オーケストラフェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター・シリーズ	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/マスターコース/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー/ブロックラボ
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
JAFRAアワード事業	公立文化施設の表彰

◎平成18年度
総事業費:2,361百万円

地域の芸術文化環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)/公立文化施設活性化支援事業/研修企画支援事業
地域芸術文化国際交流推進事業	都道府県・政令指定都市等が行う国際的な芸術文化事業について共催又は支援を実施 市区町村等が実施する芸術・文化に関する国際交流事業への支援
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業
公立美術館活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成 都道府県立美術館等が行う共同巡回展への助成 市町村立美術館等活性化事業実施施設等が自主的に行う共同巡回展への助成
公共ホール活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施(公共ホール音楽活性化事業) 新潟中越大地震被災地域との共催による、クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラム等の実施 公共ホール音楽活性化事業実施市町村等が継続実施する、クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムへの支援(公共ホール音楽活性化支援事業) 都道府県、政令指定都市との共催によるクラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラム等の実施(公共ホール音楽活性化アウトリーチ・フォーラム事業) 公共ホールとの連携による演劇公演、地域交流プログラムの実施(公共ホール演劇製作ネットワーク事業) コンテンポラリーダンスを用いた公演、地域交流プログラムの実施(公共ホール現代ダンス活性化事業)
地方都市オーケストラ・フェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター・シリーズ	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/マスターコース/ステージクラフト/芸術見本市/アートアプローチセミナー/ブロックラボ
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/ネットワーク・データベース事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究
JAFRAアワード事業	公立文化施設の表彰

◎平成19年度

総事業費：2,112百万円

地域の芸術文化環境づくり支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム)/公立文化施設活性化支援事業/研修企画支援事業
地域芸術文化国際交流推進事業	都道府県・政令指定都市等が行う国際的な芸術文化事業について共催又は支援を実施 市区町村等が実施する芸術・文化に関する国際交流事業への支援
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸術等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業
公立美術館活性化事業	市町村立美術館の共同巡回展への助成(市町村立美術館活性化事業) 都道府県立美術館等が行う共同巡回展への助成 市町村立美術館等活性化事業実施施設等が自主的に行う共同巡回展への助成 都道府県立美術館及び当該都道府県内市町村立美術館が行う共同巡回展への助成(地域の公立美術館ネットワーク事業)
公共ホール活性化事業	クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムの実施(公共ホール音楽活性化事業 通常プログラム) 公共ホール音楽活性化事業実施市町村等が継続実施する、クラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラムへの支援(公共ホール音楽活性化事業 支援プログラム) 都道府県、政令指定都市との共催によるクラシック音楽を用いた公演、地域交流プログラム等の実施(公共ホール音楽活性化事業 普及啓発プログラム) 公共ホール等との共催により、音楽アウトリーチ手法を活用して、地域を題材とした作品創作や教育・医療施設との連携等を図る事業を実施(公共ホール音楽活性化事業 応用プログラム) 公共ホール・劇場関係者、アーティスト等が情報交換を行い、相互交流、ネットワークづくりを促進するための事業を実施(公共ホール音楽活性化事業 事業制作研究プログラム) 公共ホール演劇製作ネットワーク事業/公共ホール現代ダンス活性化事業
地方都市オーケストラ・フェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター・シリーズ	地域の公共ホールで活動する劇団の紹介と公演の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/ステージクラフト/マスターコース/アートアプローチセミナー/芸術見本市/ブロックラボ
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/各種情報提供事業
調査研究等事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究/調査研究事業に携わっている専門家を公立文化施設に派遣
JAFRAアワード事業	公立文化施設の表彰

◎平成20年度

総事業費：2,034百万円

地域の文化・芸術活動支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)/公立文化施設活性化支援事業/研修企画支援事業
地域芸術文化国際交流推進事業	都道府県・政令指定都市等が行う国際的な芸術文化事業について共催又は支援を実施
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸能等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業/継承者育成事業
公立美術館活性化事業	市町村立美術館活性化事業/地方公共団体設置の美術館が自主的に行う巡回展への助成(公立美術館巡回展支援事業)/地域の公立美術館ネットワーク事業
公共ホール活性化事業	公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム・応用プログラム)/公共ホール演劇製作ネットワーク事業/公共ホール現代ダンス活性化事業
地方都市オーケストラ・フェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター事業	公共ホールの担当者と地域の表現者による演劇の手法を活用した地域交流プログラムを企画するための研修の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/ステージクラフト/マスターコース/市町村長向けセミナー等の実施/芸術見本市/都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議
情報交流事業	ニューズレター発行事業/雑誌発行事業/各種情報提供事業
調査研究等事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究/調査研究事業に携わった専門家を公立文化施設に派遣
JAFRAアワード事業	公立文化施設の表彰

◎平成21年度
総事業費：2,010百万円

地域の文化・芸術活動支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)/公立文化施設活性化支援事業/研修企画支援事業
地域芸術文化国際交流推進事業	都道府県・政令指定都市等が実施する国際的な芸術文化事業への助成
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸能等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業/継承者育成事業/都道府県・政令指定都市との共催による邦楽モデル事業
公立美術館活性化事業	市町村立美術館活性化事業/公立美術館巡回展支援事業/地域の公立美術館ネットワーク事業
公共ホール活性化事業	公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム・応用プログラム)/公共ホール演劇製作ネットワーク事業 コンテンポラリーダンスを用いた公演、地域交流プログラムの実施(公共ホール現代ダンス活性化事業通常プログラム) 公共ホール現代ダンス活性化事業実施市町村等が継続実施する、コンテンポラリーダンスを用いた公演、地域交流プログラムへの支援(公共ホール現代ダンス活性化事業 支援プログラム)
地方都市オーケストラ・フェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター事業	公共ホールの担当者と地域の表現者による演劇の手法を活用した地域交流プログラムを企画するための研修の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/マスターコース/市町村長向けセミナー等の実施/芸術見本市/都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/各種情報提供事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究/調査研究事業に携わっている専門家を公立文化施設に派遣
JAFRAアワード事業	公立文化施設の表彰

◎平成22年度
総事業費：1,982百万円

地域の文化・芸術活動支援事業	助成事業(創造プログラム、連携プログラム、単独プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)/公立文化施設活性化支援事業/研修企画支援事業
芸術提供・共催事業	地方公共団体等との共催による芸術・文化事業の実施
地域伝統芸能等保存事業	全国フェスティバル事業/都道府県事業/映像記録保存事業/地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業/継承者育成事業/邦楽地域活性化事業
公立美術館活性化事業	市町村立美術館活性化事業/公立美術館巡回展支援事業/地域の公立美術館ネットワーク事業
公共ホール活性化事業	公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム・応用プログラム)/公共ホール演劇ネットワーク事業/公共ホール現代ダンス活性化事業(通常プログラム・支援プログラム)
地方都市オーケストラ・フェスティバル事業	首都圏における地方オーケストラの紹介と公演等の実施
リージョナルシアター事業	公共ホールの担当者と地域の表現者が、演劇の手法を活用した地域交流プログラムを企画するための研修の実施
研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/マスターコース/市町村長向けセミナー等の実施/都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議
情報交流事業	ニュースレター発行事業/雑誌発行事業/各種情報提供事業
調査研究・コンサルティング事業	地域の文化・芸術環境づくりに係る調査・分析・研究/調査研究事業に携わっている専門家を公立文化施設に派遣
表彰事業	公立文化施設の表彰

◎平成23年度
総事業費：983百万円

研修交流事業	ステージラボ・アートミュージアムラボ/文化政策セミナー/都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議/リージョナルシアター事業
公共ホール等活性化支援事業	公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム)/公共ホール現代ダンス活性化事業(通常プログラム・支援プログラム)/公共ホール演劇ネットワーク事業 邦楽地域活性化事業/公立美術館活性化事業/助成事業(創造プログラム、連携プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)

情報交流・調査研究等事業 ニュースレター発行事業／雑誌発行事業／各種情報提供事業／調査研究事業／コンサルティング事業／表彰事業

地域伝統芸能等保存事業 全国フェスティバル事業／映像記録保存事業／地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業／継承者育成事業

◎平成24年度
総事業費：1,058百万円

研修交流事業 ステージラボ・アートミュージアムラボ／文化政策セミナー／都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議／リージョナルシアター事業

公共ホール等活性化支援事業 公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム)／公共ホール現代ダンス活性化事業(通常プログラム・支援プログラム)／公共ホール演劇ネットワーク事業
邦楽地域活性化事業／公立美術館活性化事業／助成事業(創造プログラム、連携プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)

情報交流・調査研究等事業 ニュースレター発行事業／雑誌発行事業／各種情報提供事業／調査研究事業／コンサルティング事業／表彰事業

地域伝統芸能等保存事業 全国フェスティバル事業／映像記録保存事業／地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業／継承者育成事業

◎平成25年度
総事業費：1,022百万円

研修交流事業 ステージラボ・アートミュージアムラボ／文化政策セミナー／都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議／リージョナルシアター事業

公共ホール等活性化支援事業 公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム)／公共ホール現代ダンス活性化事業(通常プログラム・支援プログラム)／公共ホール演劇ネットワーク事業
邦楽地域活性化事業／公立美術館活性化事業／助成事業(創造プログラム、連携プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)

情報交流・調査研究等事業 ニュースレター発行事業／雑誌発行事業／各種情報提供事業／調査研究事業／コンサルティング事業／表彰事業

地域伝統芸能等保存事業 全国フェスティバル事業／映像記録保存事業／地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業／継承者育成事業

◎平成26年度
総事業費：1,454百万円(*)

研修交流事業 ステージラボ・アートミュージアムラボ／文化政策セミナー／都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議／リージョナルシアター事業

公共ホール等活性化支援事業 公共ホール音楽活性化事業(通常プログラム・支援プログラム・普及啓発プログラム)
政令指定都市との共催によるクラシック音楽を用いた地域交流プログラムの推進(公共ホール音楽活性化アウトリーチセミナー事業)
公共ホール現代ダンス活性化事業(通常プログラム・支援プログラム)／公共ホール演劇ネットワーク事業
邦楽地域活性化事業／公立美術館活性化事業／助成事業(創造プログラム、連携プログラム、研修プログラム、活性化プログラム)

情報交流・調査研究等事業 ニュースレター発行事業／雑誌発行事業／各種情報提供事業／調査研究事業／コンサルティング事業／表彰事業

地域伝統芸能等保存事業 全国フェスティバル事業／映像記録保存事業／地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業／継承者育成事業

*平成26年度は予算額

地域創造事業のあゆみ

1994(平成6)年9月～2011(平成23)年3月

	●研修交流事業	●公立文化施設活性化推進等事業 (音楽/演劇・ダンス/美術/伝統芸能)	●調査研究等事業	●支援事業
1994.9	◎ステージラボ		◎調査研究事業	◎地域の芸術文化環境づくり支援事業(～07)
1995.3				
1995.4		◎芸術提供・共催事業(～10)	◎地域創造レター ◎芸術見本市(～09)	
1996.3			◎雑誌「地域創造」 ◎ホームページ	
1996.4				
1997.3				
1997.4	◎ステージクラブ(～08)	◎地方都市オーケストラフェスティバル事業(～10)		
1998.3				
1998.4		◎公共ホール音楽活性化事業		
1999.3				
1999.4	◎アートアプローチセミナー・市町村長向け(～08)	◎公共ホール演劇製作ネットワーク事業(～07) ◎市町村立美術館活性化事業 ◎リージョナルシアター・シリーズ(～07)		◎地域伝統芸能等保存事業 (映像記録保存事業/都道府県フェスティバル事業(～10))
2000.3				
2000.4		◎地域伝統芸能まつり		
2001.3				
2001.4				
2002.3				
2002.4	◎ステージラボ・マスターコース(～10) ◎アートミュージアムラボ			
2003.3				
2003.4	◎ブロックラボ(～07)			
2004.3				
2004.4	◎アートアプローチセミナー・文化振興担当幹部向け(～08)	◎公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 ◎市町村立美術館共同巡回展支援事業(～06) ◎都道府県立美術館共同巡回展支援事業(～07) ◎地域の公立美術館ネットワーク事業(～10)	◎JAFRAアワード	◎公立文化施設活性化支援事業(～07) ◎研修企画支援事業(～08) ◎地域芸術文化国際交流推進事業(～07)
2005.3				
2005.4		◎公共ホール音楽活性化支援事業 ◎公共ホール現代ダンス活性化事業	◎人材ネットバンク	
2006.3				
2006.4			◎地域文化資産デジタルコンテンツポータルサイト	
2007.3				
2007.4	◎都市行政文化懇話会	◎公共ホール音楽活性化事業応用プログラム(～10) ◎公立美術館巡回展支援事業	◎公共ホール政策評価アドバイザー派遣事業(～09)	
2008.3				
2008.4	◎地域創造フェスティバル ◎都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議 ◎アートアプローチセミナーを「市町村長セミナー」「文化政策幹部セミナー」に改編	◎公共ホール演劇ネットワーク事業 ◎リージョナルシアター事業 ◎都道府県立美術館共同巡回展支援事業を公立美術館巡回展支援事業に統合		◎地域の文化・芸術活動支援事業(～10) ◎地域伝統芸能継承者(青少年等)育成事業
2009.3				
2009.4		◎公共ホール現代ダンス活性化支援事業 ◎邦楽地域活性化事業	◎JAFRAアワードを地域創造大賞に改称	
2010.3				
2010.4				
2011.3				

2011(平成23)年4月～ 事業を再編

	●研修交流事業	●公共ホール等活性化支援事業 (音楽/ダンス/演劇/邦楽/美術/助成事業)	●地域伝統芸能等保存事業	●情報交流・調査研究等事業
2011.4	◎市町村長セミナー ◎都市行政文化懇話会(～13) ◎文化政策幹部セミナー ◎都道府県・政令指定都市文化行政担当課長会議 ◎ステージラボ ◎アートミュージアムラボ ◎リージョナルシアター事業	◎公共ホール音楽活性化事業 ◎公共ホール音楽活性化支援事業 ◎公共ホール音楽活性化アウトリーチフォーラム事業 ◎公共ホール現代ダンス活性化事業 ◎公共ホール現代ダンス活性化支援事業 ◎公共ホール演劇ネットワーク事業 ◎邦楽地域活性化事業 ◎市町村立美術館活性化事業 ◎公立美術館巡回展支援事業 ◎地域の文化・芸術活動助成事業	◎全国フェスティバル事業(地域伝統芸能まつり) ◎地域文化資産デジタルコンテンツ発信事業 ◎映像記録保存事業 ◎地域伝統芸能継承者(青少年等)育成事業	◎調査研究事業 ◎地域創造レター ◎雑誌「地域創造」 ◎ホームページ ◎地域創造大賞 ◎人材ネットバンク ◎地域文化資産デジタルコンテンツポータルサイト ◎地域創造フェスティバル
2012.3				
2012.4				
2013.3				
2013.4				
2014.3				
2014.4		◎公共ホール音楽活性化アウトリーチセミナー事業		
2015.3				

*事業開始年度に「事業名」を◎で記載し、終了した事業については()内に終了年を記載(事業名は現在名または終了時点の名称に統一)。2011(平成23)年度は事業を再編したため、継続事業を含めて記載。

発行 一般財団法人地域創造
住所 東京都港区赤坂2-9-11
オリックス赤坂2丁目ビル9F
Tel. 03-5573-4050 Fax. 03-5573-4070
<http://www.jafra.or.jp>
発行日 2014年12月25日
編集 株式会社文化科学研究所
表紙・グラビアデザイン/ 株式会社カズヤコンドウ
フォーマット作成
印刷 株式会社丸井工文社

©無断転載禁止

Japan Foundation for
Regional Art-Activities